Honda ナビゲーションシステム取扱説明書

Honda Multi Car-AV System

デュアルサイズ HDD ナビコンポ

VXH-083CVi

ナビゲーション / オーディオ詳細編

Honda Access

Honda Access

このたびは、ホンダ純正用品を
お買い上げいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書は、
ご使用のまえによくお読みいただき
大切に保管してください。

- 当商品はHonda車専用です。商品の適用車種は販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合、一切の責任は負えませんのでご承知おきください。
- Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い上げの販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

保証書やアフターサービスの詳細、その他のご不明な点はお買い求めの販売店へご相談ください。

※ 取扱説明書で使用されている画面と実際の画面は、地図データベースの作成時期・種類等によって異なることがあります。また、インターナビ・プレミアムクラブのサービス内容は予告なく変更・廃止することがあります。

本機のナビゲーション情報は、調査時期やその取得方法により、実際の状況と異なる場合があります。また、日々刻々と変わる道路状況や交通規則には対応できません。あくまで参考情報としてご利用ください。
ナビゲーションを安全に且つ楽しくご利用いただくためには、お客様の適切な判断と安全運転への心がけをお願いいたします。

- 本書では、運転者や他の人が傷害をおったりする可能性のあることを下記の表示を使って記載し、その危険性や回避方法などを説明しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

危険	指示に従わないと、死亡または重傷に至るもの
警告	指示に従わないと、死亡または重傷に至る可能性があるもの
注意	指示に従わないと、軽傷を受ける可能性があるもの

- 注意していただきたいことや、アドバイスは下記の表示を使って記載しています。しっかりお読みください。

操作に関する注意です。

使いこなすためのアドバイスです。

安全上のご注意

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

⚠ 警告

[使用方法]

実際の交通規制に従って走行する

ナビゲーションによるルート案内時も、必ず実際の交通規則に従って走行してください。ナビゲーションによるルート案内だけに従って走行しますと実際の交通規制に反する場合があり、交通事故の原因となります。

運転中にテレビやビデオを見ない

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させて、サイドブレーキをかけてください。テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。

運転中の画面の注視は必要最低限にする

運転者は運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。前方不注意となり交通事故の原因となります。

運転中に操作をしない

運転者は運転中に本機の操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作を行うときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。

分解や改造をしない

本機を分解したり、改造しないでください。事故・発火・感電の原因となります。

挿入口に異物を入れない

ディスク挿入口に異物を入れないでください。火災や感電の原因となることがあります。

本機に水や異物を入れない

本機の内部に水や異物を入れないでください。発煙・発火・感電の原因となります。

[異常時の処置]

故障のまま使用しない

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。故障したときは、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

異常のまま使用しない

万一、内部に異物が入った・水がかかった・煙が出る・変なにおいがするなど異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量 (アンペア数) 以外のヒューズを使用しない

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量 (アンペア数) のヒューズをご使用ください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

雷が鳴りだしたらアンテナ線やテレビに触れない

雷が鳴りだしたら、アンテナ線やテレビに触れないでください。落雷により感電の危険性があります。

⚠ 注意

[使用方法]

適正な音量や明るさで使用する

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。また、画面は適切な明るさでご使用ください。

モニターの開閉や角度調整時に手や指を挟まれないように注意する

手を挟まれないよう注意

モニターの開閉や角度調整時に手や指、衣服をはさまれないように注意してください。また、ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガの原因となることがあります。

安全走行のために

⚠警告

走行中に運転者がナビゲーションの画面に気を取られたり、操作に迷ったりすると、大変危険です。交通の状況、歩行者などに十分注意しながら運転してください。

走行中はナビゲーションの操作をしない

走行中に運転者が操作するのは、絶対におやめください。

■走行中に制限される機能の操作は

安全な場所に車を止めてパーキングブレーキをかけてから操作してください。
ルート探索の設定などの複雑な操作は、安全のため、走行中にはできないように設計されています。(操作しようとすると、「走行中は操作できません」とメッセージが表示されます。)

■操作はエンジンをかけたままで

エンジンを止めて本機を操作すると、バッテリー消耗の原因になります。本機の操作はエンジンをかけたままで行ってください。

交通規則に従って走行する

ルート探索をすると、自動的にルート/音声案内が設定されます。曜日、時刻規制などの交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。運転の際は必ず実際の交通標識に従ってください。
なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。画面に表示される情報は実際と異なる場合があります。
ナビゲーションの画面に表示される情報や建物や道路などの形状は実際と異なる場合があります。

取扱説明書の種類

本機には以下の取扱説明書が添付されています。必要に応じて使い分けてください。

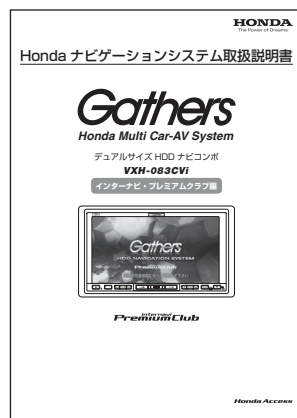
■ナビゲーション／オーディオ詳細編（本書）

ナビゲーション／オーディオ機能の使いかたや各種設定操作など、本機のすべての機能やその使いかたについて説明しています。また、ハンズフリー電話、ETC、各種カメラ、VTRなどのオプション機能の使いかたについても説明しています。操作に迷ったときや、機能について詳しく知りたいときなどにお読みください。

■クイックガイド

ナビゲーションやオーディオ機能の中で、特によく使う機能について説明しています。本機全体を理解したい場合や、とりあえず使ってみたいときなどにお読みください。

■インターナビ・プレミアムクラブ編

インターナビ・プレミアムクラブに会員登録されると使用できる機能について説明しています。通信機能を使って渋滞情報、天気予報、駐車場情報を取得したいときなどにお読みください。

本書の見かた

本書でのスイッチ表記について

- 画面上のタッチキー：〇〇〇で表記しています。（例：自宅にタッチする）
- 本機のボタン：〇〇〇で表記しています。（例：現在地を押す）

項目タイトル
項目ごとにタイトルがつけられています。

操作タイトル
操作目的ごとにタイトルがつけられています。

操作手順
操作の手順を示しています。

操作画面
操作を行う前の画面を示しています。

アドバイス
知っておくと便利な情報や、関連する参照先などです。

注意
制限事項や注意事項など重要な説明です。必ずお読みください。

登録地の編集

登録地に関する情報（名称、ヨミ、電話番号、マーク、効果音、位置）を変更したり、登録地を消去したりすることができます。

アドバイス
・自宅として登録された登録地は、「ヨミ」は変更できません。また、他の登録地への変更もできません。

登録地の登録内容を変更する

登録時に設定された内容を変更することができます。

1 **NAVI を押し、情報・通信/設定 ー データ編集（タブ） ー 登録した場所編集 ー 編集 にタッチする**

2 **登録内容を変更したい地点にタッチする**

アドバイス
・＞にタッチするとリストを並べ替えることができます。

呼出日時順	登録または呼び出しの日時順に並べ替えます。
自車位置から近い順	自車位置から近い順に並べ替えます。
ヨミ順	ヨミ順（50 音順）に並べ替えます。
2D マーク順	マークごとに並べ替えます。

3 **変更したい項目にタッチする**

名称	変更したい名称を全角で 20 文字（半角で 40 文字）まで入力できます。
ヨミ	ヨミ順でリストを並べ替えるときの「ヨミ」を入力します。ヨミは全角で 20 文字まで入力できます。
電話番号	電話番号を入力します。電話番号を設定しておくと、電話番号からその場所を検索できるようになります。また、携帯電話を接続していれば、その場所に電話をかけられます。
2D マーク	地図上に表示される登録地の 2D マークを変更します。
3D マーク	スカイビューなどの 3D 地図でスケールを 200m 以下にしたときに表示される登録地の 3D マークを変更します。→ *「3D マーク（立体ランドマーク）の大きさと向きを設定する」（P67）*
効果音	登録地に近づいたときに鳴らす効果音を設定できます。
位置修正	登録地の位置を修正します。
カメラ表示地点（フロント/コーナーカメラ接続時）	地点をカメラ表示地点に変更し、2Dマークをカメラ表示地点用マークに変更します。
登録地点（カメラ表示地点選択時）	カメラ表示地点の登録を解除し、2Dマークを虫ピン「」に変更します。

66

項目見出し
項目の見出しを表示しています。

4 終了 にタッチする

地図画面に戻ります。

アドバイス

- 3Dマークを狭いエリアに数多く登録すると、3D地図表示のスクロールなどの反応が遅くなります。
- カメラ表示地点のマークは、専用のマークです。変更できません。
- 3Dマークが表示されない500m以上のスケールでは、2D地図と同じマークが表示されます。

■カメラ表示地点について

フロント／コーナーカメラが接続されている場合、地点をカメラ表示地点で登録しておくと、車が地点に近づき低速になった時、カメラの映像に自動的に切り替わります。見通しの悪いT字路などを登録しておくと便利です。

アドバイス

- フロント／コーナーカメラについて詳しくは、*「フロント／コーナーカメラの操作」(→P114)*をご覧ください。

■登録した場所の名称を地図上に表示させる

2Dマークリスト上の マークを選ぶと、マークに加え登録した場所の名称も地図上に表示されます（プライベートマッピング）。

■3Dマーク（立体ランドマーク）の大きさと向きを設定する

3Dマークリスト上のマークを選ぶと、3Dマークの大きさと向きが設定できます。

1 3Dマークリスト上から変更したいマークにタッチする

▼

変更した登録地のマークが保存され、地図画面が表示されます。

2 3Dマークの大きさと向きを設定して、決定 にタッチする

▼

変更した登録地のマークの大きさと向きが保存され、登録地点内容表示画面に戻ります。

拡大 縮小	3Dマークを拡大、縮小します。
左回転 右回転	3Dマークを回転させます。

セクション見出し
セクションの見出しを表示しています。

結果文
操作を行ったあとの状態を示しています。

補足
手順や結果に関する補足説明です。

目次

ナビゲーション基本操作

検索

ルート

登録・編集操作

設定操作

VICS・各種情報操作

通信

その他の操作

オーディオ基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックラック

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

ナビゲーション基本操作

ナビゲーションの基本操作

ナビゲーションの基本操作について説明します。

基本操作

本機はタッチパネルや本体のボタンで操作します。
タッチパネルで操作するときは、画面上のタッチキー（マークや項目など）にタッチします。

メニューを表示する

■目的地メニューを表示させる

NAVI ボタンを押すと、行き先を探すのに便利な目的地メニューを表示することができます。

1 NAVI を押す

- 名称（→ *P34*）
- ジャンルワード（→ *P35*）
- ジャンルリスト（→ *P36*）
- 観光エリア（→ *P37*）
- 住所（→ *P38*）
- 電話番号（→ *P38*）
- 登録した場所（→ *P39*）
- 最近探した場所（→ *P39*）
- 自宅（→ *P49, 64*）
- ルート消去（→ *P62*）
- 情報・通信 / 設定（→ *P17*）
- AV ソース（タブ）（→ *P128*）

■ショートカットメニューを表示させる

現在地画面や場所を探した後に操作するメニューです。ルート探索や地点登録、詳細情報の表示などを行うことができます。

1 現在地画面またはスクロール画面で [▲] にタッチする

▼

十字カーソル位置または現在地に対して、それぞれの状況に応じたメニュー項目が表示されます。

アドバイス

- 戻るまたは [▼] にタッチすると、ショートカットメニューを閉じることができます。

現在地画面のとき

- クイックルート探索（→ *P49*）
- 別ルート（→ *P52*）
- ルート編集（→ *P50*）
- ここを登録する（→ *P64*）
- 地図スクロール（→ *P24*）
- マップクリップ（→ *P43*）

スクロール画面のとき

- ここへ行く（→ *P46*）
- ここへ立寄る（→ *P53*）
- 詳細情報を見る（→ *P42*）
- ここを登録する（→ *P64*）
- 地図スクロール（→ *P24*）
- マップクリップ（→ *P43*）

■情報·通信／設定メニューを表示させる

情報の表示やデータの編集、各種設定や調整・補正を行うことができます。

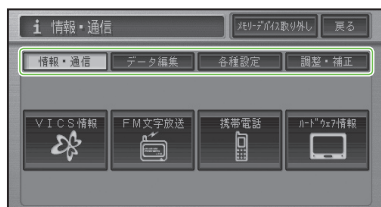
1 NAVI を押す

目的地メニューが表示されます。

▼

2 情報・通信/設定 にタッチする

3 表示させたい各メニューのタブにタッチする

情報・通信タブ

- VICS 情報（→ P94）
- FM 文字放送（→ P101）
- 携帯電話（→ P108）
- ハードウェア情報（→ P102）

データ編集タブ

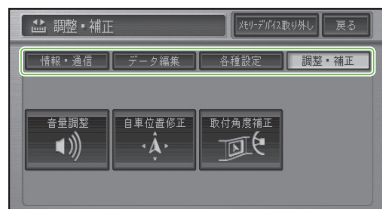
- ルート編集（→ P50）
- 登録した場所編集（→ P66）
- 携帯電話編集（→ P70）
- 最近探した場所消去（→ P71）
- 学習ルート消去（→ P71）
- 走行軌跡消去（→ P72）

各種設定タブ

- ロゴマーク表示設定（→ P86）
- お好み周辺設定（→ P87）
- 車両情報設定（→ P88）
- ヒントポップアップ設定（→ P89）
- 機能設定（→ P74）
- フロント/コーナーカメラ設定（→ P115）
- 設定初期化（→ P89）
- 販売店ダイアグ

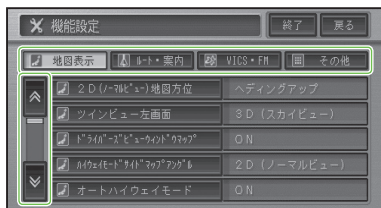
注意

- **販売店ダイアグは販売店専用のメニューです。販売店以外での設定変更は行わないでください。**

調整・補正タブ

- 音量調整（→ P90）
- 自車位置修正（→ P90）
- 取付角度補正（→ P91）

リスト操作

メニュー操作中に表示されるリスト画面の共通操作について説明します。

■基本的なリストの操作

ページ送り 一画面ずつ移動します。	⏫ ⏬ にタッチする
タブ送り タブ付きリストでは選んだタブのリストに切り替わります。	タブ（例：ルート・案内）にタッチする

■50音タブの操作

行送り リストを行送りすることができます。 (例:あ→か→さ→た→な)	タブ(あ〜わ)にタッチする
音送り リストを音送りすることができます。 (例:あ→い→う→え→お)	タブ（例：あ）に繰り返しタッチする

■サイドマップ表示時の50音タブの操作

あかさたな送り リストを次ページに送ることができます。	≫ にタッチする (例: あかさたな→はまやらわ)

アドバイス

・前ページのリストに戻るには、≪にタッチします。

■サイドメニューの操作

▼

サイドメニュー ＞が表示されているときは、サイドメニューを表示できます。リストの並べ替えや削除などの操作をすることができます。	＞にタッチする サイドメニューを閉じるには、＜にタッチする

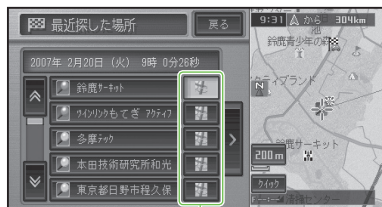
アドバイス

- サイドメニューに表示される項目（ヨミ順、呼出日時順など）は、リストによって異なります。

■チェックリストの操作

チェックリストでは、項目にタッチすると✓（チェックマーク）が表示され、選択中であることを示します。もう一度項目にタッチすると✓が消え、選択が解除されます。

また、チェックリストでは、サイドメニュー（→前記）を表示できるものがあり、サイドメニューから**全選択**、**全解除**を操作することもできます。

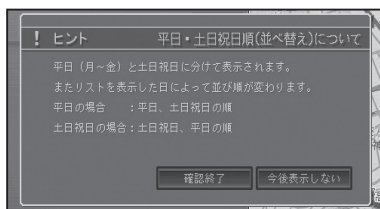
■サイドマップ画面の操作

情報更新タッチキー

サイドマップ付きリスト画面では、リスト項目の情報更新タッチキーにタッチすると、画面上の情報表示部の情報を書き換えたり、サイドマップ部分に表示される地図を、選んだ項目のものに切り替えることができます。また、地図と文字情報の表示を切り替えることもできます。

リスト項目にタッチすると、選んだ項目の地図や情報を全画面で表示します。

100m	サイドマップのスケール変更ができます。
クイック	選んだ施設までのクイックルート探索を行います。

ヒントポップアップについて

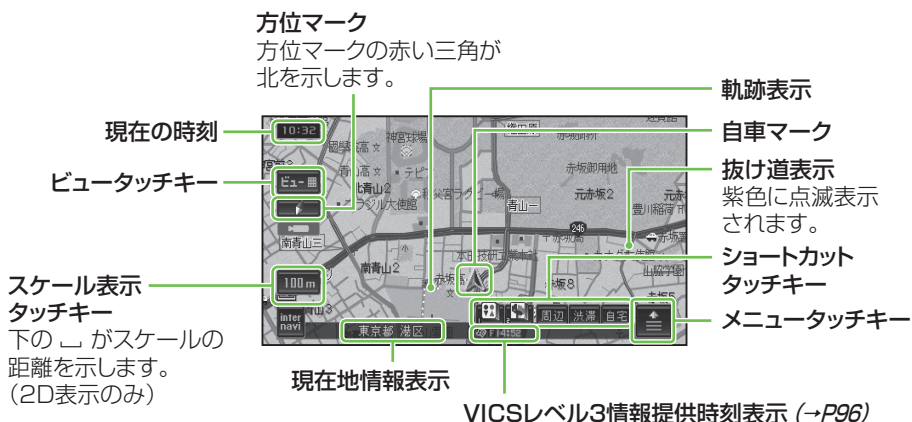
本機では、操作中にその操作に関するヒントがポップアップ表示されることがあります。

アドバイス

- **今後表示しない**にタッチすると、次回からそのヒントポップアップを表示させなくすることができます。また、表示しなくなったヒントポップアップを表示するように設定を戻すこともできます。（→P89）

地図画面の見かた

ナビゲーションの地図表示には、自分の車(自車)の現在地を表示する「現在地画面」と見たい場所を表示する「スクロール画面」があります。

現在地画面

ノーマルビュー

アドバイス

- 本機を初めて使うときや、長期間使っていなかったときは、現在地を表示するまでに5分程度かかることがあります。
- 自車マークは、実際の現在地からずれる場合があります。
- 軌跡表示は、今までに通った約250km分の走行軌跡が表示できます。通常は白、車の速度が5km/h未満のときは赤、5km/h以上20km/h未満のときは橙の点で表示されます。
- 現在地情報表示は、地図スケール表示が100m〜1kmのときに市区町村名まで表示されます。10m〜50mの詳細市街地図を表示中は、市区町村名、住所名、丁目まで表示されます。2km以上の場合は表示されません。場所によっては表示されないところもあります。
- 現在地情報表示は、「市区町村名」以外にも「緯度経度」「走行道路名」の切り替えができます。*→「設定を変更する」(P74)*
- 抜け道表示は、対象エリア内の10〜200mスケールの範囲で表示されます。*→「抜け道データについて」(P225)*
- 抜け道表示はON/OFFできます。*→「設定を変更する」(P74)*
- 現在の時刻は、GPS衛星からの情報に基づいて表示しています。時刻の変更はできません。
- ショートカットタッチキーは、現在地画面のとき ⏏ に2秒以上タッチするごとに表示/非表示を切り替えることができます。
- 自車マークは変更することができます。*→「自車マークを変更する」(→P80)*

スクロール画面

ノーマルビュー

スクロール画面は、地図を移動させたときに表示されます。→ *「地図を動かす」(P24)*

アドバイス

- スクロール中は、画面の上下左右にスクロール中方面表示が表示されます。地図の縮尺が200mスケール以下では市区町村が、500m ～ 1kmでは都道府県名が表示されます。(1km以下でも場所によっては表示されない場合があります。)
- ドライバーズビューでは、ウィンドウマップ(→*P27*)がスクロールします。
- スクロール画面は、2D(ノーマルビュー)に固定できます。また、スクロール方面表示はON/OFFできます。→*「設定を変更する」(P74)*

走行中に表示される画面

■交差点に近づくと

交差点の手前約300mに近づくと、場所により通過する交差点名、レーン情報、方面案内、および信号機のマークが表示されます。

■有料道路を走行すると

自動的にハイウェイモードに切り替わります(オートハイウェイモード)。

アドバイス

- オートハイウェイモードの設定は変更できます。→*「設定を変更する」(P74)*

■有料道路の料金所に近づくと

有料道路を走行中に、本線上の料金所の手前1.5km付近より、ETCレーン案内看板が表示されます。

アドバイス

- ETCレーン案内看板表示は、実際の看板の設置位置と異なる場合があります。
- ETCレーン案内表示は、ETC車載器が接続されていなくても表示されます。
- ETCレーン案内表示はON/OFFできます。→*「設定を変更する」(P74)*
- 地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

■抜け道があると

ハードディスク内に収録されている抜け道情報が紫色に点滅して表示されます。

アドバイス

- 収録エリア内の地図のスケールが200m以下の場合に表示されます。→*「抜け道データについて」(P225)*
- 抜け道表示はON/OFFできます。→*「設定を変更する」(P74)*

■ボトルネック踏切表示について

10m～100mスケールでは､「ボトルネック踏切」および「開かずの踏切」がマークで表示されます。

アドバイス

- ボトルネック踏切とは、踏切交通遮断量（自動車１日あたりの交通量×１日あたりの踏切遮断時間)が5万台時/日以上の踏切のことです。
- 開かずの踏切とは、ボトルネック踏切のうち、ピーク１時間当たりの遮断時間が40分以上の踏切のことです。
- 開かずの踏切は、赤枠で表示されます。詳しくは、「記号・マーク一覧」*(→P235)*をご覧ください。

走行中の音声案内

運転の状況に応じて音声で案内を行います（セーフティインフォメーション)。

有料道路、注意地点、県境案内	ここからおよそ５キロ先までは、十分運転に注意してください。 この先、左からの合流があります（右からの合流があります）（合流があります)、ご注意ください。 ○○県に入りました。
踏切案内	この先踏切です。ご注意ください。
右左折専用レーン案内	およそ300m先、右折専用レーンがあります。ご注意ください。 およそ300m先、左折専用レーンがあります。ご注意ください。
リフレッシュ案内	そろそろ２時間になります。休憩しませんか？
ライト点灯案内	まもなく日が暮れます。ライトの確認をしてください。

アドバイス

- 有料道路注意地点・県境案内は、有料道路を走行中のみ行われます。
- 踏切案内は、走行中の道路の先に踏切がない場合でも近くに踏切があれば案内される場合があります。また、全ての踏切で案内されるわけではありません。

- 右左折専用レーン案内は、直進レーンが右折または左折専用レーンに変化する地点を案内します。ルート案内中でなくても案内されます。
- 右左折専用レーン案内では、誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状と合わない場合があります。
- それぞれの案内についてはON/OFFできます。→「設定を変更する」（P74）

サイドマップ表示

ハイウェイモード表示、および場所を探すリスト画面、情報画面などを表示している場合は、画面右側に地図画面が表示されます（サイドマップ）。

アドバイス

- サイドマップのスケールは変更できます。
→「地図のスケールを変える」（P25）

ハイウェイモード

ハイウェイモードでは、現在地またはスクロール先の施設の地図がサイドマップに表示されます。

リスト画面

場所を探す場合などのリスト画面では、情報更新タッチキーが選択されている施設の周辺の地図がサイドマップに表示されます。サイドマップには、現在地や選んだ場所からの距離が表示されます。

候補表示画面

周辺検索時の候補表示画面では、情報更新タッチキーが選択されている施設に矢印マークが付きます。

情報画面

VICSの図形情報や文字情報画面、FM文字多重放送の受信画面では、情報画面とともに自車位置周辺の地図がサイドマップに表示されます。

アドバイス

- リストの基本的な操作については、*「基本的なリストの操作」*（→P18）をご覧ください。
- サイドマップ画面の操作については、*「サイドマップ画面の操作」*（→P19）をご覧ください。

地図の操作

基本的な地図の操作方法を説明します。

現在地画面を表示させる

1 現在地を押す

現在地の地図が表示されます。

地図には、自分の車の現在地と進行方向を示す自車マークが表示されます。

■地図表示の向き

ノーマルビューでの地図表示の向きは次の２種類があります。

ヘディングアップ
「進行方向」が常に上になるように、地図が自動的に回転する。

ノースアップ
「北」が常に上になるように表示される。

マークにタッチするごとに向きが切り替わります。工場出荷時は「ヘディングアップ」です。

地図を動かす

地図上の見たい場所に地図を動かします（スクロール）。

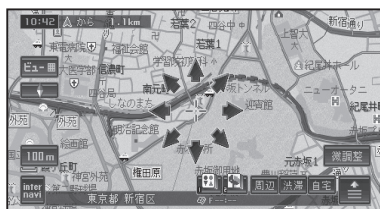
1 地図上の見たい方向にタッチする

タッチした場所が中心となるように地図が動きます。

アドバイス

- 画面中央のカーソルから離れた場所にタッチするほど、スクロールする速度が速くなります。
- 画面にタッチしたまま指を動かし、スクロールすることもできます。ただし、走行中はタッチした場所までしかスクロールできません。
- ドライバーズビューでウィンドウマップ（→P27）を表示しない設定にしている場合も、スクロール中はウィンドウマップが表示されます。

2 位置を微調整したい場合は 微調整 にタッチしてから、微調整したい方向の矢印にタッチする

矢印にタッチするごとに、地図が少しずつ動きます。

微調整の操作は、ノーマルビューのときだけ行うことができます。

もう一度 微調整 にタッチすると、８方向の矢印が消えます。

地図のスケールを変える

10m ～ 500kmの範囲で地図のスケールを変えることができます。

1 スケール表示(100m)にタッチする

2 詳細 、広域 またはダイレクトスケールタッチキーにタッチする

ダイレクトスケールタッチキー

詳細	より詳細な地図が表示され、詳しく見ることができます。
広域	より広域な地図が表示され、広い範囲を見ることができます。

アドバイス

- 詳細 や 広域 にタッチするごとに、10m、25m、50m、100m、200m、500m、1km、2km、5km、10km、20km、50km、100km、200km、500kmとスケール表示が変わります。
- 詳細 や 広域 にタッチし続けると、スケールが段階的に変わります(フリーズーム)。ただし、走行中は安全のためフリーズームの操作はできません。
- ダイレクトスケールタッチキーは、タッチしたスケールで地図を表示します。

地図を2画面(ツインビュー)で表示している場合

左画面のスケール表示にタッチすると、左画面のスケールのみ変わります。
右画面のスケールを変えたいときは、右画面内のスケール表示にタッチしてから操作します。

オートフリーズームについて

オートフリーズームをONに設定すると、ルート案内中は、次の案内地点が地図に表示されるよう、地図のスケールが自動的に変化します。

アドバイス

- オートフリーズームは、ON/OFFできます。
→「設定を変更する」(P74)
- オートフリーズームは、500m～50mの範囲内でスケールが自動的に変化します。
- 次の案内地点が遠い場合は、スケールが変更されないことがあります。案内地点に近づくと、適切なスケールに変更されます。
- オートフリーズーム中にスケール変更の操作をすると、オートフリーズームは一時停止します。オートフリーズームを再開させるには、現在地画面でスケール表示(100m)にタッチしてから オートフリーズーム にタッチします。また上記操作を行わなくても、次の案内地点を通過すると、自動的にオートフリーズームに戻ります。
- ドライバーズビューや、ハイウェイモードのときは動作しません。

地図画面の表示方法を変える

さまざまな状況に応じて地図の表示方法を変えることができます。

1 ビュー にタッチする

つづく→

2 地図の表示方法にタッチする

ビュー切替メニュー

ターゲットマップ設定メニュー

ビュー切替メニュー	選んだ表示方法で地図を表示します。
ターゲットマップ設定メニュー	選んだターゲットマップで地図を表示します。(→ *P27*)

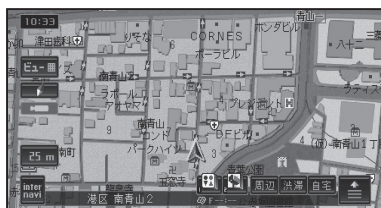
アドバイス

- ハイウェイモードは、有料道路走行中のみ選択できます。

■表示方法の種類

ノーマルビュー

通常の地図(2Dの地図)で表示されます。

詳細市街地図収録エリアでは、10m～50mスケールのときに詳細な市街地図が表示されます(シティマップ)。

スカイビュー

上空から見ているような地図(3Dの地図)が表示されます。

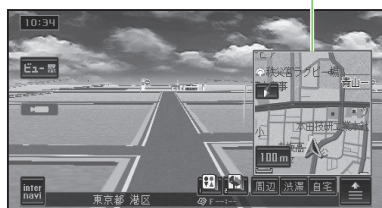
詳細市街地図収録エリアでは、10m～50mスケールのときに立体的な市街地図が表示されます(スカイシティマップ)。

アドバイス

- シティマップ、スカイシティマップ表示は、ON/OFFできます。→*「設定を変更する」(P74)*
- スカイシティマップでは、全ての建物が立体表示されるわけではありません。
- スカイシティマップではスケールが50mまで、スカイビューでは200mまで登録地点に設定した立体ランドマーク(3Dマーク)(→*P67*)が表示されます。
- シティマップの境界付近では自動的に通常地図に表示が切り替わります。シティマップの境界を表示させることもできます。その場合、境界付近ではシティマップのみ表示され、境界の外側は何も表示されません。

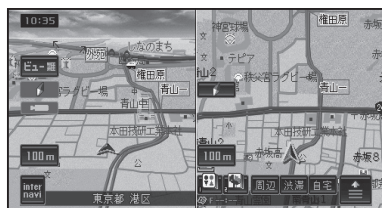
ドライバーズビュー

ドライバーの視線から見たような地図が表示されます。

ウィンドウマップ

アドバイス

- ドライバーズビューでは、小画面で2Dの地図が表示されます（ウィンドウマップ）。ウィンドウマップの地図は、スケール変更、スクロールができます。
- ドライバーズビューでは、ルート案内中に、オートアングルチェンジ機能により、視点が自動的に変化します。
- ウインドウマップ、オートアングルチェンジはON/OFFできます。→*「設定を変更する」（P74）*
- 一部のエリアで地形や建物が表示されなかったり、実際と異なる場合があります。

ツインビュー（2画面表示）

右画面には現在地を表示したまま、左画面は地図スクロールやスケール変更をすることができます。詳細地図と広域地図を同時に見たいときに便利です。

アドバイス

- 左画面の地図は、スクロール、スケール変更、2D/3D設定などができます。
- 右画面の地図には現在地が表示され、地図のスケールを変更できます。
- 左画面の2D/3D設定は、*「設定を変更する」（→P74）*をご覧ください。

ハイウェイモード

有料道路走行時の専用画面です。
前方の有料道路施設までの距離や料金、予想到着（通過）時刻、分岐などの情報が表示されます。ハイウェイモードについては、*「ハイウェイモードの情報を見る」（→P28）*をご覧ください。

■ターゲットマップのモードを切り替える

ターゲットマップとは、地図に表示されているさまざまな情報のうち、特定の情報を強調して4種類（文字拡大、道路重視、住所重視、施設重視）のモードで表示する機能です。

1 ビュー にタッチして、ターゲットマップ設定メニューから表示方法にタッチする

アドバイス

- 文字拡大は20kmスケール以下、その他のモードは1kmスケール以下で表示されます。
- 通常表示 にタッチすると、ターゲットマップを解除し、通常の地図表示にします。

■ターゲットマップの種類

文字拡大

文字情報を拡大します。

道路重視

道路に関する情報を重視して表示します。

住所重視

住所に関する情報を重視して表示します。

施設重視

施設に関する情報を重視して表示します。

ハイウェイモードの情報を見る

■有料道路の施設情報を見る

ハイウェイモードでは、現在向かっているインターチェンジやサービスエリアまでの距離、および施設情報などを確認できます。また、車の走行に合わせて、自動的に一つ先の施設情報に切り替わります。本線上や分岐先の施設情報も、見ることができます。

アドバイス

- 都市間高速または都市高速を走行すると、自動でハイウェイモードに切り替わります（オートハイウェイモード）。
- 一部表示対象外の有料道路もあります。
- 手動でハイウェイモードに切り替えるには、有料道路走行中にビュー切り替えメニューで「ハイウェイモード」を選びます。→*「地図画面の表示方法を変える」(P25)*
- オートハイウェイモードは、変更できます。→*「設定を変更する」(P74)*

■ハイウェイモードの現在地画面

次の施設
その次の施設
さらにその次の施設

アドバイス

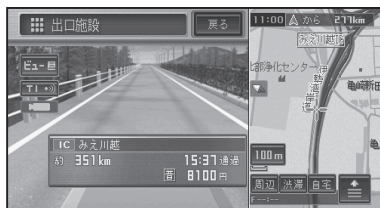
- ハイウェイモードのサイドマップは、地図のアングルを変更できます。→*「設定を変更する」(P74)*
- ハイウェイモードでは、それぞれの施設の種類（IC/PA/SA/JCT/ランプ/料金所）と施設名および現在地からの距離と予想到着（通過）時刻が表示されます。
- １つ先の施設には、施設のサービス情報（→*P31*）と料金（IC/PA/SA/JCT料金所の場合）が表示されます。
- １つ先の施設にタッチすると、次の施設周辺の地図を表示させせることができます。
- インターナビVICS情報を取得している場合は、インターナビVICS情報（→*P31*）が表示されます。
- ルート案内中は、有料道路出口のおよそ1km手前になると有料道路出口の案内が表示され、出口を通過すると自動的にハイウェイモードは解除されます。
- ビュー にタッチすると他の地図表示に切り替えることもできます。
- 有料道路施設が近接しているときは、施設表示の自動切り替えが間に合わないことがあります。
- 交通情報が受信可能な区間を走行中は、TI にタッチすると、交通情報を受信することができます。

■出口情報を表示する

ルート案内中は、出口の情報（料金や距離、予想到着（通過）時刻）を表示することができます。

1 出口施設 にタッチする

▼

出口施設の情報が表示されます。

アドバイス

- 出口施設の表示にタッチすると出口周辺の地図を表示させせることができます。
- 有料道路上に目的地を設定した場合と、ルートの無い場合には、出口施設を表示することができません。

■料金表示について

- 有料道路上でルートを設定した場合は、料金が表示されない場合があります。
- 料金表示が可能なのは、都市高速、都市間高速、一部の有料道路です。→*「有料道路料金データについて」(P225)*
- 料金表示は、車両設定により、中型車、普通車、軽自動車に切り替えられます。→*「車両情報を設定する」(P88)*

■先の施設情報を見る

ハイウェイモード表示中は、施設を先送りさせて先の施設情報を見ることができます。

1 ∧、∨ にタッチして、表示させたい施設を選ぶ

選択中の施設

アドバイス

- 先の施設にタッチして、その施設を選択することもできます。
- サイドマップ（→P23）には選択中の施設周辺の地図が表示されます。
- ルート案内中は、ルートに沿って施設が送られます。
- 選択中の施設にタッチすると、選択中の施設周辺の地図を表示させることができます。
- 100施設先まで見ることができます。
- 現在地 を押すと、ハイウェイモードの現在地画面が表示されます。

■ジャンクションの分岐先の情報を見るには

ルートが設定されていない場合は、走行中の路線に沿った施設情報を見ることができます。
ルートの有無に関わらず途中にジャンクションがある場合は、分岐先を選んで先の情報を見ることができます。

1 ジャンクションを選んで施設名にタッチする

2 見たい分岐先にタッチする

アドバイス

- 地図表示 にタッチすると、ジャンクションがある地点の地図を表示します。
- 戻る にタッチすると、手順 1 の画面に戻ります。

▼

分岐先の路線が表示されます。

■サービスエリアやパーキングエリアで表示される情報

	ガソリンスタンド（各ガソリンスタンドのロゴマークが表示されます。例：出光興産）
	身障者用トイレ
	レストラン
	ショッピングコーナー
	仮眠休憩所
	案内所（インフォメーション）
	風呂（温泉浴場）
	ファクシミリ
	郵便ポスト
	キャッシュサービス

アドバイス

・同時に表示される情報は8種類までです。9種類以上の情報がある場合は、上表の並び順に優先表示され、9番目以降は表示されません。

■インターナビVICS情報表示について

インターナビVICS情報を取得している場合は、自車位置に最も近い混雑状況（渋滞または混雑）および規制情報がそれぞれ1つずつ画面に表示されます。

アドバイス

・施設間で交通規制があるときは、VICS情報マーク（→P97）が表示されます。

■ETCレーン表示について

本線上の料金所に近づくと、ETCレーン案内看板が表示されます。（→P22）

検索

目次

場所を探す

ナビゲーションの操作は場所(行き先、立寄地などの目的地)を探すことから始まります。目的地の地図を表示させることができれば、そこまでのルートを設定したり、詳細情報を見たりすることができます。

アドバイス

- 場所を探すと、探した場所が自動的に「最近探した場所」に100件まで保存されます。保存された履歴は*「最近探した場所から探す」(→P39)*、*「クイックルート探索」(→P49)*で使われます。
- 検索した場所によっては、表示された地図が目的地を中心にしたピンポイントの地図ではない場合があります。その場合は、ピンポイントでない旨のメッセージが表示され、代表地点の地図が表示されます。
- 施設を検索した場合、検索後はそのままスクロールせずに目的地に設定してください。例えば高速道路上の施設を検索後にスクロールさせて目的地に設定すると、一般道上が目的地になる場合があります。
- 自然を対象とした検索では、周囲に道路がないポイントが表示されることがあります。このような場所では、地図をスクロールして近くの道路上に目的地を設定してください。周囲の道路がない場所を目的地にすると、ルート探索できないことがあります。

地図で探す

地図上で探すことができます。

1 地図をスクロールさせて、目的の場所に十字カーソルを合わせる

2 [⏏] にタッチする

▼

以降の操作は、ショートカットメニューの操作*(→P16)*を参照してください。

名称で探す

宿泊施設やレジャー施設など、各種施設の名称で探すことができます。

1 (NAVI) を押し、[名称] にタッチする

2 **施設の名称をひらがなで入力(→P122)し、候補表示 にタッチする**

ジャンル	ジャンルによる絞り込みができます。
エリア	都道府県による絞り込みができます。

アドバイス

- ひらがな以外の入力はできません。カタカナ、漢字、ローマ字、数字などを含む施設を探すときも、全てひらがなで入力します。
- 名称はわかっている部分だけ入力して、検索することができます(キーワード検索)。
- 濁音(゛)や半濁音(゜)の入力は省略できます。また、促音(ょ)などは(よ)などで代用できます。
- 名前による絞り込みの結果、検索対象が1万件以下になるとジャンルやエリアでの絞り込みが可能になります。
- 検索方法は、最初に完全一致(入力した文字と完全に一致する施設を検索)で検索され、ある程度絞り込まれると、部分一致(入力した文字が含まれる場所を全て検索)で検索されます。
- 部分一致、完全一致の区別および絞り込まれている場合の件数は、入力した文字の横に表示されます。
- ある程度検索対象が絞り込まれると、自動的にリストが表示されます。

3 **目的の施設をリストから探す(→P18)**

4 **施設名称にタッチする**

▼

施設付近の地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P16)を参照してください。

ジャンルワードで探す

ジャンルのキーワードを入力して各種施設を探すことができます。

1 **NAVI を押し、ジャンルワード にタッチする**

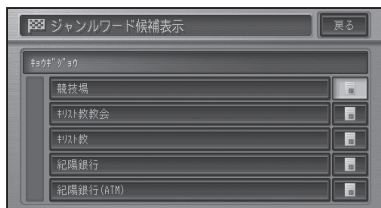
2 **探したい施設のジャンルワードをひらがなで入力(→P122)し、候補表示 にタッチする**

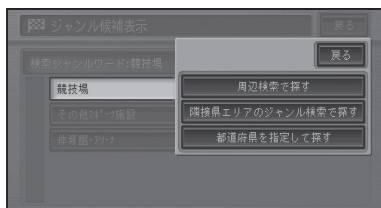
例:きょう(競技場を探したいとき)

アドバイス

- ひらがな以外の入力はできません。カタカナ、漢字、ローマ字、数字などを含む施設を探すときも、全てひらがなで入力します。
- 濁音(゛)や半濁音(゜)の入力は省略できます。また、促音(ょ)などは(よ)などで代用できます。
- ある程度検索対象が絞り込まれると、自動的にリストが表示されます。
- 検索方法は、最初は完全一致(入力した文字と完全に一致する施設を検索)で検索され、ある程度絞り込まれると、部分一致(入力した文字が含まれる場所を全て検索)で検索されます。
- 部分一致、完全一致の区別および絞り込まれている件数は、入力した文字の横に表示されています。

つづく→

3 「ジャンルワード候補表示」、「ジャンル候補表示」を順に選ぶ

4 選んだジャンルの検索方法にタッチする

▼

アドバイス

・表示される項目は、表示している地図の状態と、選んだジャンルによって異なります。

5 表示される画面に従って絞り込み、目的の施設にタッチする

自車周辺 (周辺検索のみ)	自車周辺で検索します。
ルート周辺	案内中のルート周辺の施設を検索します。

▼

施設付近の地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P16)を参照してください。

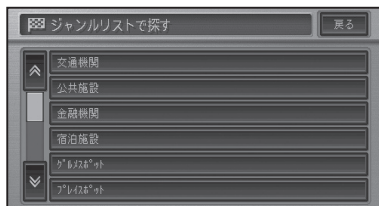
ジャンルリストで探す

ジャンルリストから各種施設を探すことができます。

検索できるジャンル

- 交通機関
- 公共施設
- 金融機関
- 宿泊施設
- グルメスポット
- プレイスポット
- スポーツスポット
- 文化スポット
- 自動車関連施設
- その他の店
- 病院
- 教育施設
- その他
- テーマ

1 NAVI を押し、**ジャンルリスト**にタッチする

2 探している施設のジャンルにタッチする

3 都道府県にタッチする

アドバイス

・選んだジャンルによっては、市区町村や路線などを選ぶリストが表示されるものもあります。
・選んだジャンルによっては、都道府県を選ばないものもあります。

4 並べたい順番にタッチする

アドバイス

- 選んだジャンルによっては、市区町村を選ぶリストが表示されるものや、路線順 または 札所番号順 がポップアップ表示されるものもあります。

5 目的の施設にタッチする

距離順を選んだ場合：

▼

施設付近の地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作（→P16）を参照してください。

■テーマで探す

ジャンルリスト検索の テーマ にタッチすると、レジャースポットや史跡など、テーマで探すことができます。

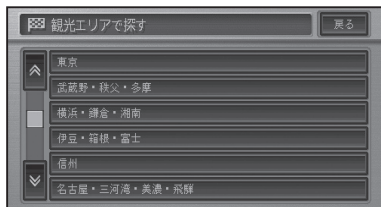
検索できるテーマ

- アウトドアレジャー
- 雨の日のレジャー
- 海辺の風景を楽しむ
- おすすめグルメ
- 季節の風物詩
- 季節の味覚を狩る
- ショッピングモールでお買い物
- 身障者用トイレのある施設
- 全国巡礼めぐり
- 大自然の100選スポット
- 日本一を探す
- ペットと楽しむ
- 星のきれいな場所
- ミステリースポットで不思議体験
- 夜景のきれいな場所
- 歴史探訪

観光エリアから探す

観光エリアから、「見る」「遊ぶ」「食べる」「買う」の観点で探すことができます。

1 NAVI を押し、観光エリア にタッチする

2 エリアを順にタッチする

3 ︽/︾や 情報更新 タッチキーにタッチして目的の施設を選ぶ

見る、遊ぶ、食べる、買う	ジャンルを切り替えることができます。

アドバイス

- 季節などを考慮した、おすすめ順に施設をリスト表示します。
- 画像付きのスポットには マークが表示されます。
- おすすめスポットには が付きます。
- おすすめスポット（ ）とは、各小ジャンルの中からおすすめのスポットとして選ばれた場所です。はじめにおすすめスポットが最大20件までおすすめ順に表示され、次に各小ジャンルのリストが表示されます。
- 選んだジャンルのタブに繰り返しタッチすると、ジャンル内の各小ジャンルの先頭にカーソルが移動します。

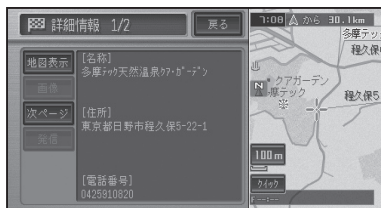
つづく→

4 施設名にタッチする

▼

選んだ施設を中心とした地図と詳細情報画面が表示されます。

5 地図表示 にタッチする

▼

該当する地図とショートカットメニューが表示されます。
以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→*P16*)を参照してください。

住所で探す

住所や地名で探すことができます。

1 NAVI を押し、住所 にタッチする

2 都道府県、市区町村名、地名の順にタッチする

アドバイス

- 主要部 にタッチすると、選んだ地域の代表地点の地図が表示されます。

3 番地、号を入力する

アドバイス

- 番地を入力しないで 入力終了 にタッチすると、丁目または住所名の代表地点が検索されます。

4 入力終了 にタッチする

▼

入力した住所を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。
以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→*P16*)を参照してください。

電話番号で探す

行き先の電話番号を入力して探すことができます。

1 NAVI を押し、電話番号 にタッチする

2 電話番号を入力する

アドバイス

- 電話番号を全桁入力すると自動的に検索を始めます。自動的に検索を開始しない場合は、入力終了 にタッチします。
- 市外局番と市内局番は必ず入力してください。

- 10桁まで入力できます（090、080、070、050で始まる電話番号は11桁まで入力できます）。
- ダイヤルQ２（0990-○○）、携帯電話、短縮ダイヤルは、対象外です。ただし、該当する電話番号が登録地点に登録されている場合は検索できます。
- タウンページに登録されているフリーダイヤル（0120-○○）は、検索できます。

▼

該当する地図とショートカットメニューが表示されます。
以降の操作は、ショートカットメニューの操作（→P16）を参照してください。

緯度経度で探す

緯度経度を入力することで、その地点を素早く呼び出すことができます。

アドバイス

- 緯度経度で検索できる範囲は、日本近辺です。
- 本機は日本測地系に対応しています。

1 NAVI を押し、電話番号 − 緯度経度 にタッチする

2 緯度と経度を入力する

緯度経度の数値を全て入力すると自動的に検索を始めます。

▼

該当する地図とショートカットメニューが表示されます。
以降の操作は、ショートカットメニューの操作（→P16）を参照してください。

登録した場所から探す

すでに登録されている場所から探すことができます（登録地検索）。

1 NAVI を押し、登録した場所 にタッチする

2 目的の場所にタッチする

▼

選んだ登録地を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。
以降の操作は、ショートカットメニューの操作（→P16）を参照してください。

最近探した場所から探す

過去に検索した場所や目的地とした場所から探すことができます。

アドバイス

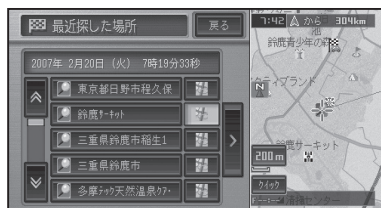
- *「クイックルート探索」（→P49）*を使うと、簡単な操作で過去に探した場所へルートを探索することができます。

1 NAVI を押し、最近探した場所 にタッチする

2 目的の施設（履歴名）にタッチする

つづく→

はじめに / ナビゲーション基本操作 / 検索 / ルート / 登録・編集操作 / 設定操作 / VICS・各種情報操作 / 通信 / その他の操作 / 付録

▼

選んだ場所を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P16)を参照してください。

周辺施設を探す

ガソリンスタンドやレストランなど、現在地やルート周辺、スクロール先周辺の施設を最大100件まで探すことができます。

1 周辺 にタッチする

2 ジャンルにタッチする

3 全選択 または 詳細選択 にタッチする

全選択	全ての詳細ジャンルが選ばれます。
詳細選択	詳細ジャンルを指定できます。

4 目的の施設にタッチする

自車周辺	自車周辺の施設を検索します。
ルート周辺 (ルート案内中のみ)	案内中のルート周辺の施設を検索します。

アドバイス

- 駐車場、ATM、コンビニ、ガソリンスタンド、ファミリーレストラン、ファストフードを検索すると、営業時間が考慮され、現在利用できる施設(例:)と利用できない施設(例:)が区別されて表示されます。(営業時間考慮検索)
- 隔週定休日、不定期な休日および不定期な営業時間には対応していません。また実際の営業時間とは異なる場合があります。
- コンビニでは、酒( )・タバコ( )を取り扱う店がわかるように表示されます。
- ファストフードでは、ドライブスルー( )対応の店がわかるように表示されます。
- 、 、 、 は一部表示されない施設もあります。
- 駐車場は、*「車両設定」**(→P88)*の「駐車制限」を考慮して検索されます。利用できない駐車場は( )と表示されます。(実際の車両設定と異なる場合があります)
- 駐車場の詳細選択でデパート提携駐車場を検索することもできます。
- ルート案内中のときは、ルート周辺を優先して検索します。自車の周辺で探す場合は 自車周辺 にタッチします。
- ルート周辺で探す場合は、案内中のルート前方両側約200mから検索されます。自車周辺またはスクロール位置で探す場合は、自車位置または十字カーソル位置の半径約8kmまたは30kmの範囲から検索されます。
- 検索後は地図にロゴマークが表示されます。ロゴマークを消去するには、手順 2 で > ー 結果消去 にタッチするか、車のエンジンスイッチをOFFにします。

5 施設名にタッチする

▼

選んだ施設を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P16)を参照してください。

お好み周辺検索で探す

あらかじめ2つのグループに登録した3つのジャンルを同時に検索することができます。

アドバイス

- お好み周辺検索には、あらかじめ（お好み周辺1）にトイレ、ガソリンスタンド、コンビニの施設が、（お好み周辺2）にファミリーレストラン、ファストフード、コンビニの施設が登録されています。お好み周辺1・2の施設の登録は、変更することができます。*(→P87)*

1 または にタッチする

2 表示したい施設を選ぶ

前の施設	1つ前に表示した施設を矢印と音声で案内します。
次の施設	次に近い施設を矢印と音声で案内します。

アドバイス

- 表示されるロゴマークなどについては、*「周辺施設を探す」(→P40)*のアドバイス（）を参照してください。
- 検索後は地図にロゴマークが表示されます。ロゴマークを消去するには、周辺 － ＞ － 結果消去 にタッチするか、車のエンジンスイッチをOFFにします。

詳細情報を見る

検索した場所や、地図上の詳細情報を見ることができます。

1 場所を探して(→P34)ショートカットメニュー(→P16)を表示させる

2 詳細情報を見る にタッチする

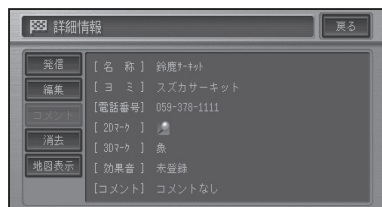
アドバイス

- 複数の情報がある場合はリスト画面が表示されますので、見たい情報を選んでください。
- 施設によっては、詳細情報が無いものもあります。

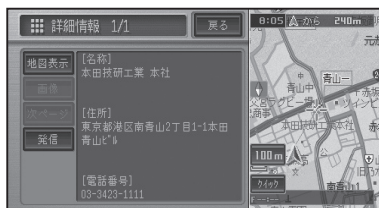
3 情報を確認する

地図表示	地図画面が表示されます。
画像	登録されている画像が表示されます。
次ページ	次ページにページを切り替えます。
発信	登録されている電話番号に電話をかけます。*(→ P109)*

■登録地や最近探した場所に合わせたとき

(例：登録地の詳細情報)

発信	表示されている電話番号に電話をかけます。*(→ P109)*
編集	登録されている情報を編集します(登録地のみ)。*(→ P66)*
コメント	登録されているコメントが表示されます（登録地のみ)。
消去	登録地を消去します。
地図表示	地図が全画面で表示されます。

■建物の形に合わせたとき

シティマップなどの詳細市街地図では、建物の形に十字カーソルを合わせて詳細情報を見る操作をすると、建物内の施設の情報を表示させることができます。

アドバイス

- 詳細情報が収録されてない場合もあります。

■VICSマークに合わせたとき

VICSの情報が表示されます。→*「VICS情報マークの詳細を見る」(P97)*

■案内地、目的地、立寄地、出発地のマークに合わせたとき

十字カーソルを案内地、目的地、立寄地、出発地に合わせてショートカットメニューを表示させたときは、ルート確認ができます。
→*「ルートを確認する」(P50)*

マップクリップ®(2次元バーコード)を使う

2次元バーコード（QRコード）を携帯電話で読み取るだけで、本機で探した場所と同じ場所の地図を携帯電話で見ることができます。たとえば、駐車場から目的地までの距離が少し離れている場合にこの機能を使って地図を持ち出せば、携帯電話に表示されている地図を見ながら行きたい場所までスムーズに行くことができます。

アドバイス

- ドコモ、au、ソフトバンクの携帯電話でご利用いただけます。2次元バーコードの読み取りに対応していない機種もあります。
- 2次元バーコード読み取りの操作手順は、携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
- 2次元バーコードで読み取った地図１画面のみの閲覧は無料です。（通信費はお客様負担となります。）
- 有料会員の方は、地図の縮尺変更や移動ができます。

NTTドコモ	iMapFan（アイマップファン） 月額315円（税込） ※地図１画面の閲覧は無料
au	ケータイ地図MapFan 月額315円（税込） ※地図１画面の閲覧は無料
ソフトバンク	ケータイ地図MapFan 月額315円（税込） ※地図１画面の閲覧は無料

- iMapFan（iMapFan）、ケータイ地図MapFan（ケータイ地図MapFan）とは、携帯電話で利用できる地図検索サイトです。簡単な操作で、日本全国の詳細な地図をすぐに見ることができます。住所や駅名から検索したり、レストランやコンビニ、公共施設、トイレ、駐車場など、「この近くで探したい」場所を検索できます。
  ※ｉモード、EZweb、Yahoo!ケータイ の公式メニュー内に登録されています。
- 「マップクリップ」はインクリメントＰ（株）の登録商標です。
- QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。
- 「マップクリップ」のサービスは、予告無く変更・中断・中止される場合があります。

1 **場所を探して（→P34）ショートカットメニュー（→P16）を表示させる**

アドバイス

- 「マップクリップ」では、ここでカーソルを合わせた場所付近の地図が携帯電話に表示されます。現在地ではなく目的地付近の地図を携帯電話に持ち出したい場合は、目的地にカーソルを合わせてからショートカットメニューで操作してください。

2 **マップクリップ にタッチする**

3 **スケール（100m）にタッチし、広域／詳細で地図のスケールを決める**

つづく→

はじめに
ナビゲーション基本操作
検索
ルート
登録・編集操作
設定操作
VICS・各種情報操作
通信
その他の操作
付録

アドバイス

- スケールは、25m ～ 2kmの範囲で変更することができます。
- 携帯電話には、ここで選択したおおよそのスケールで地図が表示されます（場所によっては、縮尺スケールなどが変更になることがあります）。
- フリーズーム(→P25)はできません。
- 約４秒間操作しないと、広域、詳細は消えます。

4 携帯電話で2次元バーコードを読み取る

アドバイス

- 大 中 小にタッチすると、バーコードの大きさを変更できます。読みやすい大きさを選んでください。

ルート

行き先までのルートを探索させる

検索した場所を「行き先」として設定すると、現在地から行き先までのルートが探索され、ルート案内開始画面が表示されます。

1 場所を探して（→P34）行き先を決める

2 ここへ行く にタッチする

アドバイス

- 目的地の近くに有料道路があるときは、[一般道路] か [有料道路] を確認する画面が表示される場合があります。その場合はどちらかを選んでください。

3 ルートを確認する

案内開始	現在選ばれているルートで案内を開始します。（→手順 4）
ルート確認	現在選ばれているルートを確認できます。（→ P50）
他のルート	他のルートを選びます。（→ P47）
ルート地図	出発地と目的地が 1 画面におさまるようにしてルートを地図で表示します。（→ P48）
詳細ルート設定	立寄地指定（→ P53）、乗降 IC 指定（→ P54）、出発地指定(→P55)ができます。

アドバイス

- 最初に表示されるルートは、「ルート探索基準」（→P76）、「有料道路使用条件」（→P76）の探索条件に従ったルートになります。
- 立寄地や乗降 IC を指定してルート探索した場合は、他のルートを選ぶことはできません。
- ルート確認、詳細ルート設定が選べるようになるまで、時間がかかる場合があります。

4 案内開始 にタッチするか、走行を開始する

▼

走行を開始すると状況に応じて画面と音声でルート案内を行います。目的地に近づくとルート案内は終了します。

アドバイス

- ルート案内を中止するには、ルートを消去します。（→P62）

案内開始画面の見かた

探索条件
現在選ばれているルートの探索条件が表示されます。

IC表示（インターチェンジ）
利用する有料道路の最初のICと最後のICが表示されます。

メニュー表示

ルート表示
現在選ばれているルートが概略表示されます。

距離：選ばれているルートの総距離が表示されます。
所要時間：機能設定 *(→P77)* で設定した到着予想時刻速度を元に計算した所要時間が表示されます。
料金：利用する有料道路の料金が表示されます。

アドバイス

- 案内開始画面は、ノースアップ *(→P24)* となります。
- 料金表示は、***「車両設定」*** *(→P88)* により設定された「有料道路料金区分」の料金で表示されます。
- 料金非対応路線を含むルートの場合は、「〇〇円以上」と表示されたり、「不明」と表示されることがあります。
- サービスエリアなどの有料道路施設を行き先とした場合、料金が表示されないことがあります。

他のルートを選ぶ

現在選ばれているルートとは異なる探索条件のルートを選ぶことができます。

1 案内開始画面で 他のルート にタッチする

2 1 ～ 6 の番号にタッチする

3 決定 にタッチする

地図スクロール	スクロール確認画面 (→P48) でスケール変更と地図のスクロールができます。

アドバイス

- 最大6本の候補ルート中から選ぶことができます（候補ルートが同じになる場合もあります）。
- 現在選ばれているルートの探索条件は画面に表示されます。
- 推奨ルートは必ずしも最短時間になるルートとは限りません。

■スクロール確認画面の操作

スクロール確認画面では、地図のスクロール（→P21）とスケール変更（→P25）ができます。

また、候補切替にタッチするごとに、ルートが切り替わり、決定にタッチすると選んだルートに設定します。

ルート地図を表示する

立ち寄り地を指定するなどして、探索されたルートが１本のみの場合、ルート全体が１画面におさまるように表示されます。
ルート地図画面では、地図のスクロール（→P24）とスケール変更（→P25）ができます。

1 案内開始画面でルート地図にタッチする

2 決定または戻るにタッチする

▼

案内開始画面（→P47）に戻ります。

学習ルート探索

出発地、立寄地、目的地付近でよく使う道を考慮してルート探索を行います。

アドバイス

- 学習ルート探索はON/OFFできます。→「設定を変更する」（P74）
- 学習した道が必ず使われるとは限りません。

VICS情報を考慮したルート探索（渋滞考慮ルート探索）

VICS情報をもとに渋滞や交通規制を考慮してルート探索を行います。

アドバイス

- VICS情報が取得できないときは、渋滞考慮ルート探索はできません。
- VICS用ビーコンユニットを接続しているときは、ビーコンおよびFM多重情報による渋滞が考慮されます。VICS用ビーコンユニットが接続されていないときは、FM多重放送による規制情報のみが考慮されます。
- インターナビが利用可能な場合は、インターナビVICSで取得できた渋滞情報もビーコンおよびFM多重情報と同時に考慮されます。
- 必ずしも実際の渋滞を避けるルートになるとは限りません。
- 渋滞考慮ルート探索はON/OFFできます。→「設定を変更する」（P74）

素早くルートを探索させる（クイックルート探索）

簡単な操作でルートを探索させることができます。

自宅に帰るルートを探索させる

自宅が登録されているときは、簡単な操作で自宅へ帰るルートを探索させることができます。

1 自宅 にタッチする

▼

自宅までのルートが１本だけ探索され、案内を開始します。

アドバイス

- この機能を使うには、自宅が登録されている必要があります。→*「自宅を登録する」（P64）*
- 自宅が登録されていないときに 自宅 にタッチすると、自宅を登録する画面になります。*（→『クイックガイド』）*
- 目的地メニュー*（→P16）*の 自宅 にタッチして操作することもできます。

過去に探した場所へルートを探索させる

1 現在地画面で ⏏ にタッチする

2 クイックルート探索 にタッチする

3 探した場所の履歴から行きたい場所にタッチする

アドバイス

- リストには履歴のマーク（ピンマーク：青）または登録地のマークが表示されます。
- 履歴のリストは最大50件まで表示されます。
 ＞ にタッチするとサイドメニュー*（→P18）*で、「平日、土日祝日順」「呼出日時順」「自車位置から近い順」「ヨミ順」で並べ替えることができます。
- 探した場所の履歴を消去するには→*「最近探した場所の履歴を消去する」（P71）*

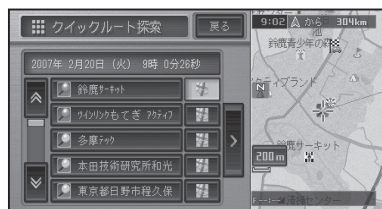
▼

選んだ場所までのルートが１本だけ探索され、案内を開始します。

サイドマップ画面からルートを探索させる

1 サイドマップ画面（→P23）で、クイック にタッチする

▼

選んだ場所までのルートが１本だけ探索され、案内を開始します。

ルートを確認する

ルートをいろいろな方法で確認することができます。

アドバイス

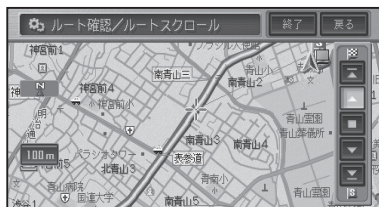
- 案内開始画面（→P47）やショートカットメニュー（→P16）の ルート編集 からも操作することができます。
- デモ走行 は、案内開始画面（→P47）からは操作できません。

1 **NAVI を押し、情報・通信／設定 － データ編集（タブ） － ルート編集 － ルート確認 にタッチする**

2 **確認する方法にタッチする**

ルートスクロール	ルートスクロールで確認します。
ルートプロフィール	ルートプロフィールで確認します。
設定地点リスト	設定地点リストで確認します。
デモ走行	デモ走行で確認します。
デモ走行終了（デモ走行中）	デモ走行を終了します。

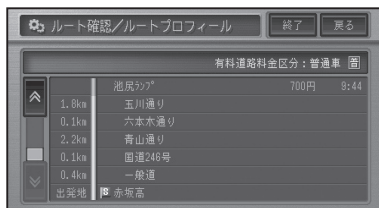
ルートスクロールで確認する

出発地から行き先までのルートをなぞるように地図を動かして、ルートを確認できます。

⏫	1つ先の立寄地（目的地）を表示します。
▲	前方へ自動スクロールします。
■	自動スクロールを停止します。
▼	後方へ自動スクロールします。
⏬	1つ前の立寄地（出発地）を表示します。

アドバイス

- 自動スクロール中に走行を開始すると、一定区間自動スクロールを行った後自動スクロールを停止します。

ルートプロフィールで確認する

出発地から行き先までの間に通る道路名や区間距離、有料道路の料金（有料道路を使用する場合）などの情報を確認できます。

設定地点リストで確認する

案内中のルートの目的地、立寄地、出発地をリスト表示させて地図で確認することができます。

デモ走行で確認する

出発地から行き先までのルートを擬似走行させて、ルートを確認できます。

アドバイス

- デモ走行は繰り返し走行します。
- デモ走行中は、画面右側に**デモ中**が表示されます。タッチすると、デモ走行終了の確認メッセージが表示されます。終了する場合は**はい**にタッチします。

ルートを再探索させる

探索されたルートは、探索時の条件をいろいろ変えて、再探索することができます。

アドバイス

- ショートカットメニュー（→P16）の ルート編集 からも操作することができます。
- すでに通過した立寄地は、ルートを再探索しても考慮されません。

条件を変えてルートを探索させる

案内中のルートの探索条件を一時的に変えて、再探索することができます。

1 NAVI を押し、情報・通信/設定 ー データ編集（タブ） ー ルート編集 ー 詳細ルート設定 にタッチする

2 有料回避で再探索 または 有料標準で再探索 にタッチする

▼

案内開始画面（→P47）が表示されますので、案内開始にタッチします。

アドバイス

- 上記探索条件の変更は一時的なもので、機能設定（→P76）には反映されません。

現在案内中のルートとは別のルートを探索させる

ルート上を走行中に、現在案内中のルートとは異なるルートを探索させることができます。

1 ⏏ ー 別ルート にタッチする

2 新ルート または 元ルート にタッチする

▼

選択されたルートで案内を開始します。

アドバイス

- 料金の差は、新ルートまたは元ルートのいずれかが有料道路を使用しているときに表示されます。どちらか一方の料金が不明な場合は表示されません。
- 別の候補ルートが無い場合は、この画面は表示されません。
- この画面のまま何も操作しないでしばらく走行するか、何らかの操作や割り込み等で別な画面に切り替わった場合は、機能設定の *「別ルート探索自動選択」*（→P77）に従ったルートが選ばれます。工場出荷時は「新ルート」に設定されています。
- 一般道路と有料道路が並行している場合、手順 1 で 別ルート を2秒以上タッチすると自車位置を一般道路または有料道路へ切り替えてルートを再探索します。→ *「一般道路または有料道路へ自車位置を修正する」*（P91）

ルートを詳細に設定する

立寄地や乗降IC、出発地などの指定や、料金を考慮したルートなど、ルートを詳細に設定することができます。

アドバイス

- 案内開始画面（→*P47*）やショートカットメニュー（→*P16*）の ルート編集 からも操作することができます。
- 詳細ルートを設定すると、探索されるルートは１本だけになります。

立寄地を追加する

ルート上に立寄地を追加して、立寄地を経由するルートを案内させることができます。

アドバイス

- ショートカットメニュー（→*P16*）から ここへ立寄る と操作することもできます。その場合は、その場所へ最初に立ち寄るルートとなります。
- 立寄地の追加を行うと、その時点で通過済みの立寄地はすべて自動的に削除されます。

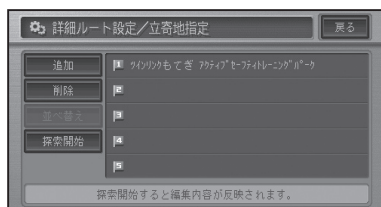
1 NAVI を押し、情報・通信／設定 − データ編集 （タブ） − ルート編集 − 詳細ルート設定 − 立寄地指定 にタッチする

2 追加 にタッチする

3 場所を探して（→P34）立寄地を決める

アドバイス

- 立ち寄る順番に指定します。
- 後から順番を並べ替えることもできます。

4 探索開始 にタッチする

追加	さらに立寄地を追加します。
削除	立寄地を削除します。
並べ替え − オート	前の立寄地から近い順に並べ替えます。
並べ替え − マニュアル	立ち寄る順番を指定して並べ替えます。

アドバイス

- さらに立寄地を追加するときは、手順 2 〜 3 の操作を繰り返します。
- 立寄地は最大５カ所まで指定することができます。
- 乗降ICを指定（→*P54*）した場合は、それぞれが立寄地として扱われます。また、並べ替え − オート は選択できません。

▼

指定した立寄地に立ち寄るルートが１本だけ探索され、案内開始画面（→*P47*）が表示されますので、案内開始 にタッチします。

立寄地を先送りする

登録された立寄地に立ち寄る必要が無くなった場合などは、立寄地を通過済みとして、ルートを探索し直すことができます。

1 **NAVI を押し、情報・通信/設定 ー データ編集（タブ） ー ルート編集 ー 立寄地送り にタッチする**

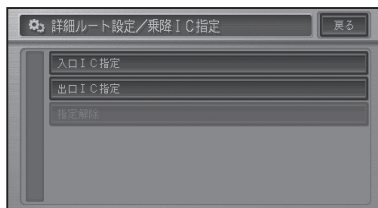
乗降IC（インターチェンジ）を指定する

有料道路を使うルートを設定した場合は、入口と出口のインターチェンジを指定することができます。

アドバイス

- 指定されたインターチェンジは、通常の立寄地として追加されます。
- 指定できるインターチェンジは、最初に探索されたルートの最初の入口と最後の出口の前後3施設のみです。途中で乗り降りするインターチェンジは変更できません。

1 **NAVI を押し、情報・通信/設定 ー データ編集（タブ） ー ルート編集 ー 詳細ルート設定 ー 乗降IC指定 にタッチする**

2 **入口IC指定 または 出口IC指定 にタッチする**

アドバイス

- 指定後は、手順 2 で 指定解除 にタッチすると、入口・出口 / 入口のみ / 出口のみ のいずれかにタッチしてインターチェンジの指定を解除することができます。

3 **入口または出口となるインターチェンジにタッチする**

▼

指定したインターチェンジを通るルートが探索されます。

アドバイス

- ジャンクション（JCT）を選ぶと、分岐先の有料道路のインターチェンジリストが表示されます。

出発地を指定する

指定した出発地からルートを探索することができます。

1 **NAVI を押し、情報・通信/設定 ー データ編集（タブ） ー ルート編集 ー 詳細ルート設定 ー 出発地指定 にタッチする**

2 **場所を探して（→P34）出発地を決める**

▼

指定した場所を出発地としたルートが探索されます。

■出発地を解除するには

前記の手順 1 で出発地指定解除にタッチします。

ルート誘導・案内

ルート案内中の表示や音声案内について説明します。

ルート案内中の現在地画面

アドバイス

- 案内中のルートは、一般道が緑色で有料道路は青色で道塗り表示されます。また、出発地付近、立寄地付近、目的地付近は細街路まで探索され、細街路はピンク色で表示されます。場所によっては道塗りされない場合もあります。
- 到着予想時刻には、*「機能設定」(→P77)*で設定した到着予想時刻速度と走行中の平均速度の内容がそれぞれ反映されます。またVICSおよびインターナビVICSの情報も考慮されます。表示される時刻はあくまでも推測時刻で実際の到着時刻とは異なります。
- ルートインフォメーションには、次の案内地までの距離と曲がる方向および交差点名が表示されます。また、左側にさらにその先の案内地までの距離と曲がる方向が表示されます。交差点によっては、交差点名が"案内地"と表示される場合があります。
- 交差点案内表示には、次に通過する交差点名とレーン情報、案内看板が表示されます。交差点によっては情報が表示されない場合があります。
- レーン情報表示は、誘導中のレーンが緑色で表示されます。推奨の誘導レーンは緑色に白の矢印で表示されます。
- ルート探索については、*「ルートに関する注意事項」(→P219)*を参照してください。
- 案内中の案内音声をシンプルにすることができます。*→「設定を変更する」(P74)*

■案内地に近づくと

案内地の手前約300m(シンプルガイド時は約500m)に近づくと、交差点案内表示の画面に切り替わり、曲がる方向や目印となる施設が表示されます。

アローガイド

ドライバーズビュー

拡大図

アドバイス

- 交差点案内表示は、アローガイド／ドライバーズビュー／拡大図の変更ができます。→*「設定を変更する」(P74)*
  工場出荷時は「アローガイド」に設定されています。
- 「拡大図」に設定されている場合、目印になる施設がある場合は、ランドマークが で強調表示されます。

■都市高速道路の入口に近づくと

ルート上の都市高速道路入口の手前約300mに近づくと、イラストが表示されます。

アドバイス

- 一部の都市高速入口において、イラストが表示されないことがあります。
- 都市高速入口の直前に案内地点がある場合には、イラストが表示されないことがあります。

■有料道路の分岐に近づくと

ルート上の有料道路分岐の手前約2kmに近づくと、ルートの進行方向の方面名称を表示します。また都市高速・都市間高速では分岐の手前約1kmに近づくと、イラストが表示されます。

アドバイス

- 地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

■有料道路の入口や出口の料金所に近づくと

別売のETCユニットを接続している場合、ETCの情報を受信したときは、ETCが利用可能かどうか、および料金が音声案内とメッセ ージで表示されます。
また、ETCレーンの案内もイラストと効果音で行うことができます。

アドバイス

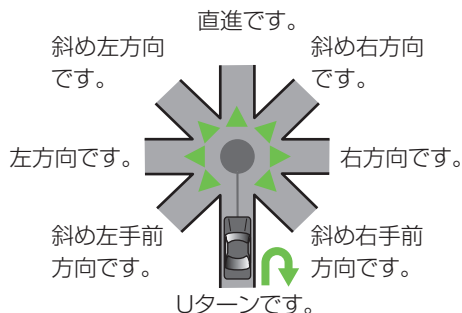
- ETCが利用可能な場合のメッセージと料金は、現在地画面のときに表示されます。（料金の表示は、AVソース画面に切り替えていても行われます。）
- ETCレーン案内は、ON/OFFできます。→*「設定を変更する」(P74)*
- 地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

音声による誘導・案内

ルート走行中は、運転の状況や車の速度に応じて、きめ細かく音声案内が行われます。

■進行方向案内

進行方向（8方向）は、音声で以下のように案内されます。

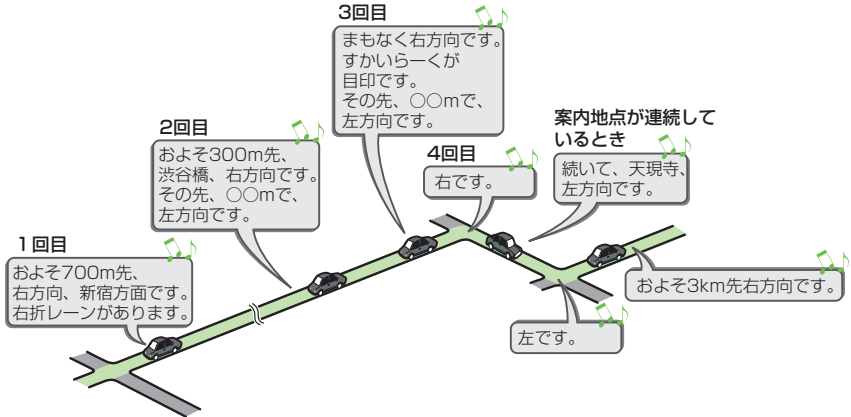
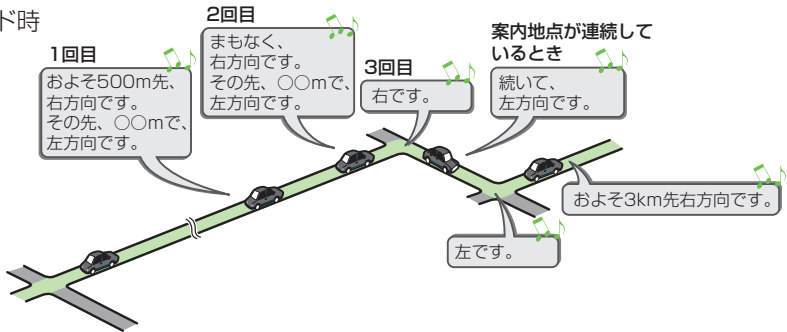
種類	案内例
側道案内	およそ○○ｍ先、側道を左方向です。
レーン案内	およそ○○ｍ先、右方向です。右折レーンがあります。
方面案内	およそ○○ｍ先、左方向、練馬方面です。
有料道路入口･出口案内	およそ○○ｍ先、○○インターチェンジ、左方向、入口です。
有料道路料金所案内	およそ○○km先、○○料金所です。
ETC 料金案内	料金は○○円でした。
ランドマーク音声案内	まもなく左方向です。○○が目印です。

アドバイス

- 右方向や左方向などの案内だけではうまく案内できない地点においては、走行すべきレーンなども案内します。
- 誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状とは合わない場合があります。
- 本機のETC情報案内機能を利用するには、本機に別売のETCユニットを接続する必要があります。
- ETC情報案内は、情報提供施設からの情報により案内が行われます。

■一般道路走行時の案内

車の速度に合わせ、交差点の手前で最大４回、音声案内が流れます。また、そのタイミングに合わせて交差点案内が表示されます。

アドバイス

- 音声案内の回数や内容をシンプルにすることができます。→「設定を変更する」(P74)
- 一般道シンプルガイド設定がONの時は、案内地点の交差点名や目印になる施設名は案内されません。

立寄地が近づいたら

立寄地の約500m手前に近づくと、「およそ500m先、立寄地点です。」と音声案内が流れます。

■有料道路を走行しているときは

ルート上の有料道路分岐の手前約2kmに近づくと、ルートの進行方向の方面名称を表示します。また都市高速・都市間高速では分岐の手前約1kmに近づくと、イラストが表示されます。さらに、出口の料金所で料金とこれから進む方向が案内されます。

アドバイス

- 料金表示は、車両設定により、中型車、普通車、軽自動車に切り替えられます。→「車両設定を行う」(P88)
- 料金案内では、有料道路に入る前にル ートを設定した入口から出口までの料金が案内されます。有料道路に入ってからルートを設定した場合は、料金案内が実際と異なったり、料金が案内されないことがあります。

ルート案内中の操作と機能

ルート案内中にできる操作と、いろいろな機能を説明します。

ルートから外れたときに自動的にルートを再探索させる

案内中のルートから約30m以上外れた場合、自動的にルートを再探索します（オートリルート）。

アドバイス

- ドライバーが意図的にルートを外れたのか、道を間違えたのかを内部で判断し、全ルート再探索または復帰ルート再探索を行います（インテリジェントリルート）。
- オートリルートがOFFの状態でルートを再探索するには、**ルート編集**—**ルート再探索**（*→P52*）にてルートを再探索してください。

■ルート上に通行止めが発生した場合

ルート上に通行止めが発生した場合は、「ルート上に通行止めが発生したため、新ルートで案内します」と音声案内と画面表示され、新ルートのみの案内となります。**確認**にタッチしてください。

次の案内地点が見えるスケールに自動的に変更させる

ルート案内中、次の案内地点が地図に表示されるように、地図のスケールを自動的に拡大・縮小させることができます(オートフリーズーム)。

アドバイス

- オートフリーズームはON/OFFできます。→*「設定を変更する」(P74)*
- オートフリーズームは、広域側500m ～詳細側50mのスケール内で自動的にスケールが変化します。
- 次の案内地点が遠い場合は、スケールが変更されないことがあります。

状況に応じて新しいルートを提案させる

新しいルートが見つかると、「新しい候補ルートが見つかりました」または「渋滞考慮オートリルートを行いました」と音声案内が流れ、新しいルートを表示します。

アドバイス

- この画面の操作は、*「現在案内中のルートとは別のルートを探索させる」（→P52）*を参照してください。
- ルート上に次のような情報があった場合に提案されます。
  - 抜け道データにより、他に効率が良いルートが見つかった場合（抜け道考慮）。
  - VICS情報により、渋滞情報や規制情報が見つかった場合（渋滞考慮）。
- 「抜け道考慮」「渋滞考慮」はそれぞれON/OFFできます。→*「設定を変更する」(P74)*
- VICS用ビーコンユニットを接続しているときは、ビーコンおよびFM多重情報による渋滞が考慮されます。VICS用ビーコンユニットが接続されていないときは、FM多重放送による規制情報のみが考慮されます。
- インターナビが利用可能な場合は、インターナビVICSで取得できた渋滞情報もビーコンおよびFM多重情報と同時に考慮されます。
- 案内地付近や案内地が連続している場合は、働かないことがあります。
- 新しい候補ルートは、元のルートより所要時間、または距離が増加するルートが提示されることがあります。

次の案内地を確認する

ルートインフォメーション（→P56）の矢印にタッチすると、次の案内地の音声案内と地図表示を行います。

ルート上の渋滞情報を案内させる

ルート上に発生したVICSの渋滞・規制情報を地図や音声で案内させることができます。

アドバイス

- VICS情報が取得できないときなどは働かないことがあります。
- 音声では、例："およそ3km先、1kmの渋滞が発生しています。通過に5分ほどかかります。"と案内されます。

■自動で案内させる

ルート上に発生した渋滞情報を自動的に音声で案内します。（渋滞オートガイド）

アドバイス

- 渋滞オートガイドは、ON/OFFできます。→「設定を変更する」（P74）
- 案内中のルートが無い場合は、案内されません。

■手動で案内させる

ルート上に発生している渋滞情報を地図と音声で案内させることができます。（渋滞チェック）

1 ルート案内中に 渋滞 にタッチする

▼

渋滞している場所の地図が表示され、渋滞状況が音声で案内されます。

アドバイス

- 手順 1 の操作を繰り返すごとに、5カ所先の渋滞場所まで順に案内させる事ができます。
- 案内中のルートが無い場合は、自車周辺の規制情報のみを表示・案内します。

2 渋滞情報を確認したら 現在地 を押す

▼

現在地画面に戻ります。

ルートを消去する

案内中のルートが不要になったときは、ルートを消去してルート案内を中止することができます。

アドバイス

- ショートカットメニュー(→P16)の ルート編集、または情報･通信／設定メニューのデータ編集タブー ルート編集 (→P50) から操作することもできます。

1 NAVI を押し、ルート消去 にタッチする

2 はい にタッチする

▼

案内中のルートが消去されます。

アドバイス

- 消去したルートは復活できません。

登録・編集操作

地点の登録

自宅や友人宅などの覚えておきたい場所を登録しておくと、ルート設定などの操作が簡単になります。

アドバイス

- 自宅を含め201地点まで登録できます。
- メモリーデバイスや携帯電話を使ってインターナビのパーソナルホームページのマークリストと同期することができます。→*「登録地点情報をパーソナルホームページと同期させる」（P68）*
- 登録したい場所の地点名称などが自動的に登録されます。施設名や周辺の地域などの代表地名が特にない場合は、登録した時刻が名前になります。
- 登録地の名称やマークは変更することができます。→*「登録地の編集」（P66）*

自宅を登録する

自宅を登録しておくと、ワンタッチで自宅へのルートが探索できます。

1 自宅に車を停め、NAVIを押し、自宅 にタッチする

自宅が登録されます。

アドバイス

- 自宅以外の場所に停車しているときは、*「場所を探す」（→P34）*を参照して自宅の場所を探してください。
- 既に自宅が登録してあるときは、自宅へのルート探索が開始されます。その場合は自宅を消去してから操作してください。→*「登録地を消去する」（P69）*
- 自宅が登録されていないときは、ショートカットタッチキー（→P20）の 自宅 にタッチしても自宅を登録することができます。詳しくは*『クイックガイド』*を参照してください。
- 自宅登録後にショートカットタッチキー（→P20）の 自宅 や目的地メニュー（→P16）の 自宅 にタッチすると、自宅までのルート探索が始まります。
- 自宅を登録した地点には、自宅マークが表示されます。
- 自宅の位置は変更できます。→*「登録地の登録内容を変更する」（P66）*

場所を登録する

探した場所やドライブで訪れた場所を登録しておくと、次回そこへ行くときに簡単にルートを探索することができます。
また、登録した場所へ電話をかけたり近づくと自動的に音を鳴らしたり、立体ランドマークを登録することもできます。

1 場所を探す（→P34）

探した場所の地図上にショートカットメニューが表示されます。

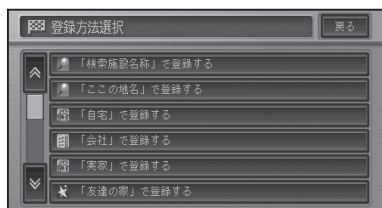
アドバイス

- 現在地を登録したいときは、現在地画面で ⏏ にタッチします。

2 ここを登録する にタッチする

アドバイス

- 走行中は、手順 2 の操作後に地点が登録されます。手順 3 の画面は表示されません。

3 「ここの地名」で登録する または 「検索施設名称」で登録する にタッチする

4 入力終了 にタッチする

アドバイス

- ジャンルリスト検索などで呼び出した施設などを登録する場合、その施設に電話番号のデータがあれば、自動的にその番号が登録されます。
- 手順 4 で登録する名称を変えることができます。→「文字の入力操作」(P122)

■用意されている名称で登録する

場所を登録する際、そこの地名ではなく「実家」「おばあちゃんの家」「彼女の家」といった名前で登録できます。登録時に選択した名称とそれに応じたマークが付きます。ヨミも自動的に登録されます。

1 手順 3 で以下の項目を選ぶ

次の名称で登録できます

「会社」で登録する

「会社」

「実家」で登録する

「実家」

「友達の家」で登録する

「友達の家」

「おじいちゃんの家」で登録する

「おじいちゃんの家」

「おばあちゃんの家」で登録する

「おばあちゃんの家」

「おじさんの家」で登録する

「おじさんの家」

「おばさんの家」で登録する

「おばさんの家」

「田舎」で登録する

「田舎」

「ふるさと」で登録する

「ふるさと」

「彼女の家」で登録する

「彼女の家」

「彼氏の家」で登録する

「彼氏の家」

名前をつけて登録する

お好みの名前を入力することができます。

カメラ表示地点として登録する

「施設名称」
「未登録」

登録地の編集

登録地に関する情報（名称、ヨミ、電話番号、マーク、効果音、位置）を変更したり、登録地を消去したりすることができます。

アドバイス

- 自宅として登録された登録地は、「ヨミ」は変更できません。また、他の登録地への変更もできません。

登録地の登録内容を変更する

登録時に設定された内容を変更することができます。

1 NAVI を押し、情報・通信/設定 ー データ編集（タブ） ー 登録した場所編集 ー 編集 にタッチする

2 登録内容を変更したい地点にタッチする

アドバイス

- ＞にタッチするとリストを並べ替えることができます。

呼出日時順	登録または呼び出しの日時順に並べ替えます。
自車位置から近い順	自車位置から近い順に並べ替えます。
ヨミ順	ヨミ順（50音順）に並べ替えます。
2Dマーク順	マークごとに並べ替えます。

3 変更したい項目にタッチする

名称	変更したい名称を全角で20文字（半角で40文字）まで入力できます。
ヨミ	ヨミ順でリストを並べ替えるときの「ヨミ」を入力します。ヨミは全角で20文字まで入力できます。
電話番号	電話番号を入力します。電話番号を設定しておくと、電話番号からその場所を検索できるようになります。また、携帯電話を接続していれば、その場所に電話をかけられます。
2Dマーク	地図上に表示される登録地の2Dマークを変更します。
3Dマーク	スカイビューなどの3D地図でスケールを200m以下にしたときに表示される登録地の3Dマークを変更します。→ *「3Dマーク（立体ランドマーク）の大きさと向きを設定する」（P67）*
効果音	登録地に近づいたときに鳴らす効果音を設定できます。
位置修正	登録地の位置を修正します。
カメラ表示地点（フロント/コーナーカメラ接続時）	地点をカメラ表示地点に変更し、2Dマークをカメラ表示地点用マークに変更します。
登録地点（カメラ表示地点選択時）	カメラ表示地点の登録を解除し、2Dマークを虫ピン「」に変更します。

4 終了 にタッチする

地図画面に戻ります。

アドバイス

- 3Dマークを狭いエリアに数多く登録すると、3D地図表示のスクロールなどの反応が遅くなります。
- カメラ表示地点のマークは、専用のマークです。変更できません。
- 3Dマークが表示されない500m以上のスケールでは、2D地図と同じマークが表示されます。

■カメラ表示地点について

フロント／コーナーカメラが接続されている場合、地点をカメラ表示地点で登録しておくと、車が地点に近づき低速になった時、カメラの映像に自動的に切り替わります。見通しの悪いT字路などを登録しておくと便利です。

アドバイス

- フロント／コーナーカメラについて詳しくは、*「フロント／コーナーカメラの操作」(→P114)*をご覧ください。

■登録した場所の名称を地図上に表示させる

2Dマークリスト上の マークを選ぶと、マークに加え登録した場所の名称も地図上に表示されます(プライベートマッピング)。

■3Dマーク（立体ランドマーク）の大きさと向きを設定する

3Dマークリスト上のマークを選ぶと、3Dマークの大きさと向きが設定できます。

1 3Dマークリスト上から変更したいマークにタッチする

▼

変更した登録地のマークが保存され、地図画面が表示されます。

2 3Dマークの大きさと向きを設定して、決定 にタッチする

▼

変更した登録地のマークの大きさと向きが保存され、登録地点内容表示画面に戻ります。

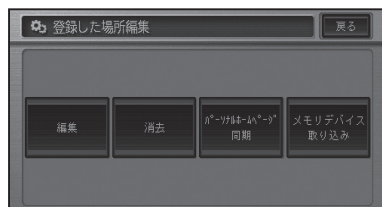
拡大 縮小	3Dマークを拡大、縮小します。
左回転 右回転	3Dマークを回転させます。

■登録地点情報をパーソナル・ホームページと同期させる

本機で登録した地点情報とパーソナル・ホームページに登録した地点情報を同期することにより、お互いの情報を最新の内容に更新できます。

同期は、携帯電話を本機に接続して行います。（→P81）

1 NAVI を押し、情報・通信/設定 ー データ編集（タブ）ー 登録した場所編集 ー パーソナルホームページ同期 にタッチする

▼

登録されている内容がインターナビのパーソナル・ホームページと同期されます。

アドバイス

- パーソナル・ホームページとは、インターナビ・プレミアムクラブが提供するパソコン向けサービスです。
- 情報の同期をすると、インターナビ・プレミアムクラブ会員専用のパーソナル・ホームページにお客様がパソコンなどで登録した情報と、ナビゲーションシステム本体で登録した情報を、お互いに日付の新しい情報に更新することができます。
  例えば、自宅でパソコンからパーソナル・ホームページに登録した地点情報を同期することにより、ナビゲーションで利用することができます。
- 自宅を含め201地点まで登録できます。

■効果音の鳴りかた

- 効果音の設定された登録地が自車から500m以内に近づくと、効果音が鳴ります。
- 自車から500m以内に登録地が複数ある場合は、近いものから効果音が鳴ります。
- 登録地の効果音よりも、ETC、ルート、VICSの音声案内が優先されます。
- いったん効果音が鳴ると、30分経過するか、本機の電源を入れ直さないと（エンジンをかけ直さないと）同じ場所の効果音は鳴りません。
- あいさつにタッチすると、時刻によって効果音が変わります。

登録地を消去する

不要になった登録地を消去します。

1 NAVI を押し、情報・通信/設定 – データ編集(タブ) – 登録した場所編集 – 消去 にタッチする

2 消去したい登録地にタッチする

▼

選んだ登録地には、チェックマーク✔が付き、引き続き選ぶことができます。

アドバイス

- > にタッチするとサイドメニューが表示されます。

全選択	全ての登録地が選択されます。
全解除	選択されている登録地全てを解除します。または解除したい登録地を選んでも解除できます。
呼出日時順	リストを呼出日時順に並べ替えます。
自車位置から近い順	リストを自車位置から近い順に並べ替えます。
ヨミ順	リストをヨミ順に並べ替えます。
2D マーク順	リストを 2D マーク順に並べ替えます。

3 終了 にタッチする

▼

確認メッセージが表示されます。

4 はい にタッチする

▼

登録地が消去されます。

アドバイス

- 詳細情報から消去することもできます。→「詳細情報を見る」(P42)

その他のデータの編集

本機に保存されたいろいろな機能のデータを消去することができます。

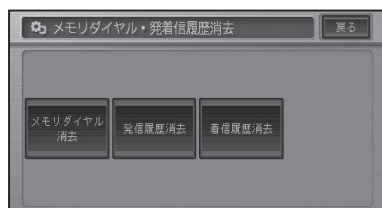
携帯電話情報を消去する

不要になったメモリダイヤルや発信履歴、着信履歴を消去することができます。

アドバイス

- 本機に記録されているデータが消去されます。接続した携帯電話側のデータは消去されません。

1 **NAVI を押し、情報・通信／設定 ー データ編集（タブ）ー 携帯電話編集 にタッチする**

2 **消去したい電話番号のある項目にタッチする**

3 **消去したい電話番号にタッチする**

▼

選んだ電話番号には、チェックマーク✔が付き、引き続き選ぶことができます。

アドバイス

- ＞にタッチするとサイドメニューが表示されます。全選択にタッチすると、全ての電話番号が選択されます。選択を解除するには、全解除または解除したい電話番号にタッチしてください。
- メモリダイヤルから消去する場合は、サイドメニューで表示されるリストを並び替えることができます。

メモリー番号順	リストを登録されたメモリ番号順に並び替えます。
グループ順	リストを登録されたグループ順に並び替えます。
ヨミ順	リストをヨミ順に並び替えます。

4 **終了 にタッチする**

確認メッセージが表示されます。

5 **はい にタッチする**

▼

電話番号が消去されます。

最近探した場所の履歴を消去する

場所を探すと、探した場所が自動的に「最近探した場所」に100件まで保存されていきます。
次の手順で最近探した場所を消去することができます。

1 **NAVI** を押し、**情報・通信/設定** ー **データ編集**（タブ）ー **最近探した場所消去** にタッチする

2 **消去したい履歴にタッチする**

▼

選んだ履歴には、チェックマーク✔が付き、引き続き選ぶことができます。

アドバイス

- **>**にタッチするとサイドメニューが表示されます。

全選択	全ての履歴が選択されます。
全解除	選択されている履歴全てを解除します。または解除したい履歴を選んでも解除できます。
呼出日時順	リストを呼出日時順に並べ替えます。
自車位置から近い順	リストを自車位置から近い順に並べ替えます。
ヨミ順	リストをヨミ順に並べ替えます。

3 **終了** にタッチする

▼

確認メッセージが表示されます。

4 **はい** にタッチする

▼

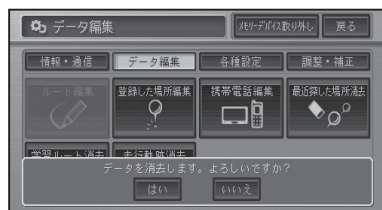
履歴から選んだ場所が消去されます。

ルートの学習内容を消去する

本機はふだん使用する道を学習しており、ルート設定では学習した道を優先的に探索します→*「機能設定」（P74）*。したがって、ほかに効率のよい道が見つかっても、ルート設定に反映されないことがあります。このようなときは、ルートの学習内容をいったん消去し、学習し直すことをおすすめします。

1 **NAVI** を押し、**情報・通信/設定** ー **データ編集**（タブ）ー **学習ルート消去** にタッチする

▼

確認メッセージが表示されます。

2 **はい** にタッチする

▼

学習ルートが消去されます。

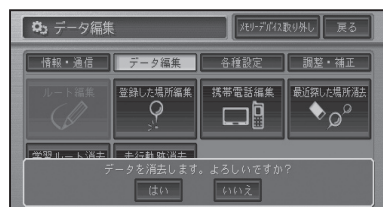
走行軌跡を消去する

地図画面に表示される走行軌跡を消去することができます。

アドバイス

・走行軌跡を自動的に消去させることもできます。→「設定を変更する」(P74)

1 **NAVI を押し、情報・通信/設定 ー データ編集（タブ）ー 走行軌跡消去 にタッチする**

▼

確認メッセージが表示されます。

2 **はい にタッチする**

▼

走行軌跡が消去されます。

設定操作

機能設定

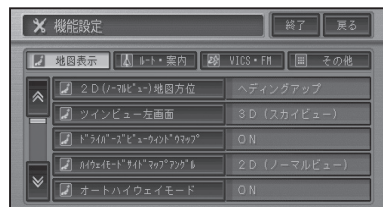
用途やお好みに応じて設定を変更することにより、ナビゲーションを使いやすくすることができます。
ナビゲーションの設定項目は、機能ごとに次の４つのメニューに分類されています。

- 地図表示（→P75）
- ルート・案内（→P76）
- VICS・FM（→P78）
- その他（→P79）

設定を変更する

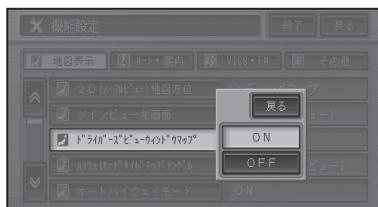
ナビゲーションの機能設定を変更するには、以下のようにします。

1 NAVI を押し、情報・通信/設定 ー 各種設定（タブ）ー 機能設定 にタッチする

2 設定を変更したい項目にタッチする

アドバイス

- 分類タブにタッチすると、機能の先頭からリストを表示させることができます。

3 設定内容にタッチする

▼

設定内容が変更されます。引き続き設定項目を選んで変更することができます。

4 設定を終了する場合は、終了 にタッチする

設定内容の詳細

■ 地図表示

緑色の字は工場出荷時の設定です。

2D（ノーマルビュー）地図方位

「ヘディングアップ」　進行方向が常に上になるよう、地図が自動回転します。
「ノースアップ」　常に北が上になるように地図が表示されます。

ツインビュー左画面

「2D（ノーマルビュー）」左画面をノーマルビューで表示します。
「3D（スカイビュー）」　左画面をスカイビューで表示します。

ドライバーズビューウィンドウマップ

「ON」　画面の右側にウィンドウマップが表示されます。
「OFF」　ウィンドウマップは表示されません。

ハイウェイモードサイドマップアングル

「2D」　サイドマップをノーマルビューで表示します。
「3D」　サイドマップをスカイビューで表示します。

オートハイウェイモード

「ON」　有料道路でハイウェイモードにします。
「OFF」　ハイウェイモードにしません。現状の地図表示モードを維持します。

シティマップ

「ON」　市街地図が表示されます。
「OFF」　通常の地図が表示されます。

スカイシティマップ（シティマップON時に選択可）

「ON」　市街地図の建物が立体的に表示されます。
「OFF」　市街地図の建物が平面的に表示されます。

シティマップ境界表示（シティマップON時に選択可）

「ON」　シティマップの境界を画面に表示します。
「OFF」　シティマップの境界を画面に表示せず、通常画面に切り替えます。

地図色切替

「時刻連動」　日没／日出時刻連動で画面の配色が切り替わります。
「昼色固定」　常に昼画面のままです。
「夜色固定」　常に夜画面のままです。

自車マーク変更

「通常」　工場出荷時の自車マークです。
「自車マーク1」　自車マークがASIMOで表示されます。
「自車マーク2」　自車マークが飛行機で表示されます。
「自車マーク3」　自車マークが船で表示されます。
「自車マーク4」　自車マークが車で表示されます。

抜け道表示

「ON」　抜け道が表示されます。
「OFF」　抜け道は表示されません。

走行軌跡自動消去

「自宅付近」　自宅で登録した場所から100m以内の地点で本機の電源を切る（エンジンを切る）と、走行軌跡が自動的に消去されます。
「電源オフ時」　本機の電源を切る（エンジンを切る）と走行軌跡が自動的に消去されます。
「OFF」　走行軌跡は自動消去しません。

走行軌跡表示

「ON」　走行軌跡が表示されます。
「OFF」　走行軌跡は表示されません。

スクロール方面表示

「ON」　スクロール中、方面案内が表示されます。
「OFF」　方面案内は表示されません。

2D（ノーマルビュー）固定スクロール

「ON」　スクロール中、画面をノーマルビューに固定します。
「OFF」　スクロール中、画面をノーマルビューに固定しません。

■ルート・案内

緑色の字は工場出荷時の設定です。

ルート探索基準

「推奨」　信号機の数が少なく、右左折の量も適度な通りやすいルートが探索されます。
「距離優先」　距離を優先してルートが探索されます。
「幹線優先」　幹線道路を優先してルートが探索されます。

有料道路使用条件

「標準」　有料道路が標準的な基準でルート探索されます。
「回避」　有料道路を回避したルートが探索されます。

フェリー航路使用条件

「標準」　フェリー航路が標準的な基準でルート探索されます。
「優先」　フェリー航路を優先的にルート探索されます。
「回避」　フェリー航路を回避したルートが探索されます。

学習ルート探索

「ON」　学習したルートを考慮します。
「OFF」　学習したルートを考慮しません。

渋滞考慮ルート探索

「ON」　渋滞を考慮したルートが探索されます。
「OFF」　渋滞情報は考慮されません。

抜け道考慮オートリルート

「ON」　考慮します。
「OFF」　考慮しません。

抜け道考慮オートリルート自動選択（抜け道考慮オートリルートON時に選択可）

「元ルート」　元ルートを選択します。
「新ルート」　新ルートを選択します。

渋滞考慮オートリルート

「ON」	考慮します。
「OFF」	考慮しません。

渋滞考慮オートリルート自動選択（渋滞考慮オートリルートON時に選択可）

「元ルート」	元ルートを選択します。
「新ルート」	新ルートを選択します。

別ルート探索自動選択

「元ルート」	元ルートを選択します。
「新ルート」	新ルートを選択します。

道のり・到着予想時刻表示

「目的地」	目的地までの距離と到着予想時刻が表示されます。
「立寄地」	次の立寄地までの距離と到着予想時刻が表示されます。

到着予想時刻速度（一般道）

「20km/h」	平均速度20km/hとして到着予想時刻が計算されます。
「30km/h」	平均速度30km/hとして到着予想時刻が計算されます。
「40km/h」	平均速度40km/hとして到着予想時刻が計算されます。
「50km/h」	平均速度50km/hとして到着予想時刻が計算されます。
「60km/h」	平均速度60km/hとして到着予想時刻が計算されます。

到着予想時刻速度（有料道）

「60km/h」	平均速度60km/hとして到着予想時刻が計算されます。
「80km/h」	平均速度80km/hとして到着予想時刻が計算されます。
「100km/h」	平均速度100km/hとして到着予想時刻が計算されます。

交差点案内表示

「アローガイド」	案内地までの距離（数値と矢印）と交差点名の情報が強調され表示されます。
「ドライバーズビュー」	交差点付近を立体的に表現した案内図が表示されます。
「拡大図」	平面的な交差点拡大図が表示されます。

ETCレーン案内表示

「ON」	有料道路の料金所付近でETCレーン案内が表示されます。
「OFF」	ETCレーン案内は表示されません。

オートフリーズーム

「ON」	働きます。
「OFF」	働きません。

オートアングルチェンジ

「ON」	案内地点でドライバーズビューの視点を自動的に見やすいアングルに変更します。
「OFF」	ドライバーズビューの視点を変更しません。

一般道シンプルガイド

「ON」	ルート誘導時の音声案内をシンプルにします。
「OFF」	シンプルガイドを行いません。

VICS・FM

緑色の字は工場出荷時の設定です。

VICS情報表示対象道路

「有料道・一般道」	有料道・一般道のVICS情報が表示されます。
「有料道のみ」	有料道路のVICS情報のみが表示されます。
「一般道のみ」	一般道路のVICS情報のみが表示されます。
「表示しない」	VICS情報は表示されません。

渋滞情報表示※2

「ON」	道塗り表示されます。
「OFF」	道塗り表示されません。

順調表示※1

「ON」	VICS情報をもとに、交通が順調な道路が道塗り表示されます。
「OFF」	順調表示はされません。

規制表示※2

「ON」	交通規制のVICS情報マークと規制区間が表示されます。
「OFF」	交通規制のVICS情報マークと規制区間は表示されません。

駐車場情報マーク表示※2

「ON」	駐車場のVICS情報マークが表示されます。
「OFF」	駐車場のVICS情報マークは表示されません。

区間旅行時間表示※2

「ON」	旅行時間のVICS情報マークが表示されます。
「OFF」	旅行時間のVICS情報マークは表示されません。

渋滞チェック表示

「地図」	渋滞箇所を地図上に表示します。
「図形」	レベル2の図形で表示します。

ビーコン即時表示

「文字・図形」	ビーコン情報が文字表示（レベル1）または図形表示（レベル2）のいずれかで案内されます。都市高速や一般道路の走行時は、この設定が便利です。
「図形」	ビーコン情報が図形表示（レベル2）のみで案内されます。都市間高速の走行時は、この設定が便利です。
「OFF」	ビーコン情報は案内されません。

渋滞オートガイド

「ON」	ルート上の渋滞情報が自動で音声案内されます。
「OFF」	ルート上の渋滞情報は自動では音声案内されません。

FM多重チューナーの設定

「VICS」	VICS情報を受信します。
「FM多重」	FM文字放送を受信します。

※1 「VICS情報表示対象道路」が「表示しない」以外のとき、かつ「渋滞情報表示」が「ON」のときに設定できる機能です。
※2 「VICS情報表示対象道路」が「表示しない」以外のときに設定できる機能です。

■ その他

緑色の字は工場出荷時の設定です。

現在地情報の表示

「市区町村名」	現在地が市区町村名で表示されます。
「走行道路名」	現在地が走行道路名で表示されます。（道路名がない場合は市区町村名が表示されます。）
「緯度経度」	現在地が緯度経度で表示されます。
「OFF」	表示しません。

AV画面への割り込み

「交差点案内表示/ビーコン」	交差点案内表示とビーコン情報を割り込み表示します。
「交差点案内表示」	交差点案内表示のみ割り込み表示します。
「OFF」	割り込み表示しません。

有料道注意地点・県境案内

「ON」	案内されます。
「OFF」	案内されません。

踏切案内

「ON」	案内されます。
「OFF」	案内されません。

右左折専用レーン案内

「ON」	案内されます。
「OFF」	案内されません。

リフレッシュ案内

「ON」	案内されます。
「OFF」	案内されません。

ライト点灯案内

「ON」	案内されます。
「OFF」	案内されません。

ショートカットタッチキー

「ON」	ショートカットタッチキーを表示します。
「OFF」	ショートカットタッチキーを表示しません。

ETC起動時音声案内（ETC接続時に選択可）

「ON」	起動時にETCカードの有無をチェックして音声案内されます。
「OFF」	音声案内されません。

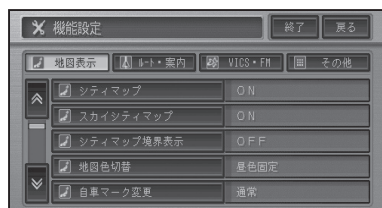
自車マーク設定

地図画面で表示される自車マークは、次の手順で変更することができます。

自車マークを変更する

通常のマークのほかに、４つのマークから選ぶことができます。

1 **NAVI を押し、情報・通信/設定 ー 各種設定（タブ）ー 機能設定 にタッチする**

2 **自車マーク変更 にタッチする**

3 **マークを選んでタッチする**

アドバイス

- “情報更新タッチキー”にタッチすると、選んだマークが右側に表示され、確認することができます。

通信接続設定

専用サーバーに接続すると、通信機能をご利用になれます。
（使用する機能やサービスによっては会員登録などが必要になります。）

通信機能 ※1	通信接続設定	会員登録	ご利用料金※2
携帯電話機能（→P108）	不要※3	不要	無料
インターナビ ※4（→『インターナビ・プレミアムクラブ編』）	要	要	無料
Gracenote® 音楽認識サービス（CDDB）（→P165）	要	不要	無料

※1 各種通信データサービスについては、予告なく休止または中止する場合があります。
※2 通信費および接続費はお客様負担となります。
※3 Bluetooth 接続する場合は、通信接続設定（→P84）が必要となります。
※4 インターナビの機能をご利用になる場合は、別途登録・設定（→『インターナビ・プレミアムクラブ編』）が必要となります。

通信機器を準備する

本機の通信機能を利用するには、携帯電話や接続ケーブルなどが必要です。

必要な通信機器

ナビゲーション本体に携帯電話を接続するには、別売の携帯電話用ケーブルまたはBluetoothユニットが必要になります。

- PDC用ケーブル
- CDMA 1X/cdmaOne用ケーブル
- FOMA用ケーブル
- CDMA 1X WIN用ケーブル
- Bluetoothユニット

※通信機器使用上のご注意

- 対応携帯電話やオプション類に関してはHonda販売店にご相談ください。
- 回線接続中の通信料およびプロバイダ接続料はお客様負担となります。
- 通信終了後は必ず通信が切れたことを確認してください。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」などのロック機能を解除してから接続してください。
- お使いの携帯電話によっては、専用サーバー接続中に電話を着信した場合、インターネットの接続が切断される場合があります。その場合は、通話終了後にインターネットを再接続してください。

携帯電話の接続設定を行う

携帯電話を使ってデータ通信するための通信設定を行います。設定の方法は、プロバイダリストから選ぶ方法と手動で設定する方法があります。

アドバイス

- 携帯電話機能（→P108）のみをご使用になる場合は、通信接続設定の必要はありません。
- 2つの接続先を設定し、手動で切り替えて使用することができます。→「接続先を切り替える」（P85）

■プロバイダリストから接続先を選ぶ

1 地図画面で inter navi にタッチする

2 設定変更—通信接続設定—携帯電話にタッチする

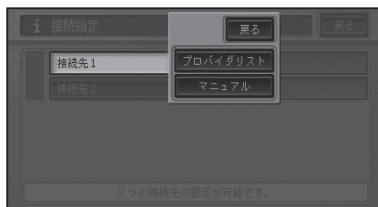
3 設定 にタッチする

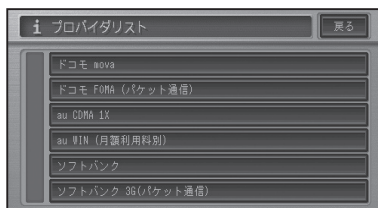
接続先	接続先を切り替えることができます。*(→ P85)*

4 接続先1 または 接続先2 にタッチする

アドバイス

- 初めて設定するときは接続先1にタッチします。必要に応じて接続先2も設定すると、切り替えて使用することができます。*→「接続先を切り替える」(P85)*

5 プロバイダリスト にタッチする

マニュアル	手動で接続設定を行うことができます。*(→後記)*

6 プロバイダにタッチする

アドバイス

- リストにあるプロバイダの設定内容は、プロバイダの都合により変更される場合があります。その場合はプロバイダに設定内容をお問い合わせのうえ、手動で設定してください。

7 終了 にタッチする

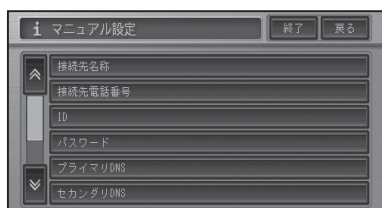
▼

設定を終了します。

■手動で接続先の設定を行う

ご希望の接続先がプロバイダリストにない場合や、プロバイダの設定値が変更された場合は、手動で設定を行います。

1 前記の手順 5 で マニュアル にタッチする

2 設定項目を順に選び、設定内容を入力または選択する

設定できる項目と内容は以下のとおりです。

項目	設定内容
「接続先名称」	プロバイダの名称
「接続先電話番号」	アクセスポイントの電話番号
「ID」	プロバイダ入会時に発行された接続 ID
「パスワード」	プロバイダ入会時に発行された接続パスワード
「プライマリ DNS」	プライマリ DNS の IP アドレス
「セカンダリ DNS」	セカンダリ DNS の IP アドレス
「Proxy サーバー」	「使う」、「使わない」
「Proxyサーバー名」	Proxy サーバーの名称
「ポート番号」	Proxy サーバーのポート番号

アドバイス

- パスワードを入力すると、他人に読み取られないように“＊”で表示されます。
- プライマリDNSとセカンダリDNSのIPアドレスは3桁ずつ入力し、3桁未満の数字には、数字の前に「0」を付けて3桁にしてください。
- 例：192. 168. 2. 255の場合は、「192. 168. 002. 255」と入力する。
- セカンダリDNSは、プロバイダから指示されているときのみ入力してください。
- Proxy（プロキシ）サーバーを使用する場合は、使うを選択してください。
- 「Proxyサーバー名」「ポート番号」の設定は、「Proxyサーバー」を「使う」に設定した場合にできるようになります。Proxyサーバー名とポート番号は、加入したプロバイダへお問い合わせください。
- Proxyサーバー名にIPアドレスを直接入力するときに、「2」などを入力する場合は、数字の前の「00」を入れないで直接「2」を入力してください。
- 例：192. 168. 2. 255の場合は、そのまま「192. 168. 2. 255」と入力する。

3 終了 にタッチする

▼

設定を終了します。

Bluetoothの接続設定を行う

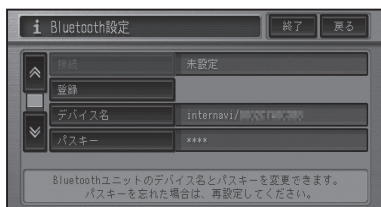
Bluetoothを使用する場合は、別売のBluetoothユニットが必要です。

アドバイス

- 2つの携帯電話を設定し、手動で切り替えて使用することができます。→「接続先を切り替える」（後記）
- Bluetoothによるデータ通信（ダイヤルアップ通信）を行う場合は、通信接続設定（→P81）で設定されたものを使用します。あらかじめBluetooth接続する携帯電話の通信接続設定を行っておいてください。

1 地図画面で interNavi にタッチする

2 設定変更 ー 通信接続設定 ー Bluetooth にタッチする

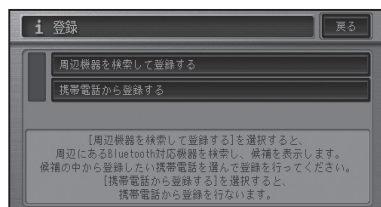
3 登録 にタッチする

アドバイス

- 携帯電話側で、Bluetoothユニットを認識するための「デバイス名」、「パスキー」は、それぞれお好みに設定できます。
- 電波発射にタッチすると、Bluetoothユニットからの電波発射をON/OFFできます。

4 周辺機器を検索して登録するにタッチする

▼

周辺のBluetooth機器を自動的に探します。

▼

Bluetooth機器が見つかると、リスト表示されます。

アドバイス

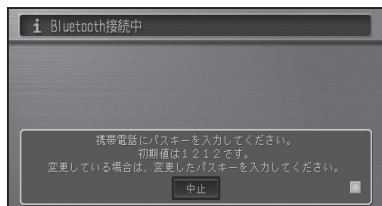
- 携帯電話から登録するにタッチして、携帯電話の登録メニューから登録することもできます。

5 登録する携帯電話にタッチする

アドバイス

- 登録した携帯電話がすでに2台ある場合は、リスト表示されます。どちらかを選ぶと、選んだ携帯電話の登録情報に上書き登録されます。

6 携帯電話にパスキーを入力して、本機を登録する

▼

完了のメッセージが表示されます。

アドバイス

- 携帯電話に本機を登録（機器登録・機器認証）する方法については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 本機は、ハンズフリー通話、ダイヤルアップ通信、メモリダイヤル転送※に対応しています。
  ※お使いの携帯電話によっては、メモリダイヤル転送に対応していない場合があります。
- 本機の出荷時のデバイス名（機器名称）は「internavi」、パスキーは「1212」です。

接続先を切り替える

接続先の設定で、2つの接続先（プロバイダ）を設定したときや、2つ以上のBluetooth接続する携帯電話を登録したときは、手動で切り替えて使用することができます。

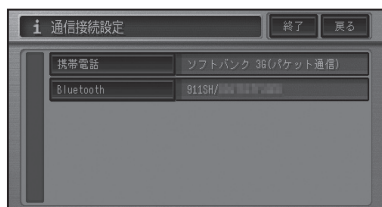
1 地図画面で internavi にタッチする

2 設定変更 ー 通信接続設定 にタッチする

3 携帯電話 または Bluetooth にタッチする

4 接続先 にタッチし、切り替える接続先の名称にタッチする

▼

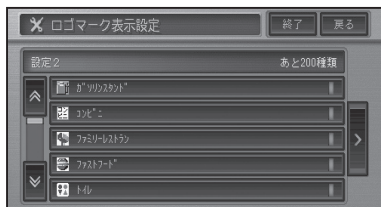
接続先が切り替わります。

その他の設定

コンビニなどのロゴマークを表示させる

さまざまな施設のロゴマークを地図上に表示させることができます。

1 **NAVI を押し、情報・通信／設定 ー 各種設定（タブ）ー ロゴマーク表示設定 にタッチする**

2 **＞ にタッチしてサイドニューを表示し 設定１ または 設定２ にタッチする**

3 **ロゴマークを表示させたいジャンルにタッチする**

アドバイス

- 選ばれたジャンルは、右側のインジケーターが点灯します。インジケーターは、詳細選択 で１つ以上選択した場合も点灯します。

4 **選択方法にタッチする**

全選択	全ての関連施設を表示します。
全解除	選択した施設を全て解除します。
詳細選択	施設をさらに分類表示します。

アドバイス

- 詳細選択 にタッチしたときは、さらに分類表示されたリストが表示されます。
- 最大200種類まで選択できます。

5 **ロゴマークを表示させたい施設にタッチする**

▼

選ばれた施設のインジケーターが点灯し、引き続き選ぶことができます。

アドバイス

- 再度施設にタッチすると、ランプが消灯し、選択が解除されます。
- 他の施設を選ぶには、戻る にタッチしてロゴマーク表示設定画面に戻り、手順 2 〜 5 を繰り返してください。

6 **終了** **にタッチする**

▼

地図画面に戻り、選択した施設のロゴマークが表示されます。

■ロゴマークを非表示にする

前記の手順**2**で **非表示** にタッチすると、ロゴマークを非表示にすることができます。

お好み周辺検索のジャンルを変更する

お好み周辺検索には、あらかじめ次の施設が登録されています。

（お好み周辺１）：
トイレ、ガソリンスタンド、コンビニ（トイレ関係）

（お好み周辺２）：
ファミリーレストラン、ファストフード、コンビニ（食事関係）

お好み周辺検索に登録されている施設は、お好みに応じて変更することができます。

1 **NAVI** **を押し、** **情報・通信/設定** **－** **各種設定** **（タブ）－** **お好み周辺設定** **にタッチする**

2 **お好み周辺１** **または** **お好み周辺２** **にタッチする**

3 **はい** **にタッチする**

アドバイス

- お好み周辺１または２が設定なし（未設定）の場合は、この画面は表示されません。

4 **設定したいジャンルにタッチする**

5 **全選択** **または** **詳細選択** **にタッチする**

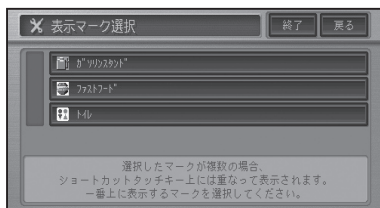
全選択	全ての関連施設が表示されます。
全解除	選択した施設が全て解除されます。
詳細選択	施設がさらに分類表示されます。

つづく→

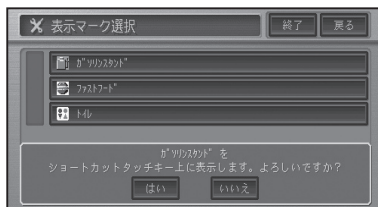
アドバイス

- 選ばれたジャンルは、右側のインジケーターが点灯します。インジケーターは 詳細選択 で1つ以上選択した場合も点灯します。
- ジャンルは複数選択することができます。違うジャンルを続けて指定したいときは、手順 4 〜 5 の操作を繰り返します。
- 画面には、さらに選択できる種類の数が表示されます。 お好み周辺1 、お好み周辺2 にはそれぞれに3種類まで登録することができます。
- ジャンルを指定しないで 終了 にタッチすると、設定なし（未設定）になります。

6 終了 にタッチする

7 お好み周辺タッチキーとして表示させたいロゴマーク（ジャンル）にタッチする

アドバイス

- 手順 7 で何も選ばずに、終了 にタッチするとリストの先頭にあるロゴマークが選択されます。

8 はい にタッチする

9 終了 にタッチする

指定したジャンルが、「お好み周辺1」または「お好み周辺2」に設定され、最初に選んだジャンルのアイコンがお好み周辺タッチキーに表示されます。

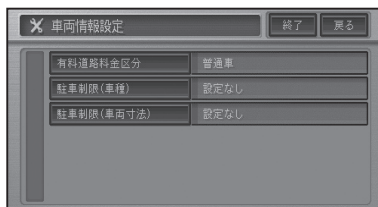
車両情報を設定する

車両の有料道路料金区分や駐車制限、長さ、幅、高さを設定します。
ここで設定された内容が駐車場および有料道路の料金案内に反映されます。

1 NAVI を押し、情報・通信／設定 − 各種設定（タブ）− 車両情報設定 にタッチする

2 各項目を選んで内容を設定する

各項目にタッチすると各設定画面が表示されます。

設定を終えた後は 戻る にタッチしてください。

有料道路料金区分	「中型車」「普通車」「軽自動車」
駐車制限（車種）	「3ナンバー」「RV」「ミニバン・1BOX」
駐車制限（車両寸法）	［長さ（L）］［幅（W）］［高さ（H）］車両寸法は1cm単位で入力できます。車検証を参考にしてください。

アドバイス

- 駐車制限（車両寸法）の 長さ 幅 高さ にタッチすると、数値入力画面が表示されますので、各寸法を入力して 入力終了 にタッチしてください。

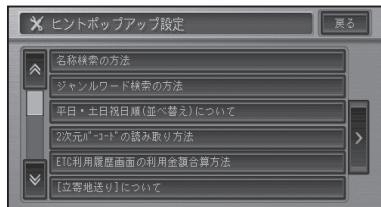
3 終了 にタッチする

ヒントポップアップ集の設定を行う

ヒントポップアップ集では、ヒントポップアップタイトルを選択することにより、実際に表示されるヒントポップアップの内容を確認したり、表示設定を変更したりすることができます。

1 NAVI を押し、情報・通信／設定 ー 各種設定（タブ）ー ヒントポップアップ設定 にタッチする

2 設定したい項目にタッチする

▼

ヒントポップアップが表示され、内容を確認することができます。

確認終了	ヒントポップアップ画面を閉じ、ヒントポップアップ集のリスト画面に戻ります。
表示設定に戻す	表示しているヒントポップアップ画面を次回から表示するように設定します。
今後表示しない	表示しているヒントポップアップ画面を次回から表示させないように設定します。

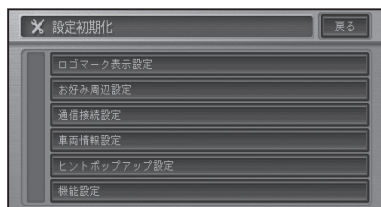
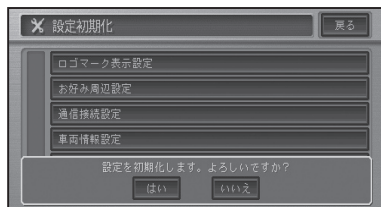
アドバイス

- ＞ にタッチすると、すべてのヒントポップアップの表示／非表示をまとめて設定することができます。

設定を初期状態に戻す

設定された機能を工場出荷時の状態に戻すことができます。

1 NAVI を押し、情報・通信／設定 ー 各種設定（タブ）ー 設定初期化 にタッチする

2 初期化したい項目にタッチする

3 はい にタッチする

▼

選んだ項目が初期化されます。

調整・補正

音量を調整する

ルートの音声案内、操作音、受話、着信の音量を調整するには、以下のようにします。

1 NAVI を押し、情報・通信/設定 ー 調整・補正（タブ）ー 音量調整 にタッチする

2 調整したい音の ＋、ー にタッチする

案内音量	音声案内の音量を調整します。
操作音量	タッチキーやボタン等の操作音量を調整します。
受話音量	携帯電話の受話音量を調整します。
着信音量	携帯電話の着信音量を調整します。

3 終了 にタッチする

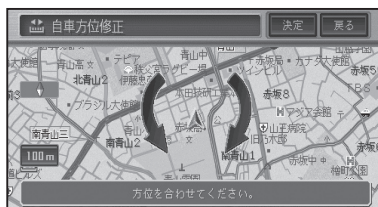
自車位置のずれを修正する

自車位置がずれた場合は、修正することができます。自車位置修正は必ず停車した状態で行ってください。

1 NAVI を押し、情報・通信/設定 ー 調整・補正（タブ）ー 自車位置修正 にタッチする

2 8方向矢印キーにタッチして十字カーソルを現在地に合せる

3 決定 にタッチする

4 左右の回転矢印にタッチして自車の向きを調整する

5 決定 にタッチする

自車位置が修正されます。

■一般道路または有料道路へ自車位置を修正する

一般道路と有料道路が平行している道路を走行中に、異なる種別の道路へ自車位置が乗ってしまった場合は、正しい種別の道路に自車位置を修正することができます。

1 ［⏏］－［別ルート］に2秒以上タッチする

▼

異なる種別の道路へ自車位置が修正されます。

アドバイス

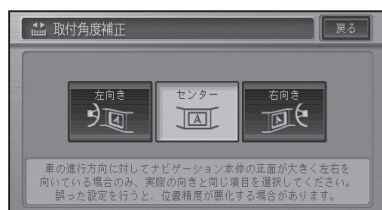
- 自車位置が修正できない場合もあります。
- 情報・通信/設定メニュー（→*P17*）の［調整・補正］（タブ）－［自車位置修正］に2秒以上タッチしても自車位置を修正することができます。

取付角度を補正する

運転席側（左右方向）に5度以上（最大10度）傾いたコンソールにナビゲーション本体を取り付けた場合は、本来の性能を発揮するために取付角度の補正を行ってください。

1 NAVIを押し、［情報・通信/設定］－［調整・補正］（タブ）－［取付角度補正］にタッチする

2 向きにタッチする

▼

位置を補正して、調整・補正画面に戻ります。

アドバイス

- センサー学習の学習状態をリセット（→*P102*）すると、取付角度の補正が「センター」に戻りますので、再度取付角度の補正を行ってください。

VICS・各種情報操作

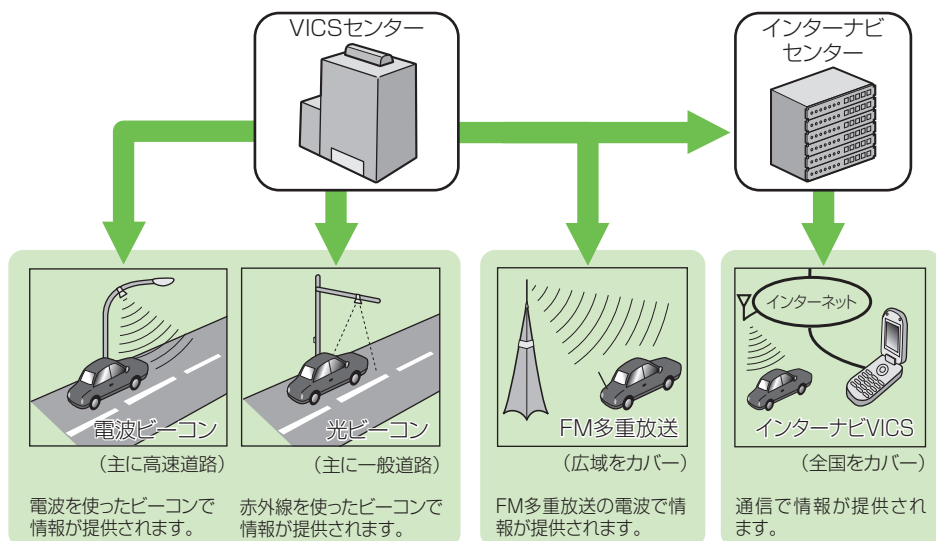
VICS 情報

VICS（Vehicle Information & Communication System：道路交通情報通信システム）とは、最新の交通情報をドライバーに伝えるための通信システムです。

VICS 情報を利用する

VICS 情報を受信すると、渋滞や事故、交通規制などの最新情報をナビゲーションの地図上に表示できます。また、簡単な地図イラストや文字で見ることもできます。

■VICS 情報の提供方法

道路・交通に関するさまざまな情報は、一度VICS センターに集められます。その後、次の４つの方法で、最新の道路交通情報（VICS 情報）が提供されます。

ビーコンとは、道路脇に一定間隔で設置された、VICS情報を送信する装置です。設置された場所周辺の交通情報がここから送信されます。本機に別売のVICS用ビーコンユニットを接続すると、ビーコンによるVICS情報を受信できます。

本機に内蔵のVICS/FM多重チューナーで、FM多重放送によるVICS情報を受信できます。

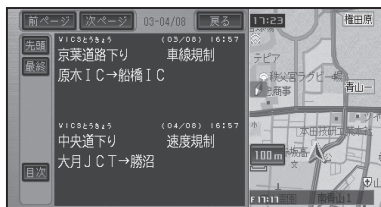
本機に携帯電話を接続すると、サーバーにあるVICS情報を受信できます。

■VICS 情報の表示形態

VICS 情報には、レベル１からレベル３までの３種類の表示形態があります。ドライバーはVICS センターから提供される、次のような道路交通情報を活用できます。

●渋滞情報（順調情報も含む）　●旅行時間情報　●交通障害情報
●交通規制情報　●駐車場情報

レベル３：地図
ナビゲーションの地図上に道路交通情報が直接表示されます。

レベル２：簡易図形
簡単な地図イラストなどで道路交通情報が表示されます。

レベル１：文字
文字で道路交通情報が表示されます。

アドバイス

• 情報提供側の問題により、文字化けやネットワーク障害などのエラーメッセージが表示されることがあります。

はじめに
ナビゲーション基本操作
検索
ルート
登録・編集操作
設定操作
VICS・各種情報操作
通信
その他の操作
付録

地図上でVICS情報を見る

レベル3（地図）の表示形態では、VICSセンターから受信した道路交通情報が、渋滞の道塗りやVICS情報マークで地図上に表示されます。

一般道路への表示

渋滞	赤色に白い縁取り
混雑	橙色に白い縁取り
順調	明るい青に白い縁取り
規制区間表示	黄色に黒い縁取り
通行止め	黒

有料道路への表示

渋滞	赤色に青い縁取り
混雑	橙色に青い縁取り
順調	明るい青に青い縁取り
規制区間表示	黄色に黒い縁取り
入口閉鎖・通行止め	黒

VICSレベル3情報提供時刻表示

F	FM多重情報によるVICS情報提供時刻
B	ビーコン情報によるVICS情報提供時刻
橙色	情報を受信してから5分未満の状態
青	情報を受信してから5分以上30分未満経過した状態
-- : --	情報を受信していない、または受信後30分以上経過した状態（受信開始時、または情報が受信できなくなって30分以上経過した場合、VICS情報は消去される。）

アドバイス

- 本機の電源をON（エンジンをON）にしてから受信したVICS情報が表示されるまで、時間がかかることがあります。
- 希望するエリアの放送が受信できないときは、放送局を切り替えてください。→ *「放送局を選ぶ」（P100）*
- VICS情報提供時刻表示は、最新のデータが提供された時刻です。
- 渋滞にタッチすると、ルート案内中はルート上前方の渋滞や規制の情報を、ルート案内中でない場合は、自車周辺の規制情報を文字表示と音声でお知らせします。（渋滞チェック親切案内）
- 本機に携帯電話が接続されている場合、inter naviにタッチすると、インターナビVICSの情報を取得することができます。（→ *『インターナビ・プレミアムクラブ編』*）

VICSマークの種類

VICS情報により、次のようなマークも地図上に表示されます。メニューの操作でVICS情報マークの詳細を見ることも可能です。

	大型通行止め		故障車
	作業		路上障害
	チェーン規制		凍結
	進入禁止		入口制限
	通行止め・閉鎖		事故
	工事中		入口閉鎖
	片側交互通行		対面通行
	車線規制		徐行
	速度規制(数字は制限速度)		
	気象		行事
	災害		火災
	区間旅行時間		原因なし
	駐車場閉		
	駐車場(空き:青、混雑:橙色、満車:赤、不明:黒)		

「VICSレベル3情報提供時刻表示」の内容

本機にVICS用ビーコンユニットが接続されているときは、FM多重放送とビーコンのVICS情報の提供時刻が表示されます。
VICS用ビーコンユニットが接続されていないときは、FM多重放送によるVICS情報提供時刻が表示されます。

一度に受信・表示できる情報について

ビーコンによるVICS情報とFM多重放送によるVICS情報、通信機器によるインターナビVICS情報は同時に表示されます。同じ道の情報がビーコンとFM多重放送、インターナビVICSから提供されたときは、新しい情報が表示されます。

提供時刻の表示に時間がかかるときは

受信中の放送局の受信感度を確認してください。→「放送局を選ぶ」(P100)

2つの放送エリアが重なる地域を走行しているときは

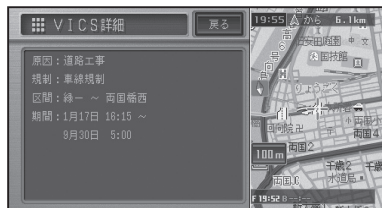
本機は、現在地周辺のVICS情報(道塗り情報)と別のエリア(隣接する都道府県など)のVICS情報を同時に表示することができます。したがって、県境などの放送エリアが重なる地域を走行しても、必要な情報を見ることができます。

■VICS情報マークの詳細を見る

地図上に表示されているVICS情報マークの詳細な情報を見ることができます。

1 VICSマークにカーソルを合わせ、 – **詳細情報を見る** にタッチする(→P42)

2 表示したい情報にタッチする

▼

アドバイス

- カーソル付近に情報が1件しかない場合は、詳細情報選択画面は表示されません。

■ビーコン情報の自動表示

VICS用ビーコンユニットが接続されているときは、ビーコンから送られてくる図形または文字の情報を受信すると、自動的にその内容が表示されます（ビーコン即時表示）。

表示された情報は、しばらくすると自動的に消えます。また **現在地** を押すか、戻るにタッチして消すこともできます。

アドバイス

- 交差点案内表示中は、ビーコン文字図形情報は表示されません。
- ビーコン即時表示やビーコン即時表示時間（ビーコン情報の表示時間）は、変更できます。→「設定を変更する」(P74)

■緊急情報の自動表示

緊急情報を受信した場合、自動的にその内容が表示されます。

ルート上の渋滞情報を案内させる

ルート上に発生したVICSの渋滞・規制情報を文字表示や音声で案内させることができます。

アドバイス

- VICS情報が取得できないときなどは動作しないことがあります。
- 音声では、例：“およそ3km先、1kmの渋滞が発生しています。通過に5分ほどかかります。”と案内されます。

■自動で案内させる

ルート上に発生した渋滞情報を自動で音声案内します（渋滞オートガイド）。

アドバイス

- 渋滞オートガイドはON/OFFできます。→「設定を変更する」(P74)
- 案内中のルートが無い場合は、案内されません。

■手動で案内させる

ルート上に発生している渋滞情報を文字表示と音声で案内させることができます（渋滞チェック）。

1 現在地画面で渋滞にタッチする

▼

渋滞箇所までの距離や渋滞の長さ、通過所要時間などの渋滞状況が文字表示と音声で案内されます。

アドバイス

- 手順 1 の操作を繰り返すごとに、5カ所先の渋滞場所まで順に案内させることができます。
- 案内中のルートが無い場合は、自車周辺の規制情報のみを表示・案内します。
- 本機が専用サーバーに接続可能な状態にあるときは、inter navi にタッチすると、インターナビの情報を取得することができます。

VICSの文字・図形情報を見る

文字や図形のVICS情報を表示させせることができます。

1 NAVI を押し、情報・通信/設定 ー VICS情報 にタッチする

2 表示させたい情報にタッチする

FM多重情報

図形情報	レベル2(簡易図形)の広域情報を表示します。
文字情報	レベル1(文字)の広域情報を表示します。
センター情報	VICSセンターからの情報を表示します。

ビーコン情報

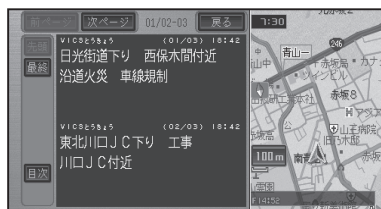
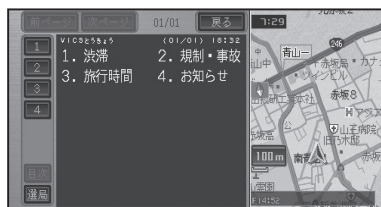
図形情報	レベル2(簡易図形)の限定情報を表示します。
文字情報	レベル1(文字)の限定情報を表示します。

アドバイス

- 「ビーコン情報」は、VICS用ビーコンユニットが接続されていて情報があるときに選択できます。

3 見たい情報の番号にタッチする

メニューに表示されている情報番号と同じ番号を選びます。渋滞や交通規制などに関する情報が表示されます。

▼

アドバイス

- 全情報画面が複数のページにおよぶときは、＜や＞にタッチすると、ページを送ります。先頭/最終にタッチすると、先頭ページ/最終ページが表示されます。
- 全ての情報が取得されていないときは、現在取得している情報の先頭ページ、または最終ページが表示されます。
- 目次にタッチすると、VICSメニューに戻ります。
- 選局にタッチすると、FM多重放送の放送局を選ぶことができます。→「放送局を選ぶ」(P100)

放送局を選ぶ

VICS 情報をFM多重放送から受信するときは、最も受信感度のよい放送局を選びます。

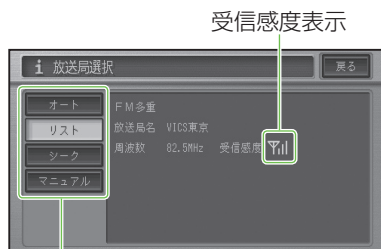
1 NAVI を押し、情報・通信/設定 – VICS 情報 にタッチする

2 放送局選択 にタッチする

3 放送局を探す方法にタッチする

オート	自車位置に応じて VICS 放送局が自動的に選択されます。
リスト	放送局リストから選びます。
シーク	＋、－にタッチして、周波数の自動チューニングを行います。受信可能な放送局を受信したところで止まります。
マニュアル	＋、－にタッチして、周波数を変化させます。

■放送局の受信感度の確認について

VICS メニュー画面では、受信中の放送局名、周波数、受信感度などが表示されます。

受信感度表示は、バーの数が多いほど受信感度が良好であることを示します。バーが２本以下のときは、受信に時間がかかったり受信できないことがあります。

各種情報の利用

本機の持ついろいろな機能の情報を見たり、利用することができます。

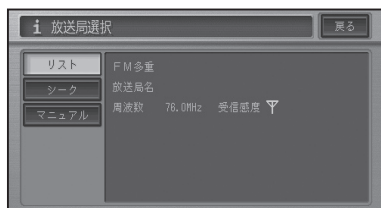
FM文字放送を見る

FM放送局の文字放送（見えるラジオなど）を受信して、交通情報やニュースなどの情報を見ることができます。

■放送局を選ぶ

1 NAVI を押し、情報・通信/設定 − FM文字放送 にタッチする

2 選局 にタッチする

3 選局方法にタッチする

以降の手順は、VICS放送局の選局方法（→P100）と同じです。

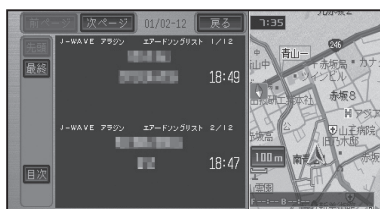
アドバイス

- 自車位置に近い放送局だけがリストに表示されます。放送局によっては、十分な受信感度が得られないことがあります。
- FM文字放送の受信周波数は、VICS放送局とは別に設定・記憶されます。

■番組情報を見る

1 NAVI を押し、情報・通信/設定 − FM文字放送 にタッチする

2 見たい情報の番号にタッチする

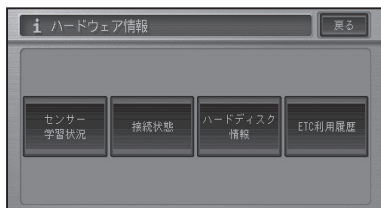
▼

アドバイス

- 情報画面が複数のページにおよぶときは、前ページ、次ページにタッチすると、ページを送ります。先頭/最終にタッチすると、先頭ページ/最終ページが表示されます。
- 全ての情報が取得されていないときは、現在取得している情報の先頭ページ、または最終ページが表示されます。
- 目次にタッチすると、FM文字放送メニューに戻ります。
- VICS情報表示中にFM文字多重放送を受信すると、放送内容が表示されるまでに時間がかかることがあります。また、FM文字多重放送の表示後に再びVICS情報を表示するときも同様です。
- FM文字多重放送を表示中は、VICS情報は更新されません。
- FM文字多重放送を受信するために周波数を変更したときに、FM文字多重放送を終了すると、自動的にVICSの周波数に戻ります。（ただし、FM多重チューナーの設定を「FM多重」にしているときは、そのままの周波数になります。→*「設定を変更する」（P74）*）

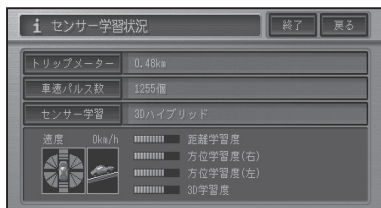
ハードウェア情報を見る

走行中の状態、各機器の接続状態、信号の状態などのハードウェアに関する情報を表示させることができます。

1 **NAVI を押し、情報・通信/設定 ー ハードウェア情報 にタッチする**

2 **見たい情報にタッチする**

アドバイス

- 本機にETCユニットが接続されているときのみETC利用履歴が表示されますが、ETCカードが挿入されていない場合は、操作することができません。

■[センサー学習状況]選択時

トリップ/パルス数/速度

現在本機が認識しているトリップ数、パルス数、速度が表示されます。

アドバイス

- トリップまたはパルス数にタッチすると積算された数字をリセットすることができます。

センサー学習

現在の走行モード(3Dハイブリッドモード、簡易ハイブリッドモード)、または「センサー初期学習中」が表示されます。

アドバイス

- センサー学習を選ぶと、オールリセットと距離学習リセットが表示されます。オールリセットにタッチすると、センサー学習を全てリセットすることができます。距離学習リセットにタッチすると、距離学習のみリセットすることができます。本体の取付け位置または角度を変更した場合や別車両へ載せ替えた場合は、オールリセットにタッチしてください。また、距離精度が悪い場合には、距離学習リセットにタッチしてください。
- オールリセットにタッチすると、取付角度の設定も出荷時に戻りますので、再設定してください。→*「取付角度を補正する」(P91)*

前後G/回転速度計

現在本機が認識している前後Gの強さがバーで、左右の回転速度が扇で表示されます。

傾斜計

現在本機が認識している上下の傾きが道路の傾きで表現されます。

距離/方位/傾斜(3D)の学習度

距離・方位(左右方向の回転)・傾斜に関して、どの程度学習結果が蓄積されたかが表示されます。バーが右端に達すると、学習の度合が最高であることを表します。

注意

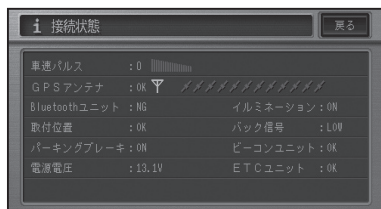
- **走行状態の確認は必ず同乗者が行い、運転者は運転に専念してください。**
- **速度表示をスピードメーターの代わりにしないでください。車のスピードメーターと異なることがあります。**
- **タイヤ交換やチェーン装着した場合、または悪路(雪道など)を走行しスリップした場合、タイヤの外径が変化したことを自動で検出し、センサーの距離学習を再学習し直すことがあります。その結果、学習結果の進捗表示が減る場合もあります。**

アドバイス

- 車速信号入力が接続されていないときは、簡易ハイブリッドモードとなり、パルス数は算出されません。
- 学習度およびトリップ、パルス数は本機の故障、修理などにより、クリアされることがあります。また、本機の状態によっては、積算されない場合があります。

- センサー未学習の状態では、パルス数以外の表示は意味を持ちません。
- 本機の電源をOFF(エンジンをOFF)にしても、トリップとパルス数は積算される場合があります。
- 傾斜（3D）学習度が表示されないときは、車速パルスが正しくカウントされていません。車速信号入力が正しく接続されていないことが考えられます。販売店にご相談ください。

■［接続状態］選択時

正しく表示されない場合は、販売店にご相談ください。

車速パルス

現在本機が認識している車速パルスの数が表示されます。停車中の場合は「0」が表示されます。車を走行させると、速度に応じて“ピッ”という発信音がして、数字とともにバー表示が変化します。
車速パルスの確認は、安全な場所で、低速(時速5km程度)で行ってください。

GPSアンテナ

GPSアンテナの接続状態が表示されます。正しく接続されているときは「OK」、接続されていない場合は「NG」と表示されます。その右側に表示されているアンテナのイラストはGPSアンテナの受信状態を確認できます。電波の受信しやすい見晴らしの良い場所で2本以上バーが表示されていれば良好です。バーが1本以下の場合は、販売店にご相談ください。

Bluetooth

Bluetoothユニットの接続状態が表示されます。正しく接続されていれば「OK」、接続されていない場合は「NG」と表示されます。その右側に表示されているアンテナのイラストはBluetoothユニットと携帯電話間の受信強度を確認できます。
※受信強度を確認するには、ナビゲーションのBluetoothの接続設定を行い、携帯電話と通信接続する必要があります。詳しくは*「Bluetoothの接続設定を行う」(→P84)*を参照してください。

取付位置

本機の設置状態が表示されます。正しく設置されているときは「OK」と表示されます。「NG（振動）」または「NG（取付角）」と表示されたときは、販売店にご相談ください。

パーキングブレーキ

パーキングブレーキの状態が表示されます。パーキングブレーキがかかっているときは「ON」、解除されているときは「OFF」と表示されます。ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキを操作し、正しく表示されることを確認してください。

電源電圧

車のバッテリーから本機に供給されている電源電圧が表示されます。エンジンをかけた状態で11～15Vの範囲にあれば正常です。なお、最大で±0.5V程度の誤差があるため、この表示は参考値です。

イルミネーション

イルミ電源の状態が表示されます。車のライトが点灯しているときは「ON」、消灯しているときは「OFF」と表示されます。

つづく→

バック信号

バック信号入力の接続状態が表示されます。シフトレバーを「R」(リバース)の位置にすると「HIGH」と「LOW」の表示が入れ替わります。ブレーキペダルを踏んだままシフトレバーを操作し、正しく表示されることを確認してください。この接続は、車の前進/後退を判断するためのものです。

※接続しないと前進後退を正しく検知できないことがあるため、自車位置がずれる場合があります。

ビーコンユニット

VICS用ビーコンユニット（別売）の接続状態が表示されます。正しく接続されているときは「OK」、接続されていない場合は「NG」と表示されます。

ETCユニット

別売のETCユニットの接続状態が表示されます。正しく接続されているときは「OK」と表示されます。「NG」と表示されたときは、ETCユニットの接続状態を確認してください。

また、ETCのエラーを表示する場合もあります。

■［ハードディスク情報］選択時

空き容量

現在の空き容量が百分率（%）で表示されます。

アドバイス

- 空き容量とは、ミュージックラックの空き容量のことです。
- 10%程度の空きがあっても、システム上保存できない場合があります。

ETC管理機能を使う

本機に別売のETCユニットを接続すると、ETC管理機能を使うことができます。

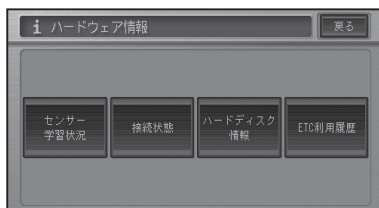
ETCユニットの操作については、ETCユニットの取扱説明書をご覧ください。

■ETC利用履歴を見る

1 NAVI を押し、情報・通信/設定 ー ハードウェア情報 にタッチする

2 ETC利用履歴 にタッチする

▼

ETC利用履歴
終了
戻る
合算起点日を指定してください
2007/02/13 16:05 500円
2007/02/12 14:13 500円
2007/02/12 13:19 500円
2007/02/08 18:11 500円
2007/02/02 18:54 500円

利用履歴リスト表示

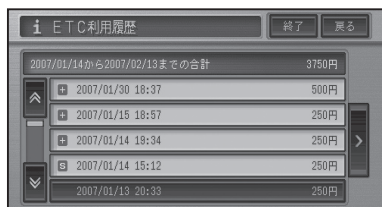
ETCカードに記録された利用履歴データが表示されます。履歴は、新しいものから順に最大100件までを表示します。

■指定日から最新利用日までの利用料金を合算する

1 > にタッチしてサイドニューを表示し、指定日からの合算 にタッチする

2 リストから計算を始めたい日付にタッチする

▼

指定した日から最新利用日までの料金が合算され、表示されます。

アドバイス

- Sは合算開始日、Eは合算終了日を表示し、その間は＋が表示されます。
- 指定日の解除 にタッチするか、Sが表示されている日付にタッチすると、指定日が解除されます。
- ここで指定した合算開始日は、車のACCをOFF（エンジンを切る）にしても記憶されています。（前回使用したときの履歴と異なるカードを挿入したときなどは、消えることがあります。

■指定範囲の利用料金を合算する

1 > にタッチしてサイドニューを表示し 指定範囲での合算 にタッチする

2 リストから計算を始めたい日付と合算を終了したい日付を順にタッチする

▼

指定した範囲の料金が合算され、表示されます。

アドバイス

- Sは合算開始日、Eは合算終了日を表示し、その間は＋が表示されます。
- 指定日の解除 にタッチするか、SまたはEが表示されている日付にタッチすると、指定日が解除されます。

通信

携帯電話

デジタル携帯電話を接続すると、本機の携帯電話機能を使うことができます。

携帯電話の機能を使用するには

別売の携帯電話接続ケーブルまたは別売のBluetoothユニットで本機に携帯電話を接続する必要があります。詳しくは*「通信接続設定」(→P81)*を参照してください。

アドバイス

- 携帯電話をお使いになるときは、必ず*「通信機器使用上のご注意」(→P81)*をよくお読みください。
- 本機は、割込通話および三者通話サービスには対応していませんので、携帯電話側で操作してください。なお、割込通話や三者通話サービスのご利用中に本機を操作すると、通話が切れることがあります。

ハンズフリー通話でエコー(残響音)が気になるときは

エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生します。スピーカーからの声がマイクに入らないようにすることでエコーを軽減できます。また、電話回線状況、使用する携帯電話、通話相手の環境によりエコーが発生する場合もあります。

以下のような方法でエコーを軽減できる場合があります。

- 受話音量を小さくする*(→「音量を調整する」(P90))*
- お互いに一呼吸おいて話す
- ガイド音声出力を助手席側のスピーカーのみに設定する*(→「ガイド/ハンズフリーSP設定」(P188))*

ただし、ナビ本体内部のエコーキャンセラーの仕組み上、完全にエコーをなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で話すとさらに聞き取りにくくなります。

アドバイス

- 通話中メニューで受話音量を調整することもできます。*(→P110)*

ハンズフリー通話を使う

本機に接続された携帯電話で、ハンズフリー通話を行うことができます。

アドバイス

- 通話相手の音声が聞き取りやすいように、受話音量を調整してください。*(→P90)*

注意

- **安全運転のため、運転中の通話はできるだけ避けてください。やむを得ず走行中に通話をする場合は、周りの安全を十分に確認して通話は手短かに終了するようにしてください。**

■電話を受ける

電話がかかってくると

本機と携帯電話を接続しているときは、以下のような電話の着信を案内するメッセージが表示され、着信案内の音が流れます。

アドバイス

- 電話が着信すると"トゥルルルル"という音が一度鳴って、着信を知らせます。
- 一部の携帯電話では、着信音がスピーカーから出力されないことがあります。
- 登録地に登録されている電話番号と一致すると、その地点の名称が表示されます。
- メモリダイヤル*(→P111)*に登録されている電話番号と一致すると、メモリダイヤルで登録された名称が表示されます(登録地とメモリダイヤルの電話番号が同じときは、登録地の名称が表示されます)。

- 1つの電話番号が複数の登録地に登録されている、または該当するデータが本機に登録されていない場合は、かけてきた相手の電話番号が表示されます。
- 発信者番号通知サービスの利用状況によっては、かけてきた相手の電話番号や名前は表示されません。
- Bluetooth使用時で、データ通信とハンズフリー通話が同時に使用できる機種に関して、データ通信中に電話がかかってきた場合には携帯電話側で着信音が鳴り、本機では操作できませんのでご注意ください。

かかってきた電話に出るには

電話がかかってきたときに**通話**にタッチすると電話がつながり、通話することができます。

アドバイス

- 携帯電話のボタンを押して電話に出ることもできます。
- 電話を切るときは、*「電話を切る」*（→*P110*）の操作をします。

応答保留するには

電話がかかってきたときに**保留**にタッチすると応答保留することができます。
応答保留中に**通話**にタッチすると電話がつながり、**電話を切る**にタッチすると電話が切れます。

アドバイス

- 携帯電話によっては、応答保留できない場合があります。

■電話をかける

1 NAVI を押し、情報・通信／設定 － 携帯電話 にタッチする

2 電話をかける方法にタッチする

メモリダイヤル－**呼び出し**	本機に読み込まれた携帯電話のメモリダイヤルリストを呼び出して電話をかけます。
発信履歴	発信履歴のリストを呼び出して電話をかけます。
着信履歴	着信履歴のリストを呼び出して電話をかけます。
ダイヤル発信	電話番号を入力して電話をかけます。

アドバイス

- 携帯電話のメモリダイヤルを本機に読み込んでいない場合は、**メモリダイヤル**－**読み込み**が表示されます。（→*P111*）
- 発着信の履歴はそれぞれ10件まで自動的に保存され、10件を超えると、日付の古い履歴から順に消去されます。
- 着信履歴で、非通知の相手先に電話をかけることはできません。
- 履歴は任意に消去することができます。→*「携帯電話情報を消去する」（P70）*

3 発信 にタッチする

相手先に電話が発信され、相手と話すことができます。

アドバイス

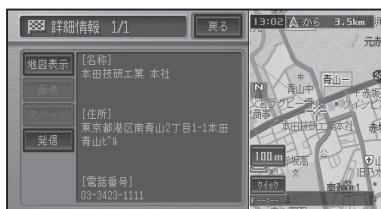
- 携帯電話でダイヤルすることもできます。
- 発信履歴や着信履歴のリスト上から選んだときに表示される**詳細情報**にタッチすると、発信日時や電話番号、名称などの詳細情報が表示されます。
- 発信通話中は、画面左上に電話機のマークが表示されます。

■地図に登録された電話番号にかける

検索した施設情報に収録されている電話番号や登録地に登録されている電話番号に電話をかけることができます。

1 場所を探して(→P34) 施設の詳細情報(→P42)を表示させる

2 発信 にタッチする

▼

登録されている電話番号にダイヤルします。

■通話中メニューについて

通話中メニューでは、受話音量の調節やBluetoothの通話切り替えを行うことができます。

＋	受話音量を上げます。
－	受話音量を下げます。
切断	電話を切ります。
ハンズフリーON(OFF)（Bluetooth接続時のみ）	ハンズフリー機能をON/OFFします。携帯電話機で通話したいときに、OFFにします。

アドバイス

- ハンズフリー機能をOFFにすると、携帯電話とのリンクが切断される場合があります。
- 通話中メニューの戻るにタッチしてメニューを閉じた場合、画面左上のにタッチすると通話中メニューを再表示することができます。

■電話を切る

通話が終了したら切断にタッチして、電話を切ります。

アドバイス

- 携帯電話で電話を切ることもできます。

メモリダイヤルを読み込む

メモリダイヤル機能を使用するには、事前に携帯電話に登録されているメモリダイヤルを本機に読み込んでおいてください。
携帯電話から最大1500件のデータを本機に読み込むことができます。

アドバイス

- お使いの携帯電話によっては、メモリダイヤル転送に対応していない場合があります。
- 名前、ヨミ、TEL、グループ、メモリ番号のデータを読み込むことができます。
- 読み込んだデータはハードディスクに保存されます。
- メモリダイヤルは、編集することはできません。
- メモリダイヤルの消去方法は、*「携帯電話情報を消去する」(→P70)*を参照してください。
- 1人あたり複数の電話番号を登録できる携帯電話では、電話番号の登録状態や機種によって、全データを読み出せない場合があります。

1 **NAVI を押し、情報・通信/設定 ー 携帯電話 ー メモリダイヤル ー 読み込み にタッチする**

アドバイス

- すでにメモリダイヤルのデータが読み込まれている場合は、上書きを確認するメッセージが表示されます。上書きする場合は**はい**にタッチしてください。
- Bluetooth経由での読み込みで、すでにメモリダイヤルのデータが本機にある場合は、**読み込み**にタッチすると読み込み方法選択画面が表示され、**上書き読み込み**か**追加読み込み**かを選択することができます。

2 **携帯電話を操作して、メモリダイヤルを転送する**

▼

メモリダイヤルが本機に読み込まれます。
読み込みが完了するとメモリダイヤルリスト画面に戻り、読み込んだデータをメモリダイヤルとして使用することができるようになります。

アドバイス

- Bluetooth経由でメモリダイヤル読み込みを行う際は接続されている携帯電話からメモリダイヤル転送の操作が必要です。
- 携帯電話が「FOMA」の場合は、電話機上で直接暗証番号と認証番号を入力します。
- 携帯電話の事業者によっては、暗証番号を2種類用意している場合があります。一方の暗証番号で転送できないときは、もう一方の暗証番号を入力してください。
- Bluetooth経由での読み込みの場合、メモリダイヤルの転送が終了すると、追加読み込みを行うかどうかのメッセージが表示されます。追加で読み込む場合は、**はい**にタッチしてください。
- 読み込み中に**中止**にタッチすると読み込みは中止しますが、すでに読み込まれたデータは保存されます。
- 保存される情報の種類や文字数、メモリ件数は、携帯電話によって異なります。
- 携帯電話のシークレット機能により登録されたメモリダイヤルも読み込まれます。
- 携帯電話の自局番号もメモリダイヤルと同時に読み込まれる場合があります。

その他の操作

フロント/コーナーカメラの操作

別売のフロントまたはコーナーカメラを装着した場合、低速で走行するとフロントまたは左前コーナーのカメラ映像およびガイド（車両の距離感覚を補う補助マーク）を映すことができます。（ご使用の車に合わせたガイドの表示設定はHonda販売店にて行います。）

・タイヤおよびサスペンションを交換するときは、Honda販売店にご相談ください。タイヤおよびサスペンションを交換すると、画面に表示されるガイドの示す位置に誤差が生じることがあります。

注意

- 本機（フロント/コーナーカメラ）は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。
- フロント/コーナーカメラで映し出す範囲は限られていますので、画面だけを見ながら走行することは絶対にしないでください。必ず目視で確認し、前方および周囲の安全を十分確保してください。
- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 乗車人数・積載量により、車両が傾き画面のガイドの示す位置と実際の路面上の距離・障害物との距離は変化します。必ず、後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 以下のような状況では使用しないでください。
  ・凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
  ・ドアが完全に閉まっていないとき
  ・タイヤチェーン、応急タイヤを使用しているとき
- ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり認識しにくくなる場合があります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- カメラ本体は、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にしないでください。防滴性能の劣化をまねき故障等の原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは水を含ませた柔らかい布等で拭き取ってください。ゴミ等が付いた状態で、乾いた布等で強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。
- 寒いときにお湯をかけるなど、カメラに急激な温度変化をあたえると、フロント/コーナーカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。
- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれてフロント/コーナーカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷付き、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐに拭き取ってください。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などによりフロント/コーナーカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
- 太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- 太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出ることがあります。

アドバイス

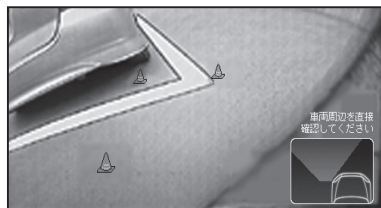
・フロント/コーナーカメラは、受像素子に固体撮像素子（CCD素子）を使用しているためカメラに強い光が入ると、光源を中心に縦に白い光の線が出ますが、故障ではありません。
・長時間使用した場合、温度上昇により白キズや縦線が出ますが、CCDの特性によるものです。
・50Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起こりますが故障ではありません。
・湿度の高いとき（雨の日など）は、カメラが曇り、映像が見づらくなることがあります。
・夜間または暗所ではカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
・写真は一例です。モニター画面に映る範囲は車種によって異なります。
・カメラの映像は、広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。

フロント/コーナーカメラの映像

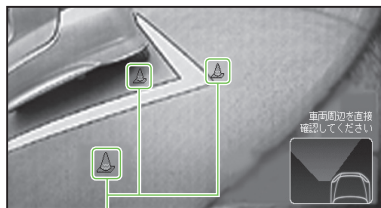
フロント/コーナーカメラの機能は、停車時や車速が約15km/h以下になった場合、表示する登録をした地点に近づいた場合などに、自動的に画面をカメラ映像に切り替える機能です。
低速時になると常にカメラ映像に切り替わる必要がない場合や、設定した地点だけで表示したい場合、表示操作したとき（ボタンを押す）だけ表示したい場合など、お好みに合わせた表示設定を行うことができます。

表示例：フロントカメラ

前方の映像が表示されます。

表示例：コーナーカメラ

左前の映像が、ガイドとともに表示されます。

車速が低速（約18km/h以下）より速くなった場合に、表示は元の画面に戻ります。

■コーナーカメラ映像の見かた

前バンパー左コーナーと路肩の距離の目安を表示します。

アドバイス

- ガイドは、ハンドル操作とは連動しません。
- ご使用の車に合わせたガイドの表示設定は、Honda販売店にご相談ください。
- 画面に表示されるガイドは、車種により異なります。
- 車や路面の状況により、映る範囲は異なる場合があります。
- カメラ映像はあくまで目安です。必ず目視で確認してください。

フロント/コーナーカメラを設定する

■カメラインジケータの表示について

カメラインジケータの表示を **する** に設定しておくと、カメラ設定の設定状態によって、低速時や、カメラ映像表示登録地点にきた場合に、自動的にカメラ映像に切り替わる状態にあるかどうかを、画面で確認することができます。

■フロント/コーナーカメラの映像表示設定について

フロント/コーナーカメラの映像は、以下の設定で映像を自動表示することができます。

- 低速になった場合に常に表示
  設定（自動表示：する、登録地点検知：する または しない）
- 高速時に ⏻ ボタンを押し、低速になった場合のみ表示
  設定（自動表示：しない、登録地点検知：する または しない）※ただし１回限り
- カメラ映像を表示するよう登録した地点に近づき、低速になった場合のみ表示
  設定（自動表示：しない、登録地点検知：する）

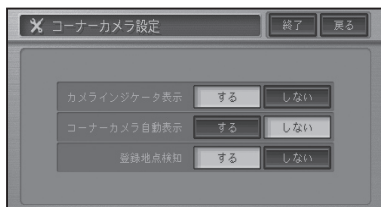
■カメラを設定する

接続したカメラの設定を行います。

1 NAVI を押し、情報・通信/設定 ー 各種設定（タブ）ー フロント/コーナーカメラ設定 にタッチする

▼

接続したカメラの設定画面が表示されます。

表示例：コーナーカメラ

[カメラインジケータ表示]

する	インジケータを表示します。
しない	インジケータを表示しません。

[フロントカメラ自動表示]
[コーナーカメラ自動表示]

する	低速時に自動表示します。
しない	低速時でも自動表示しません。

[登録地点検知]

する	登録地点で自動表示します。
しない	登録地点でも自動表示しません。

アドバイス

- 自動表示を する に設定しておくと、一時停止や信号停止などの交通状況、渋滞や峠道などでも低速になるたびにカメラ映像に切り替わります。カメラ映像が必要ない場所では、しない に設定し、必要な場合に ⏻ ボタンで映像を表示すると便利です。
- よく使う駐車場や車庫、見通しの悪いT字路などをカメラ表示地点に登録しておき、登録地点検知を する に設定しておくと、駐車や車庫入れ時、市街地の走行時に便利です。

■フロント/コーナーカメラ表示地点の登録について

登録地点検知を する に設定した場合に、近づくと自動的にカメラ映像に切り替わる地点を登録するには、*「地点の登録」*（→P64）、*「登録地の編集」*（→P66）を参照してください。

アドバイス

- カメラ表示地点に近づいても、低速になっていない場合は、カメラ映像は表示されません。

■フロント/コーナーカメラの画質調整について

フロント/コーナーカメラの映像は、DVD映像やワンセグ映像と同様に、画質を調整することができます。詳しくは、*「画質を調整する」*（→P192）を参照してください。

リアカメラの操作

別売のリアカメラを装着した場合、バックギアにシフトすると、本機の画面に自動で後方のカメラ映像およびガイド（車両の車幅や距離感覚を補う補助マーク）を映すことができます。（ご使用の車に合わせたガイドの表示設定はHonda販売店にて行います。）

・タイヤおよびサスペンションを交換するときは、Honda販売店にご相談ください。タイヤおよびサスペンションを交換すると、画面に表示される距離目安マークやガイドの示す位置に誤差が生じることがあります。

注意

- 本機（リアカメラ）は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。
- リアカメラで映し出す範囲は限られていますので、画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用しながら目視で確認し、後方および周囲の安全を十分確保してください。
- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 乗車人数・積載量により、車両が傾き画面のガイドの示す位置と実際の路面上の距離・障害物との距離は変化します。必ず、後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 以下のような状況では使用しないでください。
  - ・凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
  - ・バックドアが完全に閉まっていないとき
  - ・タイヤチェーン、応急タイヤを使用しているとき
  - ・坂道など平坦でない道
- ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり認識しにくくなる場合があります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- カメラ本体は、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にしないでください。防滴性能の劣化をまねき故障等の原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは水を含ませた柔らかい布等で拭き取ってください。ゴミ等が付いた状態で、乾いた布等で強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。
- 寒いときにお湯をかけるなど、カメラに急激な温度変化をあたえると、リアカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。
- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれてリアカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷付き、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐに拭き取ってください。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などによりリアカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
- 太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- バックギアにシフトした瞬間は、一旦白画面になりますが、その後次第に安定します。
- 太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出ることがあります。

アドバイス

- リアカメラは、受像素子に固体撮像素子（CCD素子）を使用しているためカメラに強い光が入ると、光源を中心に縦に白い光の線が出ますが、故障ではありません。
- 長時間使用した場合、温度上昇により白キズや縦線が出ますが、CCDの特性によるものです。
- 50Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起こりますが故障ではありません。
- 湿度の高いとき（雨の日など）は、カメラが曇り、映像が見づらくなることがあります。

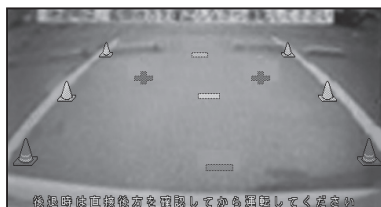
つづく→

- 本機の映像は鏡像となっています。鏡像とは映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。これに対し直接目で見るのと同じ画像を正像と呼びます。
- 夜間または暗所ではリアカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
- 写真は一例です。モニター画面に映る範囲は車種によって異なります。リアカメラの映像は、車体の一部が映し出されるように調整してください。
- カメラの映像は、広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。

リアカメラの映像

■後方の映像を映す

1 シフトレバーをバックギア（R）に入れる

後方の映像が自動で画面に映し出されます。

アドバイス

- 画面にコーション（注意文）が表示されます。
- SOURCEを長く押すと、リアカメラ映像の設定画面が表示されます。詳しくは、*「画質を調整する」（→P192）*を参照してください。

2 シフトレバーをバックギア（R）以外に入れる

通常画面に戻ります。

アドバイス

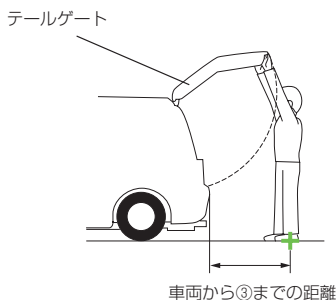
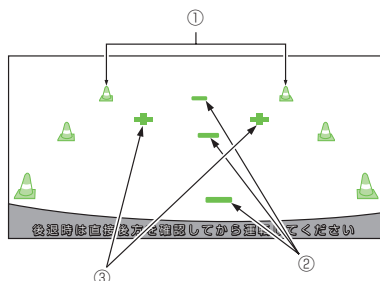
- 電源をONにした直後（オープニング画面表示中）にシフトレバーをバックギア（R）に入れた場合は、リアカメラの映像にガイドは表示されません。
- ガイドOFF時は、ガイドは表示されません。初期設定は「ガイドOFF」です。

■画面の見方について

表示マークの見方

バックギアにシフトすると、モニター画面がリアカメラの映像に切り替わり、車幅や距離感覚を補うガイドが表示されます。

テールゲート

車両から③までの距離

①車幅延長マーク（手前より赤色、黄色、緑色）
　車幅の延長線で、車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。
　車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。

- ハンドル操作と連動しません。
- それぞれの中心位置で、約 0.5m 先（赤色）・約 1m 先（黄色）・約 2m 先（緑色）を示します。

②距離目安マーク

車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。

- ハンドル操作と連動しません。
- それぞれの中心位置で、約 0.5m 先（赤色）・約 1m 先（黄色）・約 2m 先（緑色）を示します。

③テールゲート距離目安マーク

テールゲートなどの開閉に必要な距離を示します。

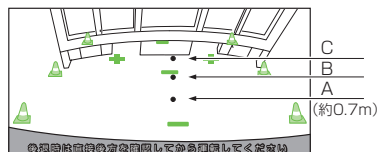
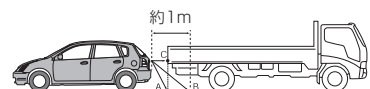
アドバイス

- 画面に表示されるガイドは、車両により異なります。販売店にご確認ください。
- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- 後方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- 車両によりガイドが左右にずれて表示されることがありますが、故障ではありません。

距離目安マーク

距離目安マークは路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。

＜画面＞

＜A,B,Cの位置＞

画面では、距離目安マークにより約 1m 先（B の位置）にトラックが駐車してあるように見えますが、実際には A の位置まで後退すると、ぶつかります。

画面では A、B、C の順に近く見えますが、実際の距離は A と C は同じ距離で、B は A、C より遠い距離にあります。

アドバイス

- 車幅延長マークは路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映しだされた場合は実際の距離感とは異なります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  - ・暗いところ。（夜間など）
  - ・レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
  - ・カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき。（雨天時など）
  - ・カメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
  - ・太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
  - ・高輝度の点（車体に反射した太陽など）がカメラに映ると、CCD カメラ特有のスミヤ現象※が発生することがあります。

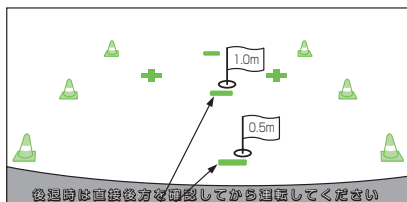
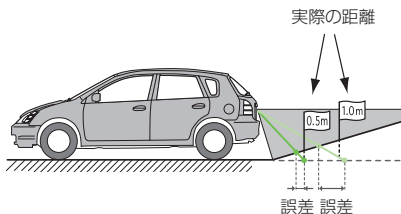
＜画面の状況＞

※**スミヤ現象**：高輝度の点（車体に反射した太陽など）がカメラに映るとその点の上下（縦方向）に尾を引く現象。

■画面と実際の路面との誤差

以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。（イラストは標準的なカメラ取付位置の場合を示します）

急な上り坂が後方にあるとき（例）

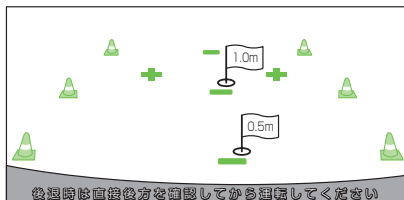
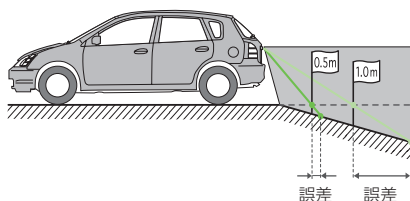
＜画面＞

＜車の状況＞

距離目安マークは、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、上り坂が後方にあるときには、実際の距離より手前に距離目安マークが表示されます。

例えば、上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くにあるように見えます。

同様にガイドと実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

急な下り坂が後方にあるとき（例）

＜画面＞

＜車の状況＞

下り坂が後方にあるときには、実際の距離よりうしろに距離目安マークが表示されます。

下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。

同様にガイドと実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■リアカメラの画質調整について

リアカメラの映像は、DVD映像やワンセグ映像と同様に、画質を調整することができます。詳しくは、*「画質を調整する」(→P192)*を参照してください。

設定内容の初期化とユーザーデータの消去

お客様が購入後に設定した内容や記録したデータを消去して工場出荷時の状態に戻すことができます。

注意

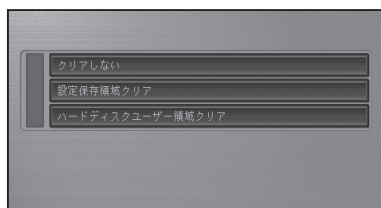
- 一度消去したデータは復活できません。十分注意してから操作してください。
- 必要な情報は事前に控えておいてください。ミュージックラックに録音された音楽データについては著作権上バックアップを行うことはできませんので、ご注意ください。

1 オープニング画面が表示されている間、NAVI を押し続ける

▼

クリア項目選択画面が表示されます。

2 設定保存領域クリア または ハードディスクユーザー領域クリア にタッチする

▼

はいにタッチするとデータがクリアされます。

設定保存領域クリア を選んだとき

- 機能設定
- 音量設定
- 車両設定
- VICS 放送局/受信モード設定/受信周波数
- FM文字放送局/受信モード設定/受信周波数
- 高速施設通過情報
- 通信接続設定（携帯電話/Bluetooth）
- 漢字変換学習度データ
- 現在ルートの誘導状況
- ロゴマーク表示設定
- お好み周辺設定
- 案内中のルート
- マップクリップサイズ
- 地図のビュー/スケール/ターゲットマップの設定
- ヒントポップアップ設定
- 自車位置情報
- internavi 設定（起動時案内設定）
- 取り付け時設定（総走行距離設定）
- internaviVICS 設定
- 駐車場セレクト設定
- internavi ウェザー設定

ハードディスクユーザー領域クリア を選んだとき

センサー学習以外の全ての設定とユーザーデータが消去されます。

注意

- ミュージックラックに録音された音楽データも全て消去されますのでご注意ください。

アドバイス

- センサー学習を初期化するには、センサー学習のオールリセットを行ってください（→P102）。

文字の入力操作

「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

場所の名前や電話番号などを登録するときは、文字や数字を入力します。ここでは、メニュー操作中に表示される、文字や数字の入力操作のしかたについて説明します。

アドバイス

- 英字、数字、カタカナ、ひらがな、漢字、記号が入力できます。
- 項目によっては、使用できる文字の種類が制限されることがあります。例えば、登録地の「ヨミ」の場合、カタカナ入力以外は選べません。
- 本機は、文字入力変換システムに、株式会社ジャストシステムの「ATOK®」を使用しています。

文字の入力操作の流れ

一般的な文字の入力操作の流れは、次のようになります。

文字の種類を切り替える → 全角・半角を切り替える → 文字を入力する → 無変換、変換を行う → 文字入力を終了する

文字の種類を切り替える

1 入力切替 にタッチする

2 文字の種類にタッチする

▼

文字の種類が切り替わります。

アドバイス

- 漢字変換入力をするには、ひらがなにタッチします。

全角・半角を切り替える

カタカナ、英字、数字、記号の場合は全角・半角を切り替えることができます。

1 全/半角 にタッチする

▼

タッチするごとに、全角と半角が切り替わります。

文字を入力する

■基本操作

1 入力したい文字にタッチする

■文字を削除する

1 画面右上の < ・ > にタッチして、削除したい文字の右側にカーソルを移動させる

アドバイス

- ヨミや検索中の入力画面の場合は、< ・ > でカーソルを移動させることはできません。

2 削除 にタッチする

▼

タッチするごとに、カーソルの左側の文字が1文字ずつ削除されます。カーソルが左端にある場合は、右端の文字が削除されます。必要な分だけ文字を削除して、入力をやり直します。

アドバイス

・削除に長くタッチすると、全削除することができます。

■スペースを空ける

1 スペースにタッチする

■文字を挿入する

1 画面右上の<・>にタッチして、文字を挿入したい場所の右側にカーソルを移動させる

カーソルの位置に文字を挿入することができます。

アドバイス

・カーソルは、同じ色で表示されている文字の範囲内で動かすことができます。

無変換、変換を行う

ひらがなをそのまま入力したり、ひらがなを漢字に変換します。

1 ひらがなを入力する場合は無変換、漢字に変換する場合は変換にタッチする

2 漢字に変換する場合は次候補と前候補で漢字を選んで、確定または全確定にタッチする

▼

文字が入力されます。

アドバイス

・<または>にタッチすると、変換する文字の範囲を変更できます。

■漢字表から入力する

JIS第二水準の漢字の一覧表から漢字入力します。

1 漢字表に切り替える

→「文字の種類を切り替える」(P122)

2 漢字にタッチする

アドバイス

・入力パレットの<または>にタッチすると、前のページまたは次のページが表示されます。

文字入力を終了する

1 入力終了にタッチする

かな漢字変換できる記号

学術記号

読み	記号
いこーる	＝
ごうどう	≡
だいなり	＞
しょうなり	＜
ばつ	×
ふとうごう	≠ ＜ ＞ ≦ ≧ ≪ ≫
ぷらす / たす	＋
まいなす / ひく	−
ぷらすまいなす	±
むげん / むげんだい	∞
なぜならば	∵
ゆえに	∴
かける	×
わる	÷

ギリシア文字

読み	記号
あるふぁ / あるふぁー	Α α
いーた	Η η
いおた	Ι ι
いぷしろん	Ε ε
うぷしろん	Υ υ
おーむ / おめが	Ω ω
おみくろん	Ο ο
かい / きー	Χ χ
かっぱ	Κ κ
がんま / がんまー	Γ γ
くしー / ぐざい	Ξ ξ
しーた	Θ θ
じーた	Ζ ζ
しぐま	Σ σ
たう	Τ τ
でるた	Δ δ
にゅー	Ν ν
ぱい / ぴー	Π π
ふぁい / ふぃー	Φ φ
ぷさい / ぷしー	Ψ ψ
べーた	Β β
みゅー	Μ μ
らむだ	Λ λ
ろー	Ρ ρ

括弧

読み	記号
かっこ	‘’ “” （） 〔〕 ［］ ｛｝ 〈〉 《》 「」 『』 【】

記号・マーク

読み	記号
くろぼし	★
くろまる	●
しろぼし	☆
しろまる	○
さんかく	△ ▲ ▽ ▼
しかく	◇ ◆ □ ■
ずけい	☆ ★ ○ ● ◎ ◇ ◆ □ ■ △ ▲ ▽ ▼
まる	○ ● ◎
にじゅうまる	◎
ひしがた	◇ ◆
ほし	☆ ★
おす	♂
めす	♀
ゆうびん	〒

単位

読み	記号
えん	￥
おんぐすとろーむ	Å
せっし	℃
せんと	¢
たんい	° ′ ″ ℃ ￥ ＄ ¢ £ ％
ど	° ℃
どる	＄
ぱーせんと	％
ぱーみる	‰
びょう	″
ふん	′
ぽんど	£

点

読み	記号
だくてん	゛
てん	、 ， … ‥
はんだくてん	゜
まる	。 ．

矢印

読み	記号
やじるし	→ ← ↑ ↓

その他

読み	記号
あすたりすく / あすてりすく	＊
あっとまーく	＠
あんぱさんど	＆
おんぷ	♪
から / ないし	～
こめ / ほし	※
しゃーぷ	＃
しゃせん	／ ＼
せくしょん	§
だがー	†
だぶるだがー	‡
ふらっと	♭

オーディオ基本操作

オーディオの基本操作

オーディオの基本操作について説明します。

基本操作

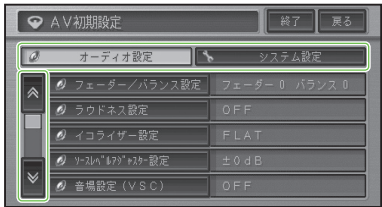
本機は、画面上のタッチキー（マークや項目など）にタッチして操作します。

アドバイス

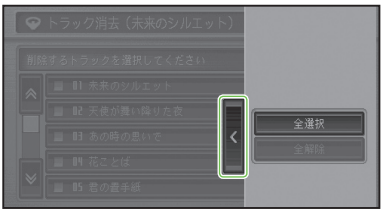
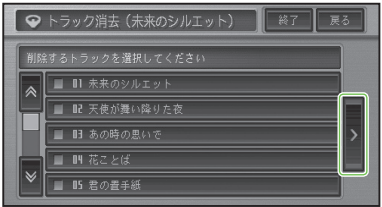
- 本書では、タッチキーでの操作を基本に説明していますが、一部操作を本体のボタンでも行うことができます。

リスト操作

再生中などに表示されるリスト画面の操作について説明します。

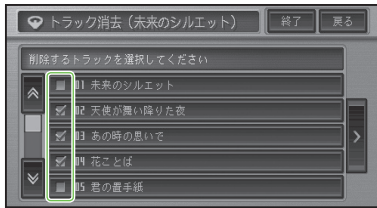
■基本的なリストの操作

ページ送り 一画面ずつ移動します。	⌃ ⌄ にタッチする
タブ送り タブ付きリストでは選んだタブのリストに切り替わります。	タブ（例：オーディオ設定）にタッチする

■サイドメニューの操作

▼

サイドメニュー >が表示されているときは、サイドメニューを表示できます。リストの全選択や全解除などの操作をすることができます。	>にタッチする

アドバイス

- サイドメニューを閉じるには、<にタッチします。

■チェックリストの操作

チェックリストでは、項目にタッチすると「✔」（チェックマーク）が表示され、選択中であることを示します。もう一度項目にタッチすると「✔」が消え、選択が解除されます。
またチェックリストでは、サイドメニューを表示できるものがあり、サイドメニューから、全選択、全解除を操作することもできます。

AVソースの切り替えかた

CD、ミュージックラック、DVDなどの音源や映像のことをソースと呼びます。

アドバイス

- ナビゲーション画面のときにソースを切り替えると音声のみ切り替わります。AUDIOを押すとAVソース画面に切り替えることができます。
- 接続していないソースや、再生の準備ができていないソースには切り替わりません。

ソースを切り替える

ソースの切り替えは、ソース選択画面から行います。

1 SOURCEを押すか、AVソース画面でソース名にタッチする

ソース名

2 お好みのソースにタッチする

▼

選んだソースに切り替わります。

ソースをOFFにする

1 ⏻を押す

ソースがOFFになります。
もう一度⏻を押すと、OFFにする前のAVソースに戻ります。

アドバイス

- AVソース選択画面でOFFにタッチしても、ソースをOFFにすることができます。
- フロント/コーナーカメラが接続されている場合は、⏻を2秒以上押してください。

画面の切り替えかた

AVソース画面の切り替えかたについて説明します。

AVソース画面とナビ画面を切り替える

AVソース画面のときに（現在地）を押すとナビゲーション画面に、ナビゲーション画面のときに（AUDIO）を押すとAVソース画面に切り替わります。

ナビゲーション画面

▲
▼

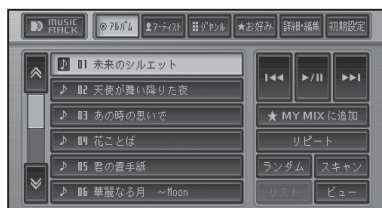
AVソース画面

AVソース画面を切り替える

AVソース画面の表示方法（通常リスト画面または情報表示画面）を切り替えることができます。

通常リスト画面で**ビュー**にタッチすると情報表示画面に、情報表示画面で**リスト**にタッチするとリスト画面に切り替わります。

通常リスト画面

▲
▼

情報表示画面

アドバイス

- ワンセグ、DVD、DivX、VTR のときは、映像画面に切り替わります。画面にタッチすると操作タッチキーや通常リスト画面が表示されます。

放送受信

FM・AM 放送を聞く

ラジオの受信のしかたを説明します。

ラジオの放送を受信する

1 ソースをFMまたはAMにする（→P128）

AVソース画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。

アドバイス

- 映像がナビゲーション画面のときに、ソースをラジオにした場合は、音声のみ切り替わります。AUDIOを押すとAVソース画面に切り替わります。*（→P129）*
- 受信をやめるには、ソースをOFFにします。*（→P128）*

2 リストにタッチして、受信したい放送局にタッチする

▼

操作ボタンで操作する場合：

⏮ TUNE ⏭ を押す	プリセットチャンネルを順に送る
⏮ TUNE ⏭ を長く押す	受信できる放送局を自動的に探す（SEEK）

アドバイス

- 放送局がリスト表示されていても、現在地の環境や電波状況によっては、受信できない場合があります。
- トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさえぎられやすい場所、電波の弱い地域では、受信状態が悪くなる場合があります。
- ステレオ放送を受信した場合は［STEREO］が表示されます。

■プリセットの種類を選ぶ

ユーザーが記憶させた放送局（ユーザープリセット）を呼び出すか、ハードディスクに記憶されている自車位置付近の放送局（エリアプリセット）を呼び出すかを選びます。

1 ユーザープリセットまたはエリアプリセットにタッチする

アドバイス

- エリアプリセットでは、放送局の周波数変更が行なわれた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

■放送局の手動記憶

ユーザープリセットメモリー*（→前記）*に、FM1とFM2、AM1、AM2に各6局まで、手動で記憶させることができます（マニュアルプリセット）。

1 ユーザープリセットにタッチする

2 ◀周波数/周波数▶にタッチして記憶させたい周波数を選ぶ

3 リストにタッチする

4 記憶させたいリストのプリセットの枠に２秒以上タッチする

▼

現在受信中の周波数が、選んだプリセットに記憶されます。

■バンドを切り替える

本機ではソースごとに２つのバンドがあり、それぞれのバンドごとにメモリーを使い分けることができます。

1 バンドにタッチする

タッチするごとに、以下のように切り替わります。

FM1↔FM2
AM1↔AM2

いろいろなラジオ操作のしかた

■放送局の自動記憶

受信状態の良い放送局をユーザープリセットメモリーに自動的に記憶させることができます。

1 BSMに２秒以上タッチする

▼

中止にタッチすると、自動記憶を中止します。

▼

自動記憶が完了すると、ユーザープリセットに放送局が記憶されます。

アドバイス

- 受信状態の良い放送局が記憶可能数より少ない場合は、前の記憶が残る場合があります。

交通情報を聞く

幹線道路などで放送されているAMの交通情報の受信のしかたを説明します。

交通情報を受信する

1 ソースを交通情報にする（→P128）

交通情報画面が表示され、前回聞いた周波数の交通情報を受信します。

1620kHz	1620kHzにするとき
1629kHz	1629kHzにするとき
交通情報 OFF	交通情報の受信をやめるとき

操作ボタンで操作する場合：

⏮ TUNE ⏭ を押す	周波数を切り替えます。

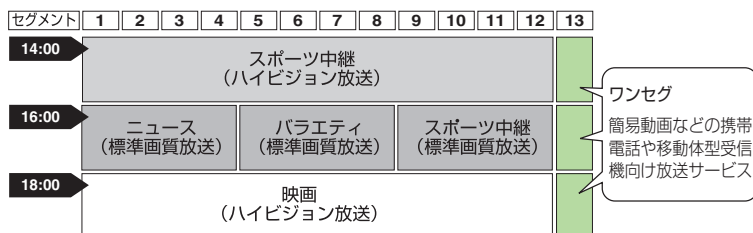
アドバイス

- 交通情報を受信しているときに、音量を調整すると、交通情報用の音量として設定することができます。別のソースに切り替えて音量を調整しても、次に交通情報を受信するときは、前回設定した音量で聞くことができます。

ワンセグ放送を見る

ワンセグの基本的な操作のしかたを説明します。

ワンセグ放送について

地上デジタル放送は、ゴーストのない鮮明な映像や高品質な音声を車で移動しながら楽しむことができます。「ワンセグ」は、地上デジタル放送のサービスの１つです。

地上デジタル放送では、１つのチャンネルが13の「セグメント」に分割されており、これらのセグメントのいくつかを束ねて映像やデータ、音声などを送信しています。通常の地上デジタル放送では12セグメントが、ワンセグでは1セグメントが割り当てられています。

ワンセグ

ワンセグは、13セグメントの１つを使って行われる、おもに携帯電話や移動体型受信機のような小さな画面（QVGA:320×240画素または320×180画素）に向けた、簡易動画や音声などの地上デジタル放送です。ワンセグは、12セグメントを使った通常の地上デジタル放送では受信状態が不安定なエリアでも安定受信が可能なため、より広いエリアで放送が楽しめます。

アドバイス

- ワンセグなど、地上デジタル放送の詳細については下記をご覧ください。
  社団法人　地上デジタル放送推進協会　http://www.d-pa.org/

注意

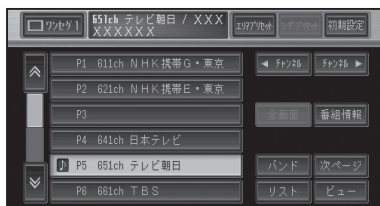
- **停車中またはパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。**

ワンセグ放送を見る

1 ソースをワンセグにする(→P128)

AVソース画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。

2 画面にタッチして操作タッチキーを表示する

3 放送局にタッチする

操作ボタンで操作する場合：

⏮ TUNE ⏭ を押す	プリセットチャンネルを順に送る
⏮ TUNE ⏭ を長く押す	物理チャンネルを自動的に探す（SEEK）

アドバイス

- 何も操作をしないと、操作タッチキーは約8秒で消えます。もう一度操作タッチキーを表示したいときは、画面にタッチします。
- 映像がナビゲーション画面のときに、ソースをワンセグに切り替えた場合は、音声のみ切り替わります。AUDIOを押すとAVソース画面に切り替わります。*(→P129)*
- 受信をやめるには、ソースをOFFにします。*(→P128)*
- ワンセグの音声は放送局側の出力レベルにより低い場合があります。そのため他のソースからワンセグに切り替えると、音が小さく感じられる場合があります。その場合は、ソースレベルアジャスターでソースごとの音量の違いをそろえることができます。*(→P186)*
- 放送局名にタッチすると「受信可能な物理チャンネルを自動的に探します。」と表示し、選んだ放送局の系列局を自動的に探します。受信可能な系列局が見つかった場合は、放送局名を切り替えて表示します。

■アイコン(画面に表示されるマーク)一覧

	ステレオ放送
	受信状態
	未読のお知らせメッセージあり

アドバイス

- 受信状態は、８段階で表示されます。
- 上記のアイコンは、実際に画面に表示されるアイコンと異なる場合があります。
- 切り替えできる音声や字幕、複数の番組は放送によって異なります。

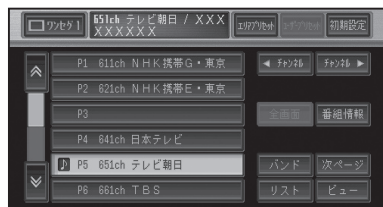
■操作タッチキーの操作のしかた

ワンセグの操作タッチキーは２ページあります。操作タッチキーに表示される**次ページ**、**前ページ**にタッチして表示を切り替えます。

1 ワンセグ放送受信中に、画面にタッチする

アドバイス

- **ビュー**にタッチすると操作タッチキーは消えます。

操作タッチキー 1（1ページ目）

エリアプリセット または ユーザープリセット	プリセットの種類（→後記）を切り替えます。
◀チャンネル / チャンネル▶	3桁チャンネルを順に送ります。長くタッチすると、物理チャンネルを自動的に探し、放送を受信すると止まります。(SEEK)
全画面	番組情報を解除して視聴画面に戻ります。
番組情報	番組情報を表示します。
バンド	バンド（ワンセグ1 ←→ワンセグ2）を切り替えます。(→P138)
リスト	リストの簡易表示と通常表示を切り替えます。(→P139)

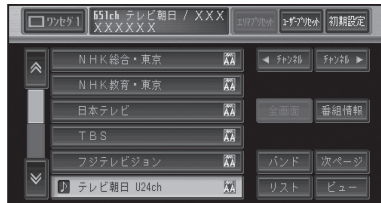
操作タッチキー 2（2ページ目）

サービスリスト	サービスリストを表示します。(→P139)
スキャン	2秒以上タッチすると、受信状態の良い放送局を自動的に記憶します。(→P138)
お知らせメッセージ	お知らせメッセージ画面を表示します。
音声切替	番組に複数の音声があるときや、デュアルモノ放送（2カ国語、2重音声）のときに、音声を切り替えることができます。(→P139)
字幕切替	番組に複数の字幕があるときに、字幕を切り替えます。(→P139)
前選局	一つ前に視聴したサービスに切り替えます。(→P139)

ワンセグの操作

■プリセットの種類を切り替える

お好みで記憶した放送局（ユーザープリセット）を呼び出すか、ハードディスクに記憶されている自車位置付近の放送局（エリアプリセット）を呼び出すかを選びます。

1 エリアプリセット または ユーザープリセット にタッチする

アドバイス

- エリアプリセットのリストには、実際の地デジワンセグ放送を行っていない放送局も表示される場合があります。そのような放送局は、タッチしても受信できません。
- 放送エリアの境付近では、受信感度によって、別のエリアの放送局を受信する場合があります。また、場所によってはエリアプリセットで設定された放送局以外にも受信可能な放送局がある場合があります。

■放送局の手動記憶

ユーザープリセットメモリにバンドごとに12局まで記憶させることができます（マニュアルプリセット）。

つづく→

1 ユーザープリセット にタッチする

2 操作タッチキー1の ◀チャンネル、チャンネル▶ にタッチして記憶させたい放送局を選ぶ

3 記憶させたいリストのプリセットの枠に2秒以上タッチする

▼

現在受信中の放送局が、選んだリストに記憶されます。

■番組情報を表示する

番組表などの情報を表示します。

1 操作タッチキー1（→P137）の 番組情報 にタッチする

番組情報を解除する場合は、操作タッチキーを表示して（→P136）、全画面にタッチしてください。

■バンドを切り替える

1 操作タッチキー1（→P137）の バンド にタッチする

タッチするごとに、ワンセグ1（バンド1）↔ワンセグ2（バンド2）が切り替わります。

■放送局の自動記憶（チャンネルスキャン）

バンドごとに受信可能な放送局をユーザープリセットに自動的に記憶させることができます。

1 ユーザープリセット にタッチする

2 操作タッチキー2（→P137）の スキャン に2秒以上タッチする

▼

中止にタッチすると、スキャンを中止します。

■お知らせメッセージを表示する

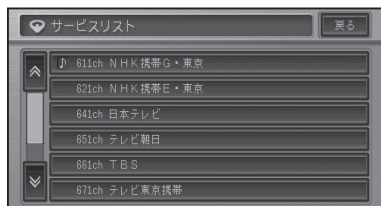
1 操作タッチキー2（→P137）の お知らせメッセージ にタッチする

▼

取得済みのお知らせメッセージが表示されます。

■サービスリストから放送局を選ぶ

1 操作タッチキー２（→P137）の サービスリスト にタッチする

2 受信したいサービスチャンネルにタッチする

■字幕を切り替える

番組に字幕があるときに、字幕の言語と表示のON/OFFを切り替えできます。

1 操作タッチキー２（→P137）の 字幕切替 にタッチする

タッチするごとに、次のように切り替わります。

第１言語 → 第２言語 → 字幕OFF

■音声を切り替える

1 操作タッチキー２（→P137）の 音声切替 にタッチする

タッチするごとに、次のように切り替わります。

複数の音声がある場合：

第１音声 → 第２音声 → 第１音声 に戻る

２カ国語放送（２重音声）の場合：

主音声 → 副音声 → 主音声＋副音声 → 主音声 に戻る

アドバイス

- 音声が有料の場合は、本機では再生できません。

■リストを簡易表示に切り替える

表示させるリストを簡易表示に切り替えます。

1 操作タッチキー１（→P137）の リスト にタッチする

▼

簡易表示中に リスト にタッチすると通常のリスト表示に切り替わります

■１つ前の放送に戻る

１つ前に視聴したサービスに切り替えます。

1 操作タッチキー２（→P137）の 前選局 にタッチする

音楽ディスク

音楽ディスクの再生

CD、ROM(WMA/MP3/AAC)の基本的な再生のしかたを説明します。

再生する

アドバイス

- 再生できるディスクについては*「再生できるディスクの種類」(→P198)*を参照してください。

1 ディスクを挿入する(→『クイックガイド』)

▼

自動的に再生が始まります。

アドバイス

- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、ソースを切り替えてください。*(→P128)*
- ディスクの判別などを行うため、再生までに時間がかかります。
- 再生を中止するには、ソースをOFFにします。*(→P128)*

2 リストにタッチする

3 聴きたい曲にタッチする

アドバイス

- 何も操作をしないと、リスト画面は約８秒で消えます。

操作ボタンで操作する場合：

CD

操作	内容
[⏮ TUNE ⏭]を押す	トラック / ファイル操作
[⏮ TUNE ⏭]を長く押す	早戻し / 早送り

ROM (WMA/MP3/AAC)

操作	内容
[⏮ TUNE ⏭]を押す	トラック / ファイル操作
[⏮ TUNE ⏭]を長く押す	フォルダーのアップ / ダウン

■再生画面について

CD (通常再生中)

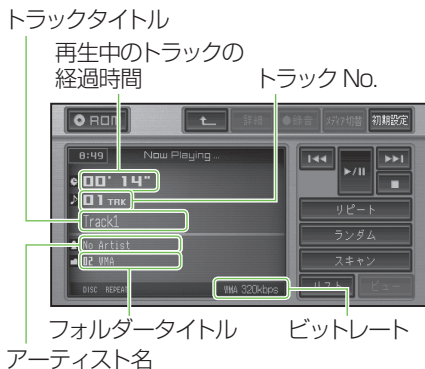
ボタン	内容
⏮、⏭	トラック操作
⏮、⏭(タッチし続ける)	早戻し / 早送り
▶/II	一時停止 / 再生
■	停止
●録音	ミュージックラックへの手動録音
メディア切替	ミックス CD 再生時の WMA/MP3/AAC、DivX への切替

CD→REC（録音中）

録音停止	ミュージックラックへの録音停止

アドバイス

- 録音していないCDを再生すると、自動的にミュージックラックへの録音が開始されます。全ての曲の録音が終わると通常再生に切り替わります。録音モード*(→P167)*を「マニュアル」に設定している場合は、録音したい曲を選んで、手動で録音することができます。
- 全ての曲の録音が完了するまで、選曲操作や特殊再生（ランダム再生など）はできません。選曲操作が必要な場合は、録音停止にタッチして録音を中止してください。録音を再開するときは、●録音にタッチします。
- 内蔵のGracenote® 音楽認識サービス（CDDB）から情報が取得できた場合は、タイトルやアーティスト名が表示されます。
- CD TEXTから情報が取得できた場合は、CD TEXTの情報が優先して表示されます。
- ミュージックラックへの録音およびタイトル表示については*「ミュージックラックに録音する」(→P165)*を参照してください。

ROM（WMA/MP3/AAC）

⏮、⏭	ファイル操作
⏮、⏭（選び続ける）	早戻し / 早送り
▶/II	一時停止 / 再生
■	停止
メディア切替	ミックス CD 再生時の CD、DivX への切替
⮤	1 つ上のフォルダーの 1 曲目を再生または情報の表示
詳細	詳細情報の表示

アドバイス

- WMA/MP3/AACはID3タグ/WMAタグ/AACタグ*(→P201)*からタイトル情報を取得できた場合は、タイトルやアーティスト名が表示されます。
- フォルダータイトル、トラックタイトル、アーティスト名は半角32文字まで表示できます。
- MP3は、タイトル情報を取得できなかった場合、フォルダー名がフォルダータイトル、ファイル名がトラックタイトルとして表示されます。アーティスト名は表示されません。
- WMA/AACは、フォルダー名がフォルダータイトル、ファイル名がトラックタイトルとして表示されます。アーティスト名は表示されません。
- WMAの時にタグのAuthor情報があった場合、アーティスト名として表示します。
- フォルダーの項目にタッチすると、選んだフォルダー内の情報を表示します。
- ⮤にタッチすると、上位階層のフォルダー内の情報を表示します。

・音楽データ（CD）とWMA/MP3/AAC形式のデータが混在したディスクを挿入した場合、最初に音楽データ（CD）が再生されます。WMA/MP3/AACファイルを再生するには メディア切替 にタッチします。

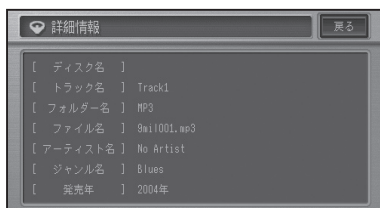
■詳細情報を表示する（MP3）

MP3では現在再生中の曲の詳細情報を見ることができます。

1 リスト にタッチする

2 詳細情報を表示したい曲にタッチする

3 詳細 にタッチする

▼

ID3 Tagの情報がある場合には、現在再生中の曲の詳細情報（ディスク名、トラック名、フォルダー名、ファイル名、アーティスト名、ジャンル名、発売年）が表示されます。

戻る にタッチすると元の画面に戻ります。

いろいろな再生操作のしかた

アドバイス

・CD録音中は、リピート、ランダム、スキャン、メディア切替 は操作できません。

■リピート再生

指定した範囲を繰り返して再生できます。

1 リピート にタッチする

▼

タッチするごとに、リピートの範囲が以下のように切り替わります。

CD

DISC REPEAT ⟷ TRACK REPEAT

ROM（WMA/MP3/AAC）

DISC REPEAT → TRACK REPEAT → FOLDER REPEAT → 元に戻る

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
TRACK REPEAT	再生中のトラック（曲）を繰り返します。
FOLDER REPEAT	再生中のフォルダーを繰り返します（WMA/MP3/AACのみ）。

アドバイス

・リピート再生中にリピートの範囲を越える操作（TRACK REPEAT中の選曲操作など）を行うと、リピートの範囲が変更される場合があります。
・通常再生であるDISC REPEATは、画面に表示されません。

■ランダム再生

選んだリピートの範囲内で、曲順を変えて再生することができます。

1 ランダム にタッチする

▼

タッチするごとに、ランダム再生のON/OFFが切り替わります。

アドバイス

- リピートの範囲がTRACK REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピートの範囲はそれぞれ以下のように自動的に切り替わります。

CD	DISC REPEAT
WMA/MP3/AAC	FOLDER REPEAT

- ランダム再生中にその他の再生操作（リピート再生、スキャン再生など）やリピートの範囲を超える操作（フォルダーの切り替えなど）を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

■スキャン再生

選んだリピートの範囲内で、ディスク内の各曲の演奏開始部分や、各フォルダー内の1曲目の演奏開始部分を、約10秒間ずつ聴くことができます。聴きたい曲やフォルダーを探すときに使います。

1 リピート範囲を以下のように指定する

聴きたい曲を探すとき

再生中のディスク(CD)、フォルダー（WMA/MP3/AAC）内の各曲の演奏開始部分を、約10秒間ずつ再生します。
リピートの範囲を以下のように指定します

CD	DISC REPEAT
WMA/MP3/AAC	FOLDER REPEAT

アドバイス

- リピートの範囲がTRACK REPEATの場合、スキャン再生をONにすると、リピートの範囲はそれぞれ上記のリピート範囲に切り替わります。

聴きたいフォルダーを探すとき（WMA/MP3/AAC）

ディスク内の全フォルダーの1曲目だけの演奏開始部分を、約10秒間ずつ再生します。リピートの範囲をDISC REPEATに指定します。

2 スキャン にタッチする

▼

タッチするごとに、スキャン再生のON/OFFが切り替わります。

アドバイス

- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

3 聴きたい曲またはフォルダーが再生されたら、もう一度 スキャン にタッチする

スキャン再生がOFFになり、選んだ曲またはフォルダーが再生されます。

アドバイス

- スキャン再生中にその他の再生（リピート再生、ランダム再生など）やリピートの範囲を越える操作（フォルダーの切り替えなど）を行うと、スキャン再生が中止される場合があります。

■ミックスCD内のデータ形式の切り替え

音楽データ(CD)とWMA/MP3/AACデータ(ROM)とDivXのデータ、またはいずれかのデータの組み合わせで混在しているディスク(ミックスCD)の場合に形式を切り替えます。

1 メディア切替 にタッチする

▼

再生するデータ形式が切り替わります。

アドバイス

- 音楽データ側に記録された文字情報は表示されません。

映像ディスク

映像ディスクの再生

DVDビデオ、DVD-VR、DivXなどの基本的な再生のしかたについて説明します。

再生する

注意

- **停車中またはパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。安全のため、走行中はモニターに映像が表示されません。**

アドバイス

- 再生できるディスクについては*「再生できるディスクの種類」*（→*P198*）を参照してください。

1 ディスクを挿入する（→『クイックガイド』）

▼

自動的に再生が始まります。

アドバイス

- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、ソースを切り替えてください。（→*P128*）
- ディスクによっては、ディスクメニューが表示されて自動的に再生が開始されない場合があります。その場合は、ディスクメニューにタッチして再生してください。→*「ディスクメニューの操作（DVD）」（→P149）*
- オートプレイの設定をONにすると、タイトル順に自動的に再生することができます。→*「オートプレイ」（P160）*
- DVDの録音レベルは他のソースより低いため、他のソースからDVDに切り替えると、音が小さく感じられる場合があります。その場合は、ソースレベルアジャスターでソースごとの音量の違いをそろえることができます。（→*P186*）
- 再生を中止するには、ソースをOFFにします。（→*P128*）

操作タッチキーの表示のしかた

ディスクの操作をタッチパネルで行うときは、操作タッチキーを表示して操作します。

1 再生中に画面にタッチする

▼

アドバイス

- ビューにタッチすると操作タッチキーは消えます。
- 操作タッチキーは2ページあります。次ページまたは前ページにタッチして、表示を切り替えることができます。

■DVDビデオの操作タッチキー

DVDビデオ操作タッチキー１（1ページ目）

DVDビデオ操作タッチキー２（2ページ目）

■DivXの操作タッチキー

DivX操作タッチキー１（１ページ目）

DivX操作タッチキー２（２ページ目）

■DVD-VRの操作タッチキー

DVD-VR操作タッチキー１（１ページ目）

DVD-VR操作タッチキー２（２ページ目）

ディスクメニューの操作（ダイレクトタッチ）（DVD）

ディスクメニューは、ディスクにあらかじめ記録されているメニューのことで、表示されるメニューや操作方法は、再生するディスクによって異なります。

1 トップメニュー または メニュー にタッチする

2 画面にタッチして操作する

アドバイス

- ビュー にタッチすると操作タッチキーを表示して操作することもできます。
- ビュー にタッチすると操作タッチキーは消えます。
- ビュー－戻る にタッチすると、ダイレクトタッチはできなくなります。画面にタッチして操作タッチキーを表示し、トップメニュー または メニュー にタッチしてください。

ディスクの再生操作

アドバイス

- ここで説明されている各機能は、ディスクや再生位置によって、⊘（禁止マーク）が表示され、操作できない場合があります。

■チャプター／ファイルを進める／戻す

チャプター／ファイルを前後に送ったり、早送り／早戻しをすることができます。

1 操作タッチキー1（→P148）の ⏮ または ⏭ にタッチする

アドバイス

- ⏮ TUNE ⏭ を押して、チャプター／ファイルを前後に送ることもできます。
- ⏮ / ⏭ にタッチし続けると、早戻し／早送りの動作となります。約5秒以上操作し続けると、早送り／早戻しのままになります。通常の再生に戻すには ⏮ / ⏭ または ▶/II にタッチします。
- DVD-VRの静止画コンテンツを再生された場合は、II▶ にタッチするごとに静止画が順に送られます。

■タイトルを進める／戻す

タイトルを順に進めたり、戻したりすることができます。

1 ⏮ TUNE ⏭ を長く押す

アドバイス

- 操作タッチキーでは、この操作はできません。

■一時停止／再生

再生中の映像を一時停止して静止画にしたり、通常の再生に戻すことができます。

1 操作タッチキー1（→P148）の ▶/II にタッチする

アドバイス

- もう一度 ▶/II にタッチすると通常再生に戻ります。
- II▶ にタッチしても一時停止します。

■コマ送り再生

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進めて見ることができます。

1 操作タッチキー1（→P148）の II▶ にタッチする

▼

タッチするごとに、映像が1コマずつ送られます。

アドバイス

- ▶/II にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。

■スロー再生

再生スピードを遅くして見ることができます。

1 操作タッチキー1(→P148)の II▶ に2秒以上タッチする

▼

送り方向にスロー再生されます。

DVDの場合は、スロー再生中に再生スピードを変えることができます。

DVDスロー再生の場合：

スロー DOWN	再生スピードが遅くなります。
スロー UP	再生スピードが速くなります。

アドバイス

- ▶/II にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、スロー再生中に映像が乱れる場合があります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。

■再生を停止する

ディスクの再生を停止します。

1 操作タッチキー1(→P148)の ■ にタッチする

アドバイス

- ▶/II にタッチすると通常再生に戻ります。
- 再生を停止した場所を記憶し、次回同じディスクを再生したときは前回の続きから再生されます（ディスクによっては続きから再生されない場合があります）。

■CMスキップ/バック

再生中の映像を、一定の秒数だけ早送り/早戻しします。CMなどを飛ばして再生するときなどに使うと便利です。

1 操作タッチキー1(→P148)の CMスキップ または CMバック にタッチする

▼

タッチするごとに、以下のような秒数で早送り/早戻しされます。

CM スキップ（早送り）	「30 秒」→「1 分」→「1 分 30 秒」→「2 分」→「3 分」→「5 分」→「10 分」→「0 秒」→「30 秒」に戻る
CM バック（早戻し）	「5 秒」→「15 秒」→「30 秒」→「1 分」→「2 分」→「3 分」→「0 秒」→「5 秒」に戻る

■ブックマークの記憶（DVD）

ブックマークとは、ディスク再生中に場面を選んで登録する機能です。次にディスクを挿入したときに、登録した場面から再生されます。

1 操作タッチキー1（→P148）の ブックマーク にタッチする

▼

選んだ場面がブックマークとして記憶され、次回ディスク挿入時、その場面より再生されます。

消去する場合は、ブックマークに2秒以上タッチします。

アドバイス

- 5枚を超えて新しいディスクにブックマークが記憶されると、一番使用時期の古いディスクのブックマーク情報に上書きされます。

■ファイルを選んで再生する（DivX）

DivXでは、リストから見たいファイルを選んで再生することができます。

アドバイス

- DivXのレンタルコンテンツをダウンロードする場合は、システム設定の*「DivX VODコード」（→P189）*でレジストレーションコードを入手して行ってください。

1 操作タッチキー1（→P149）の リスト にタッチする

2 見たいファイルにタッチする

▼

選んだファイルが再生されます。

アドバイス

- DivXのリスト画面と操作タッチキーは約8秒で消えます。
- フォルダーの項目をタッチした場合は、フォルダー内のファイルのリストが表示されます。
- （↑）にタッチすると、1つ上のフォルダー内を表示します。また、（|◀◀ TUNE ▶▶|）を長く押すと、フォルダーを送ったり戻したりすることができます。

レンタルコンテンツのファイルを選んだ場合

レンタルコンテンツのファイルを選んで再生する場合は、以下の画面が表示されます。

はい または いいえ にタッチします。

■	ディスクを停止します。
|◀◀	前のファイルを表示します。
▶▶|	次のファイルを表示します。

■プレイリストから再生する（DVD-VR）

DVD-VRでは、ディスクに記録されたプレイリストから再生することができます。

1 操作タッチキー1（→P149）の PlayList にタッチする

▼

プレイリスト再生されます。

アドバイス

- プレイリストが無い場合は、操作できません。
- プレイリスト再生中は、Program が表示され、タッチするとプログラム再生に戻ります。
- Program と PlayList を切り替えると、必ず先頭のタイトルから再生されます。

■タイトルを選んで再生する（DVD-VR）

DVD-VRでは、リストから見たいタイトルを選んで再生することができます。

1 操作タッチキー1（→P149）の リスト にタッチする

2 見たいタイトルにタッチする

▼

選んだタイトルが再生されます。

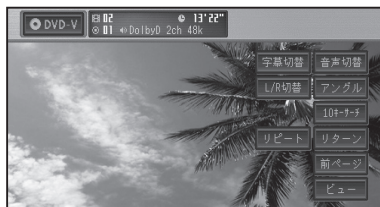
アドバイス

- DVD-VRのリスト画面と操作タッチキーは約8秒で消えます。

■ダイレクトサーチ

見たい場面を数字で指定して再生することができます。

1 操作タッチキー2（→P149）の 10キーサーチ にタッチする

DVD

DivX

つづく→

DVD-VR

2 指定する方法(サーチの種類)にタッチする

DVD

TITLE、CHAPTER、TIME、10キーモード が選べます。

DivX

FOLDER、TIME、FILEが選べます。

DVD-VR

TITLE、TIME、CHAPTERが選べます。

3 見たい場面の番号を入力し、決定 にタッチする

DVD / DVD-VR

TITLE	タイトル番号を入力します。
CHAPTER	チャプター番号を入力します。
TIME	時間を分・秒で入力します。分・秒にタッチすると分と秒を確定します。
10キーモード(DVDのみ)	数字のコマンドを入力します。

▼

指定した場面から再生を始めます。

DivX

FOLDER	フォルダー番号を入力します。
TIME	時間を分・秒で入力します。分・秒にタッチすると分と秒を確定します。
FILE	ファイル番号を入力します。

▼

指定した場面から再生を始めます。

■字幕言語の切り替え

字幕が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り替えることができます(マルチ字幕)。

1 操作タッチキー2(→P149)の字幕切替にタッチする

▼

タッチするごとに、字幕言語が切り替わります。

アドバイス

- DVDの場合、パッケージについている 2 マークの数字が、字幕の収録数です。
- ディスクによっては、収録されているディスクメニューでしか切り替えることができない場合があります。

■音声言語の切り替え

音声が複数収録されているディスクの場合、再生中に音声を切り替えることができます（マルチ音声）。

1 操作タッチキー2（→P149）の 音声切替 にタッチする

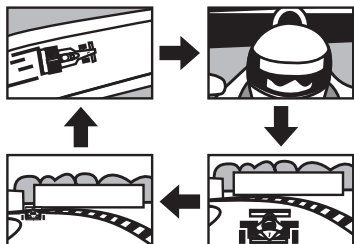
▼

タッチするごとに、音声言語が切り替わります。

アドバイス

- DVDの場合、パッケージについている②))マークの数字が、音声の収録数です。
- ディスクによっては、収録されているディスクメニューでしか切り替えることができない場合があります。
- DTS音声は再生できません。
- ［Dolby D］や［5.1ch］などの表示は、DVDに収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

■アングルの切り替え（DVD）

複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、再生中にカメラアングルを切り替えることができます（マルチアングル）。

アドバイス

- マルチアングルが収録されている場面で操作します。マルチアングルが収録されている場面を再生すると、アングル選択マークとアングル番号が表示されます。

1 操作タッチキー2（→P149）の アングル にタッチする

アングル選択マークが表示されている間は、アングル切り替えが行えます。

▼

タッチするごとに、アングルが切り替わります。

アドバイス

- パッケージについている🎥3マークの数字が、アングルの収録数です。
- アングル選択マークの表示/非表示は、初期設定メニューの「マルチアングル」で行います。
→「マルチアングル」（P159）

■リターン再生（DVD）

戻る位置の指定が収録されているディスクの場合、指定された位置まで戻って再生することができます。

1 操作タッチキー2（→P149）の リターン にタッチする

▼

ディスクの指定された位置まで戻り、再生を始めます。

いろいろな再生操作のしかた

■リピート再生

指定した範囲を繰り返して再生します。

1 操作タッチキー2(→P149)の リピート にタッチする

▼

タッチするごとに、リピートの範囲が以下のように切り替わります。

DVD / DVD-VR

DISC REPEAT→CHAPTER REPEAT→TITLE REPEAT→DISC REPEATに戻る

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
CHAPTER REPEAT	再生中のチャプターを繰り返します。
TITLE REPEAT	再生中のタイトルを繰り返します。

DivX

DISC REPEAT → FILE REPEAT → FOLDER REPEAT → DISC REPEATに戻る

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
FILE REPEAT	再生中のファイルを繰り返します。
FOLDER REPEAT	再生中のフォルダーを繰り返します。

アドバイス

- 設定したリピート範囲は、画面に表示されます。
- 通常再生であるDISC REPEATは画面に表示されません。
- ディスクまたは再生位置によっては、⃠（禁止マーク）が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作（CHAPTER REPEAT中のチャプターの切替えなど）を行うと、リピート再生が中止される場合があります。
- オートプレイ（*→P160*）の設定がONのときは機能しません。

■音声出力の切り替え（DVD/DVD-VR）

音声がリニアPCMのディスクの場合、収録された左右のチャンネルのうち、どちらをスピーカーから出力するかを切り替えます。

1 操作タッチキー2(→P149)の L/R切替 にタッチする

タッチするごとに、音声出力のチャンネルが以下のように切り替わります。

L＋R → L → R → L＋Rに戻る

L+R	左右両方の音声を出力します。
L	左の音声を出力します。
R	右の音声を出力します。

▼

選んだ側の音声を出力します。

■再生メディアの切り替え（DivX）

音楽データ(CD)とWMA/MP3/AACデータ（ROM）とDivXのデータが混在しているディスク（コンバインドディスク）の場合に形式を切り替えます。

1 操作タッチキー1（→P148）の メディア切替 にタッチする

▼

切り替えたメディアを再生します。

DVD ビデオの初期設定のしかた

DVDの再生条件をあらかじめ使用する環境に合わせて設定しておきます。

初期設定できる項目は、以下のとおりです。

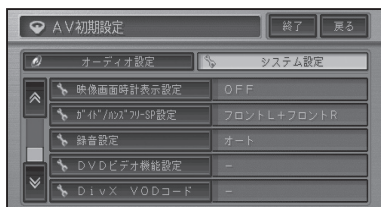
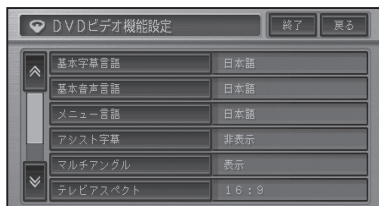
- 基本字幕言語
- 基本音声言語
- メニュー言語
- アシスト字幕の表示 / 非表示
- マルチアングルの表示 / 非表示
- テレビアスペクト（画面の縦横比）
- 視聴制限（パレンタルロック）
- オートプレイの ON/OFF

アドバイス

・DVD-VRを再生している場合は、アシスト字幕およびテレビアスペクトの設定のみとなります。

初期設定をする

1 操作タッチキー1（→P149）の 初期設定 にタッチする

2 DVDビデオ機能設定 にタッチする

3 各項目にタッチして、設定する

各設定項目の設定内容は、右側に表示されます。

■基本字幕言語

優先して表示させたい字幕の言語を設定することができます（マルチ言語字幕）。

日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、その他から選んでタッチします。

工場出荷時は「日本語」です。

アドバイス

・その他にタッチしたときは、*「言語コード表」*（→*P161*）より、４桁の言語コードを数字で入力します。
・選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が選ばれます。
・ディスクによっては設定した言語が優先されない場合があります。

■基本音声言語

優先して聞きたい音声の言語を設定することができます（マルチ音声）。

設定項目は基本字幕と同じです。

■メニュー言語

ディスクに収録されているメニュー画面の表示言語について、優先して表示させたい言語を設定することができます。

設定項目は基本字幕と同じです。

■アシスト字幕

アシスト字幕とは、耳の不自由な方のために場面の状況を説明する字幕です。ただし、アシスト字幕は、ディスクに収録されている場合のみ表示することができます。
工場出荷時は「非表示」です。

表示	アシスト字幕を表示します。
非表示	アシスト字幕を表示しません。

■マルチアングル

マルチアングルの場面を再生しているときに表示される、アングル選択マークの表示/非表示を設定することができます。
工場出荷時は「表示」です。

表示	アングルマークを表示します。
非表示	アングルマークを表示しません。

アドバイス

- この設定は、複数のカメラで同時に撮影された映像（マルチアングル）が収録されているディスクに対して有効です。

■テレビアスペクト

接続したテレビのアスペクト（画面の縦横比）を設定します。
工場出荷時は「16：9」です。

16：9	ワイドモニター（16：9）使用時に選びます。16：9で収録された画像が16：9で表示されます。
レターボックス	ノーマルモニター（4：3）使用時に選びます。16：9で収録された画像の横幅を4：3モニターの横幅に合わせて16：9の比率で表示します。
パンスキャン	ノーマルモニター（4：3）使用時に選びます。16：9で収録された画像の縦幅を4：3モニターの縦幅に合わせて16：9の比率で表示します（左右にはみ出た映像は表示されません）。

アドバイス

- 通常は16：9に設定してお使いください。リアモニターにノーマルモニターを接続した場合でアスペクト比をリアモニターに合わせたい場合のみ設定を変えてください。
- パンスキャン指定されていないディスクを再生したときは、パンスキャンに設定してもレターボックスで再生されます。ディスクのパッケージなどで 16：9 PS マークを確認してください。
- ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳しくは、ディスクの説明書を参照してください。

■視聴制限

視聴制限レベルが設定されているディスクでは、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面にパスワードを設定して視聴制限をかけることができます（パレンタルロック）。

設定レベル	内容
8	ディスクを全て再生します。
7～2	成人向けディスクの再生を禁止します（子供向けや一般向けディスクを再生します）。
1	子供向けのディスクのみ再生します。

アドバイス

- 視聴制限にタッチすると、暗証番号入力画面が表示されますので、希望の暗証番号を登録してください。以後、視聴制限されたディスクを再生するときや制限レベルを変更するときは、登録した暗証番号の入力が必要になります。

暗証番号を忘れたときは

暗証番号入力画面で訂正に10回連続でタッチすると、暗証番号が解除されます。

はじめに
オーディオ基本操作
放送受信
音楽ディスク
映像ディスク
ミュージックラック
その他の機器
AV初期設定
その他の機能
付録

■オートプレイ

DVD を挿入したときに、メニューのタイトル順に自動的に再生を開始するかどうかを設定します。
工場出荷時は「OFF」です。

ON	自動再生します。
OFF	自動再生しません。

アドバイス

- オートプレイの設定をONにしても、ご使用されるディスクにより期待通りの動作ができない場合があります。このような場合は、オートプレイをOFFにして再生してください。
- オートプレイの設定がONの時はリピート再生は機能しません。

言語コード表

言語名（言語コード）	入力コード
日本語（ja）	1001
英語（en）	0514
フランス語（fr）	0618
スペイン語（es）	0519
ドイツ語（de）	0405
イタリア語（it）	0920
中国語（zh）	2608
オランダ語（nl）	1412
ポルトガル語（pt）	1620
スウェーデン語（sv）	1922
ロシア語（ru）	1821
韓国語（ko）	1115
ギリシャ語（el）	0512
アファル語（aa）	0101
アブハジア語（ab）	0102
アフリカーンス語（af）	0106
アムハラ語（am）	0113
アラビア語（ar）	0118
アッサム語（as）	0119
アイマラ語（ay）	0125
アゼルバイジャン語（az）	0126
バシキール語（ba）	0201
ベラルーシ語（be）	0205
ブルガリア語（bg）	0207
ビハーリー語（bh）	0208
ビスラマ語（bi）	0209
ベンガル語（bn）	0214
チベット語（bo）	0215
ブルトン語（br）	0218
カタロニア語（ca）	0301
コルシカ語（co）	0315
チェコ語（cs）	0319
ウェールズ語（cy）	0325
デンマーク語（da）	0401
ブータン語（dz）	0426
エスペラント語（eo）	0515
エストニア語（et）	0520
バスク語（eu）	0521
ペルシア語（fa）	0601
フィンランド語（fi）	0609
フィジー語（fj）	0610
フェロー語（fo）	0615
フリジア語（fy）	0625
アイルランド語（ga）	0701
スコットランドゲール語（gd）	0704
ガルシア語（gl）	0712

言語名（言語コード）	入力コード
グアラニ語（gn）	0714
グジャラート語（gu）	0721
ハウサ語（ha）	0801
ヒンディー語（hi）	0809
クロアチア語（hr）	0818
ハンガリー語（hu）	0821
アルメニア語（hy）	0825
国際語（ia）	0901
interlingue（ie）	0905
イヌピアック語（ik）	0911
インドネシア語（in）	0914
アイスランド語（is）	0919
ヘブライ語（iw）	0923
イディッシュ語（ji）	1009
ジャワ語（jw）	1023
グルジア語（ka）	1101
カザフ語（kk）	1111
グリーンランド語（kl）	1112
カンボジア語（km）	1113
カンナダ語（kn）	1114
カシミール語（ks）	1119
クルド語（ku）	1121
キルギス語（ky）	1125
ラテン語（la）	1201
リンガラ語（ln）	1214
ラオス語（lo）	1215
リトアニア語（lt）	1220
ラトビア語（lv）	1222
マダガスカル語（mg）	1307
マオリ語（mi）	1309
マケドニア語（mk）	1311
マラヤーラム語（ml）	1312
モンゴル語（mn）	1314
モルダビア語（mo）	1315
マラータ語（mr）	1318
マライ語（ms）	1319
マルタ語（mt）	1320
ビルマ語（my）	1325
ナウル語（na）	1401
ネパール語（ne）	1405
ノルウェー語（no）	1415
プロバンス語（oc）	1503
オロモ語（om）	1513
オリヤー語（or）	1518
パンジャブ語（pa）	1601
ポーランド語（pl）	1612

言語名（言語コード）	入力コード
アフガニスタン語（ps）	1619
ケチュア語（qu）	1721
レートロマン語（rm）	1813
キルンディ語（rn）	1814
ローマ語（ro）	1815
キニヤルワンダ語（rw）	1823
サンスクリット語（sa）	1901
シンド語（sd）	1904
サンド語（sg）	1907
セルボクロアチア語（sh）	1908
セイロン語（si）	1909
スロバック語（sk）	1911
スロベニア語（sl）	1912
サモア語（sm）	1913
ショナ語（sn）	1914
ソマリ語（so）	1915
アルバニア語（sq）	1917
セルビア語（sr）	1918
シスワティ語（ss）	1919
セストゥ語（st）	1920
スンダ語（su）	1921
スワヒリ語（sw）	1923
タミル語（ta）	2001
テルグ語（te）	2005
タジル語（tg）	2007
タイ語（th）	2008
チグリス語（ti）	2009
ツルキ語（tk）	2011
タガログ語（tl）	2012
セツワナ語（tn）	2014
トンガ語（to）	2015
トルコ語（tr）	2018
ツォンガ語（ts）	2019
タタール語（tt）	2020
トウィ語（tw）	2023
ウクライナ語（uk）	2111
ウルドゥー語（ur）	2118
ウズベク語（uz）	2126
ベトナム語（vi）	2209
ボラピュク語（vo）	2215
ウォルフ語（wo）	2315
コーサ語（xh）	2408
ユルバ語（yo）	2515
ズールー語（zu）	2621

ミュージックラック

ミュージックラックについて

ミュージックラックとは

音楽CDを本機のハードディスクに録音していろいろな方法で再生できる機能です。ミュージックラックを楽しむには、まず音楽CDを録音することから始めます。

アドバイス

- ミュージックラックには、CD約280枚分※の録音ができます。
  ※1曲が4分以内で、アルバム1枚に対して10曲収録されているCDで換算しています。

ミュージックラックに録音する

音楽用CDなどの音楽を、本機のハードディスクに録音することができます。

録音についてのご注意

録音する前にお読みください。

注意

- **録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に録音操作の確認や録音後に録音内容の確認を行ってください。**
- **本製品の故障、誤動作または不具合により、録音されなかった場合の録音内容、および消失した録音データの補償については、ご容赦ください。**
- **お客さまが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。**
- **高効率の圧縮方式を採用しているため、音源によっては原音と異なって聞こえる場合があります。またノイズが発生する可能性があります。ご容赦ください。**

CD録音の制限について

- 標準的なCD（44.1kHz、16ビットステレオのPCMデジタル音声データ）以外のCDからは録音できません。
- コピーコントロールCDの録音については保証していません。
- CDなどをデジタル録音した記録媒体（CD-Rなど）から、ミュージックラックに録音（コピー）することはできません。これは、孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム（SCMS）の働きによるものです。
- WMA/MP3/AACファイルを記録した媒体（CD-RやUSBメモリーなど）から、ミュージックラックに直接録音することはできません
- 録音中は本機の操作に時間がかかることがあります。
- ライブCDなどの曲間が途切れないCDを録音しているときにエンジンを停止したりして電源がOFFになった場合には、再生時に曲間で音が途切れる場合があります。

タイトル表示について

内蔵のGracenote®音楽認識サービス（CDDB）から情報が取得できた場合は、タイトルやアーティスト名が表示されます。

アドバイス

- CD TEXTから情報が取得できた場合は、CD TEXTの情報が優先して表示されます。
- タイトル情報に複数の候補があった場合や、タイトル情報が収録されていなかった場合は、「No Title」と表示され、自動的にNo Titleリストへ追加されます。その場合は、タイトル情報を取得しなおすと、正しいタイトルを表示させることができる場合があります。→*「タイトル情報を取得する」（P177）*
- CD再生中画面やCD録音中画面に表示されるタイトル情報は、ミュージックラックと共通のタイトル情報を使用しています。ミュージックラックでタイトル情報を編集すると、それぞれの画面のタイトルにも反映されます。
- タイトル情報は、そのディスクの曲が1曲以上ミュージックラックに録音されていないと編集できません。→*「プレイリストやトラックを編集する」（P172）*

CDを自動的に録音する

録音していないCDを再生すると、自動的にミュージックラックへの録音が開始されます。

1 録音モードを オート にする（→P167）

※出荷時は「オート」になっています。

2 録音したいCDを挿入する（→『クイックガイド』）

▼

自動的に録音が始まります。

CD録音中画面

アドバイス

- リスト画面表示中は、以下のマークがそれぞれ表示されます。
  - REC（赤）：録音中の曲を示します。
  - REC（青）：未録音の曲を示します。
  - ♪（白）：録音が完了した曲を示します。
  - ♪（青）：再生中の曲を示します。
- すべての曲の録音が完了するまで、選曲操作や特殊再生（ランダム再生など）はできません。選曲操作が必要な場合は、録音停止にタッチして録音を中止してください。
- すべての曲の録音と現在再生中のトラックの再生が終わるとCD再生画面に切り替わります。
- CDからの録音は4倍速で録音しています。録音中に再生している音はミュージックラックに録音された音になります。
- CD録音中に他のソースを楽しむことができます。他のソースに切り替えてもCDの録音は継続しています。
- 録音中は、右上に録音中のマークRが表示されます。

CDを手動で録音する

CDの中から、好みの曲だけを録音することができます。

1 録音モードを マニュアル にする（→P167）

※出荷時は「オート」になっています。

2 録音したい曲を再生する（→P142）

3 ●録音 にタッチする

「マニュアル」表示

▼

再生中の曲は始めに戻って録音が始まります。録音が終了すると、CD再生画面に切り替わります。

CDの1曲目だけを自動的に録音する

CDの1曲目だけを録音することができます。シングルCDなどを連続して録音するときに便利なモードです。

1 録音モードを シングル にする（→後記）

※出荷時は「オート」になっています。

2 録音したいCDを挿入する（→『クイックガイド』）

▼

自動的に録音が始まります。

「シングル」表示

▼

1曲目の録音が終了すると、CD再生画面に切り替わります。

録音設定

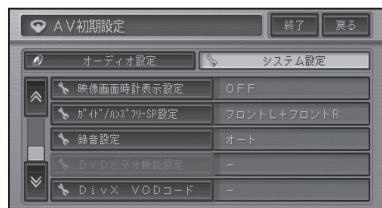
CDの録音モード（オート、マニュアル、シングル）の録音設定を行います。
工場出荷時は「オート」です。

アドバイス

• 録音中は設定できません。

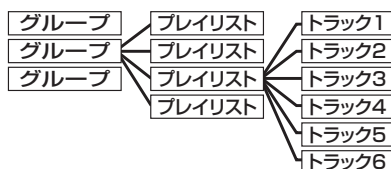
1 初期設定 ー 録音設定 にタッチする

2 項目にタッチして設定する

オート	CDを再生すると、自動的にすべての曲を録音します。
マニュアル	録音したい曲を手動で選び、録音します。
シングル	CDの1曲目だけを自動的に録音します。

ミュージックラックの聴きかた

ハードディスクに録音した音楽は、ミュージックラックというソースで聴きます。

グループ、プレイリスト、トラックについて

ミュージックラックは、次のようにグループ、プレイリスト、トラックの３つの階層で構成されています。

グループには以下のようなものがあります。

アルバムグループ	録音した曲データそのものが格納されているグループです。CD を 1 枚録音すると 1 つのプレイリストが作成されます。
アーティストグループ	タイトル情報のアーティスト名別に自動分類されたプレイリストが格納されているグループです。
ジャンルグループ	録音されたトラックのジャンル情報別に自動分類されたプレイリストが格納されているグループです。
お好みグループ	ユーザーが好みに応じて作成したお好みの曲順プレイリストが格納されているグループです。

再生する

ミュージックラックに録音した曲を再生します。

1 ソースを MUSIC RACK にする（→P128）

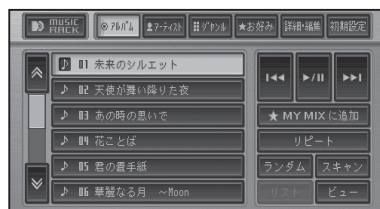
▼

前回再生していたトラックが再生されます。

2 リスト にタッチする

▼

トラックリストが表示されます。

3 聴きたい曲（トラック）にタッチする

アルバム、アーティスト、ジャンル、お好み	それぞれのグループのプレイリストを表示
詳細・編集	再生中のプレイリストやトラックの詳細情報を表示や編集（→P172）
⏮、⏭	トラック操作
⏮、⏭（タッチし続ける）	早戻し / 早送り
▶/II	一時停止 / 再生
MY MIX に追加（2 秒以上タッチする）	お好みグループのマイミックスへの登録（→ P171）

操作ボタンで操作する場合：

[⏮ TUNE ⏭]を押す	トラックを順に送る
[⏮ TUNE ⏭]を長く押す	プレイリストのアップ／ダウン

アドバイス

- 再生を中止するにはソースをOFFにします。（→P128）

いろいろな再生操作

いろいろな再生操作をすることができます。

■リピート再生

リピートして、その間を繰り返し聴くことができます。例えば、リピートをトラックリピートにすると再生中のトラックを繰り返し聴くことができます。

1 リピート にタッチする

▼

タッチするごとに、リピートの範囲が以下のように切り替わります。

GROUP REPEAT → TRACK REPEAT → PLAYLIST REPEAT →GROUP REPEATに戻る

GROUP REPEAT	通常の再生状態です。再生中のグループを繰り返します。
TRACK REPEAT	再生中のトラックを繰り返します。
PLAYLIST REPEAT	再生中のプレイリストを繰り返します。

アドバイス

- リピート再生中にリピートの範囲を越える操作を行うと、リピート再生が中止される場合があります。
- TRACK リピート再生中に、ランダム再生、スキャン再生を行うと、リピート範囲はPLAYLIST REPEATに切り替わります。
- 通常再生であるGROUP REPEATは、情報表示画面に表示されません。

■ランダム再生

選んだリピートの範囲（→前記）で、トラックの再生順を変えて再生することができます。

1 ランダム にタッチする

▼

タッチするごとに、ランダム再生のON/OFFが切り替わります。

アドバイス

- リピートの範囲がTRACK REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピートの範囲はPLAYLIST REPEATに自動的に切り替わります。
- ランダム再生中にその他の再生操作（リピート再生、スキャン再生など）やリピートの範囲を越える操作（プレイリストの切り替えなど）を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

■スキャン再生

選んだリピートの範囲（→P169）で、各トラックや各プレイリストの先頭曲の演奏開始部分を約10秒間ずつ聞くことができます。

1 スキャンにタッチする

▼

タッチするごとに、スキャンのON/OFFが切り替わります。

アドバイス

- 聴きたいトラックまたはプレイリストが再生されたら、もう一度**スキャン**にタッチします。
- スキャン再生を始めたトラックまで戻ると、スキャン再生は解除されます。
- スキャン再生中にその他の再生（リピート再生、ランダム再生など）やリピートの範囲を越える操作（プレイリストの切り替えなど）を行うと、スキャン再生が中止される場合があります。

お好みプレイリスト

アルバム、アーティスト、ジャンル、お好み（MY MIXを除く）の各グループのプレイリストから、曲（トラック）を選んで編集し、お好みのプレイリストを作成することができます。お好みプレイリストには、再生中の曲をワンタッチで登録できる「マイミックス」と、トラックやプレイリストの詳細情報画面から曲を登録する「お好みプレイリスト（1～4）」があります。

マイミックスにトラックを追加する

再生中に、気に入った曲（トラック）を、マイミックスというプレイリストにワンタッチで登録することができます。登録した曲は、好きなときに呼び出して聴くことができます。

1 再生中に ★ MY MIX に追加 に2秒以上タッチする

▼

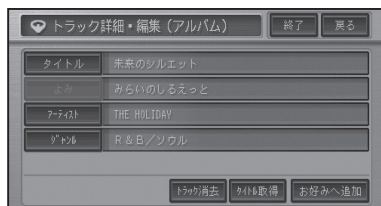
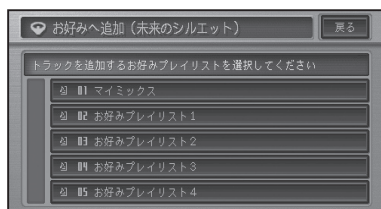
再生中の曲が、マイミックスに登録されます。

アドバイス

- マイミックスには99トラックまで登録することができます。

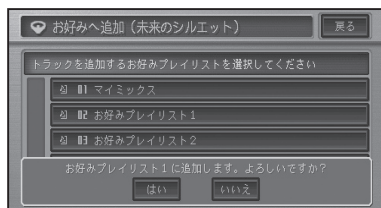
お好みプレイリストにトラックを追加する

お好みのトラック（曲）だけを集めて、1つのプレイリストに登録することができます。登録するプレイリストは、マイミックス以外に4つのプレイリストが用意されています。登録した曲は、好きなときに呼び出して聴くことができます。

1 トラックやプレイリスト詳細情報画面（→P172）で お好みへ追加 にタッチする

2 追加するプレイリスト（1～4）またはマイミックスにタッチする

アドバイス

- プレイリスト詳細画面（→P172）から お好みへ追加 にタッチした場合は、登録するトラックを選ぶ画面が表示されます。

3 はい にタッチする

▼

選んだトラックが、お好みプレイリストに登録されます。

アドバイス

- 1つのプレイリストには99トラックまで登録することができます。

プレイリストやトラックを編集する

ミュージックラックに録音した曲やお好みで作成したプレイリストの編集や削除をすることができます。

詳細・編集画面を表示する

再生中のプレイリストやトラックの詳細情報を表示して、タイトルなどを編集することができます。

■プレイリストの詳細・編集画面を表示する

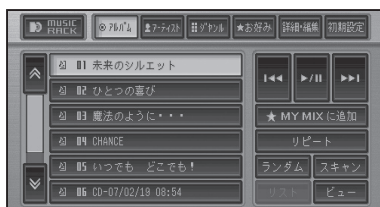
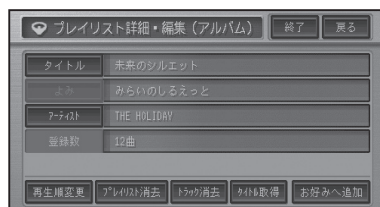
1 編集したいプレイリスト内のトラックを再生する

2 アルバム にタッチする

▼

再生中のプレイリストが選択された状態で、リストが表示されます。

3 詳細・編集 にタッチする

▼

プレイリストの詳細・編集画面が表示されます。
（選んだグループによって、表示される内容は異なります。）

タイトル	選んだプレイリストのタイトルを変更します。（→P174）
アーティスト	選んだプレイリスト内のアーティスト名をすべて変更します。（→P174）
登録数	選んだプレイリストに登録されているトラック数が表示されます。
再生順変更	プレイリストの再生順を変更します。（→P173）
プレイリスト消去	選んだプレイリストを消去します。（→P174）
トラック消去	選んだプレイリストの中からトラックを選んで消去します。（→P175）
タイトル取得	アルバムグループのプレイリスト内トラックのタイトル情報を取得します。（→P177）
お好みへ追加	選んだプレイリストの中からトラックを選んでお好みプレイリストに登録します。（→P171）

アドバイス

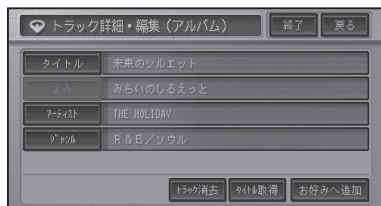
- アーティストグループ、ジャンルグループ内のプレイリストは、編集できません。
- トラック消去は、アルバムグループおよびお好みグループ内のプレイリスト再生中に編集できます。

■トラックの詳細・編集画面を表示する

1 編集したいトラックを再生する

2 詳細・編集 にタッチする

▼

トラックの詳細･編集画面が表示されます。

タイトル	選んだトラックのタイトルを変更します。（→ P174）
アーティスト	選んだトラックのアーティスト名のみ変更します。（→ P174）
ジャンル	選んだトラックのジャンルを変更します。（→ P175）
再生順変更	選んだお好みグループ内のトラックの再生順を変更します。
トラック消去	選んだトラックを消去します。
タイトル取得	アルバムグループのプレイリスト内トラックのタイトル情報を取得します。（→ P177）
お好みへ追加	選んだトラックをお好みプレイリストに登録します。（→ P171）

アドバイス

- 再生順変更 は、お好みグループ内のトラックを再生中に操作できます。
- タイトル取得 は、アルバムグループ内のトラックを再生中に操作できます。

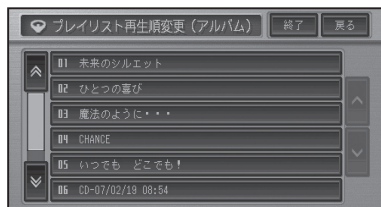
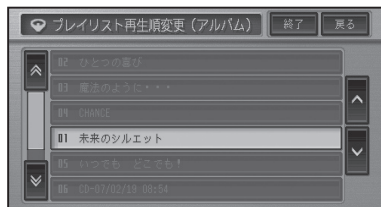
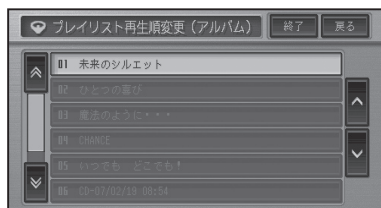
■プレイリストの再生順を変更する

アルバム、お好みの各グループに登録されているプレイリストの再生順を変更します。

アドバイス

- アーティストグループやジャンルグループは再生順を変更できません。

1 プレイリスト詳細・編集画面（→ P172）で 再生順変更 にタッチする

2 順番を変更したいプレイリストにタッチする

3 ∧ / ∨ にタッチして、移動先を決める

▼

4 終了 にタッチする

アドバイス

- 戻る にタッチすると引き続き他の情報を編集することができます。

■プレイリストまたはトラックのタイトルを変更する

プレイリストまたはトラックのタイトルを変更します。ここで変更したタイトルはCDやミュージックラックの再生画面に表示されます。

1 プレイリスト詳細・編集画面(→P172)で タイトル にタッチする

2 文字を入力して入力終了にタッチする

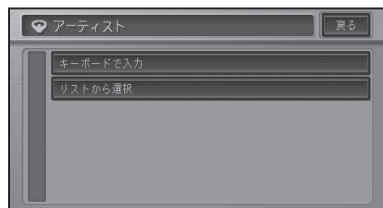
▼

詳細・編集画面に戻ります。

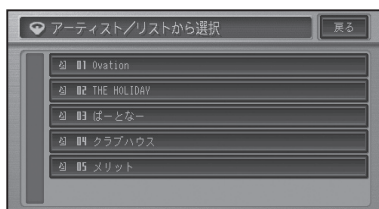
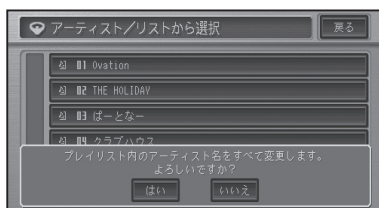
■プレイリストまたはトラックのアーティスト名を変更する

アルバムグループ内のプレイリストまたはトラックのアーティスト名を変更します。

1 プレイリスト詳細・編集画面(→P172)でアーティストにタッチする

2 リストから選択にタッチする

アドバイス

- キーボードで入力にタッチすると文字入力画面になり、名称をキーボードで入力できます。

3 アーティストにタッチする

4 はいにタッチする

アドバイス

- トラック詳細情報画面(→P173)でアーティストにタッチした場合は、前記画面は表示されません。

▼

詳細・編集画面に戻ります。

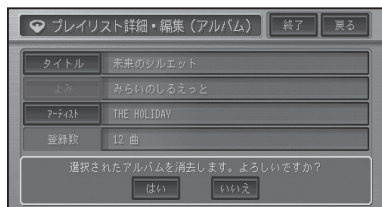
■グループからプレイリストを消去する

アルバムグループに登録されているプレイリストを消去します。

アドバイス

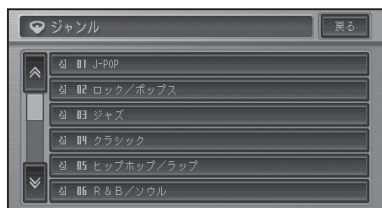
- アルバムグループのプレイリストを消去すると、録音した曲そのものが消去されますのでご注意ください。また、消去したトラックおよびプレイリストがお好みグループ内で登録されていた場合は、そのトラックも同時に消去されます。

1 プレイリスト詳細・編集画面(→P172)でプレイリスト消去にタッチする

2 はいにタッチする

■トラックのジャンルを変更する

1 トラック詳細・編集画面（→P173）でジャンルにタッチする

2 ジャンルにタッチする

▼

トラック詳細・編集画面に戻ります。

■プレイリストからトラックを消去する

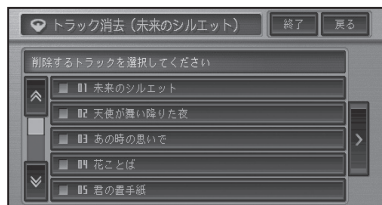
アルバムグループ、お好みグループのプレイリスト内のトラックを消去します。
消去するプレイリストの種類により、消去されるデータが異なります

アルバムグループのトラック	ユーザーが録音した曲データが消去されます。
お好みグループのトラック	ユーザーが作成した曲順データが消去されます。

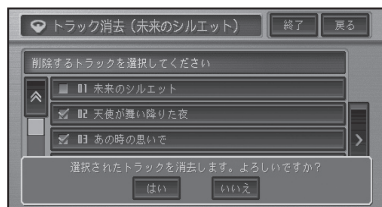
アドバイス

- アルバムプレイリストのトラックを消去すると、録音した曲そのものが消去されますのでご注意ください。また、消去したトラックがお好みグループ内で登録されていた場合は、そのトラックも同時に消去されます。
- アーティストグループ、ジャンルグループからプレイリスト内のトラックは消去できません。

1 プレイリスト詳細・編集画面（→P172）でトラック消去にタッチする

2 消去したいトラックにタッチする

アドバイス

- ＞にタッチしてサブメニューを表示すると、全選択が表示されすべての曲を選択することができます。選択を解除するには、全解除または解除したい曲にタッチします。

3 終了－はいにタッチする

■お好みプレイリストのトラック再生順を変更する

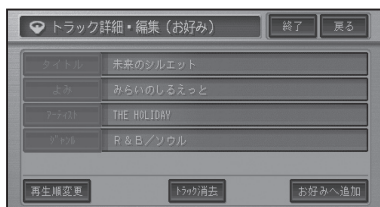
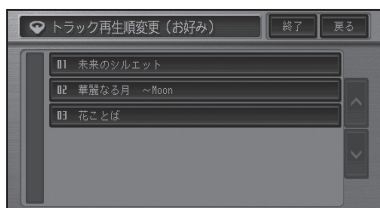
お好みプレイリスト内のトラックの再生順を変更します。

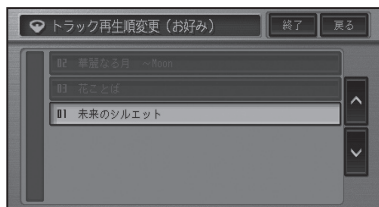
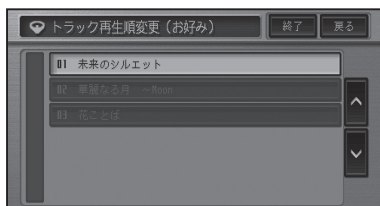
アドバイス

- アルバムプレイリストやアーティスト、ジャンルのプレイリストは、再生順を変更することはできません。

1 編集したいお好みプレイリストのトラックを再生する

2 詳細・編集 にタッチする

3 再生順変更 にタッチする

4 順番を変更したいトラックにタッチする

5 ∧ / ∨ にタッチして、移動先を決める

▼

6 終了 にタッチする

アドバイス

- 戻る にタッチすると引き続き他の情報を編集することができます。

タイトル情報を取得する

ハードディスク内のGracenote® 音楽認識サービス（CDDB）にタイトル情報が見つからなかったときは、インターネットからタイトル情報を取得することができます。

アドバイス

- 通信でタイトル情報の取得を行うには、本機に携帯電話が接続されており、インターネットに接続可能な状態である必要があります。→「通信接続設定」(P81)
- パーソナル・ホームページでタイトル情報の取得を行うには、インターナビ・プレミアムクラブへの入会と会員登録などが必要です。詳しくは、『インターナビ・プレミアムクラブ編』をご覧ください。

タイトル情報について

取得したタイトル情報は、CDやミュージックラックの再生画面などに表示されます。

■取得できる情報

CDまたは曲によっては取得できない情報もあります。

- アルバムタイトル
- アルバムタイトルのよみ
- アルバムのアーティスト
- トラックタイトル
- トラックタイトルのよみ
- トラックのアーティスト
- トラックのジャンル

アドバイス

- タイトル情報は、ハードディスクから探します。見つからないときは通信から探すこともできます。
- インターネットから取得したタイトル情報はハードディスクに保存されます。

■No Title 表示について

CDに「No Title」、ミュージックラックに録音された日付・時刻（例：CD-09/10/15 21:23）と表示された場合は、次のことが考えられます。

- **タイトル情報が見つからなかった**
- **タイトル情報が複数候補あった**

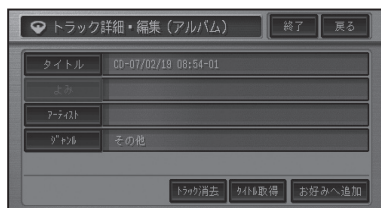
タイトル情報が複数候補あった場合は、タイトル情報の取得を行うと、複数のタイトルの中から選択することができます。

タイトル情報を取得する

タイトル情報の取得は、本機のGracenote® 音楽認識サービス（CDDB）から検索されます。取得したタイトル情報が別のものだった場合や該当する情報が無かった場合は、通信やメモリーデバイスを使ってタイトル情報を取得することができます。

■トラックを選んでタイトル情報を取得する場合

1 タイトルを取得したいアルバムグループ内のトラックの詳細情報画面（→P173）を表示する

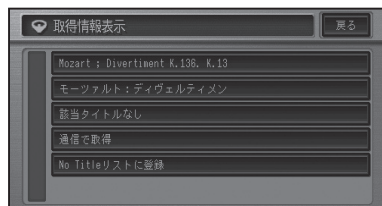
2 タイトル取得 にタッチする

▼

自動的に情報の検索が開始されます。

つづく→

アドバイス

- タイトルが取得できた場合は、取得情報表示画面が表示されます。

3 取得したタイトルにタッチする

該当タイトルなし	トラック詳細情報画面に戻ります。
通信で取得	通信でタイトル情報を取得します。
No Title リストに登録	No Title リストに登録します(→ P179)。

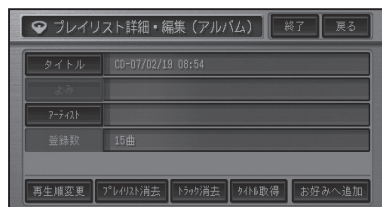
アドバイス

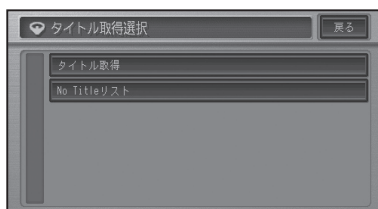
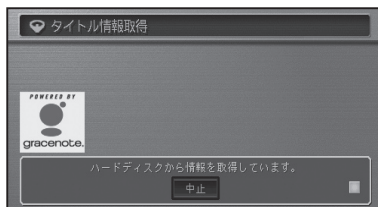
- 通信で情報を取得した場合、通信の状態および検索サーバの状況によっては情報の取得に失敗することがあります。

4 終了にタッチする

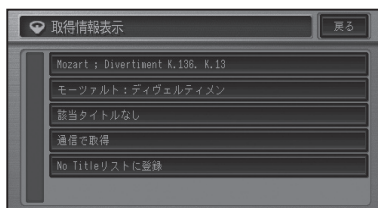
■プレイリストを選んでタイトル情報を取得する

1 タイトルを取得したいアルバムグループ内のプレイリストの詳細情報画面(→P172)を表示する

2 タイトル取得にタッチする

3 タイトル取得にタッチする

▼

自動的に情報の検索が開始されます。

アドバイス

- タイトルが取得できた場合は、取得情報表示画面が表示されます。

4 取得したタイトルにタッチする

該当タイトルなし	プレイリスト詳細情報画面に戻ります。
通信で取得	通信でタイトル情報を取得します。
No Title リストに登録	No Title リストに登録します(→ P179)。

アドバイス

- 通信で情報を取得した場合、通信の状態および検索サーバの状況によっては情報の取得に失敗することがあります。

5 終了にタッチする

No Title リストのタイトル情報を取得する

No Title リストに登録されたプレイリストやトラックのタイトル情報を、通信やメモリーデバイスを使って取得することができます。

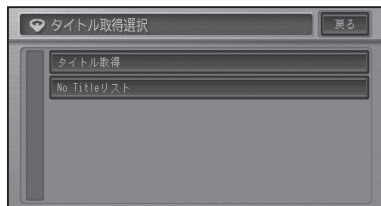
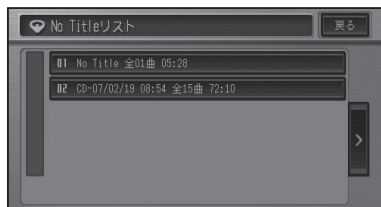
■No Title リストを表示する

1 アルバムグループ内のプレイリストの詳細情報画面（→P172）を表示する

（→P172）

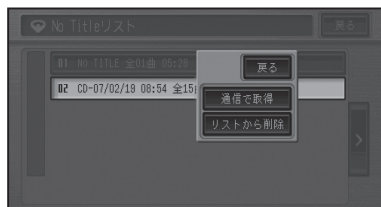
2 タイトル取得 にタッチする

3 No Title リスト にタッチする

▼

No Title リスト画面が表示されます。

■通信で取得する

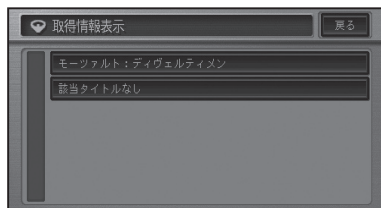
1 No Titleリスト画面（→前記）でタイトル情報を取得したいプレイリストやトラックにタッチする

2 通信で取得 にタッチする

▼

自動的に情報の検索が開始されます。

アドバイス

- タイトルが取得できた場合は、取得情報表示画面が表示されます。
- ＞ － 通信で一括取得 にタッチすると、No Title リストの全てのプレイリストやトラックについて、タイトル情報を通信で取得することができます。

3 取得したタイトルにタッチする

4 終了 にタッチする

アドバイス

- 通信の状態および検索サーバの状況によっては情報の取得に失敗することがあります。

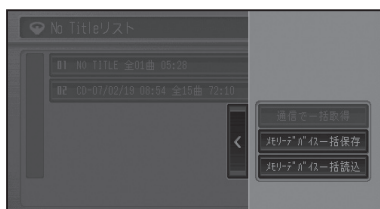
■メモリーデバイスを使って取得する

ご自宅のパソコンから、パーソナル・ホームページに接続してタイトル情報を取得することができます。

アドバイス

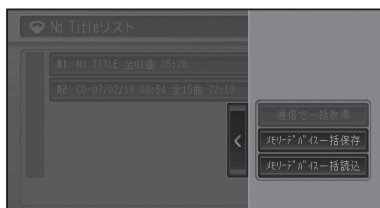
・メモリーデバイスを使ってタイトル情報を取得する方法について、詳しくはパーソナル・ホームページをご覧ください。

1 No Titleリスト画面(→P179)で >－メモリーデバイス一括保存 にタッチする

▼

メモリーデバイスへNo Titleリストを書き出します。

2 No Titleリストを書き出したメモリーデバイスをパソコンに接続し、パーソナル・ホームページからタイトル情報を取得する

3 メモリーデバイスを本機に接続し、No Titleリスト画面(→P179)で >－メモリーデバイス一括読込 にタッチする

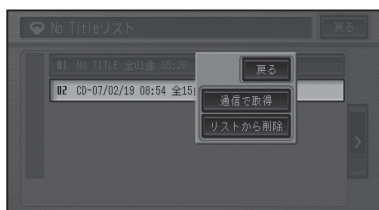
▼

メモリーデバイス内のタイトル情報を取得します。

No Titleリストの登録を解除する

No Titleリストの登録を解除することができます。

1 No Titleリスト画面(→P179)で登録を解除したいプレイリストやトラックにタッチする

2 リストから削除 にタッチする

▼

選んだプレイリストやトラックがNo Titleリストから削除されます。

アドバイス

・ここでは、No Titleリストの登録を解除するのみで、曲そのものを削除することはできません。

その他の機器

ビデオなどを見る

別売のVTRコードを使って本機にビデオなどの映像を表示したい場合は、次のような操作をしてください。

ビデオなどの見かた

ソースをVTRに切り替えて、ビデオなどの映像を見ます。

注意

- **停車中またはパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。安全のため走行中は、モニターに映像が表示されません。**

1 ソースをVTRにする(→P128)

ビデオの映像が表示されます。

アドバイス

- 接続する機器により、別売の各種変換コードが必要になる場合があります。
- ビデオ機器からの入力信号が大きい場合、音が歪む場合があります。この場合、接続した機器側で音量を調整してください。
- 接続した機器により、映像が正常に表示されない場合があります。

AV初期設定

AV 初期設定のしかた

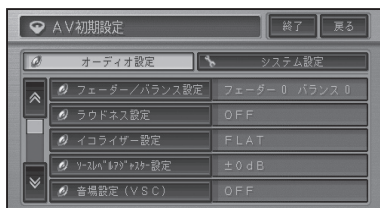
お好みに合わせてオーディオの音などを調節（→「オーディオ設定」（本頁））したり、本機のいろいろな機能を使うための基本的な設定（→「システム設定」（P187））をすることができます。

AV 初期設定画面を表示する

1 AVソース画面で 初期設定 にタッチする

▼

AV 初期設定画面が表示されます。

2 各項目を選び、設定を行う

アドバイス

- AV 初期設定画面を操作中に、音声案内、ハンズフリー通話などがあった場合は、各種設定はできません。ただし、消音設定がOFFに設定されている場合は、各種設定を行うことができます。
- 走行中は操作できない設定項目があります。

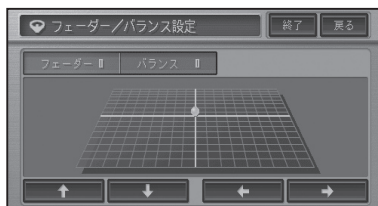
オーディオ設定をする

本機の音に関する設定を行います。

■フェーダー / バランス設定

前後左右の音量バランスを調節することができます。

1 AV 初期設定画面（→本頁）で フェーダー / バランス設定 にタッチする

2 ↑、↓、←、→ にタッチして前後左右のバランスを調節する

カーソルの位置で前後の音のバランスを確認できます。

■ラウドネス設定

小さな音量で聞いているときに、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。
工場出荷時は「OFF」です。

1 AV 初期設定画面（→本頁）で ラウドネス設定 にタッチする

2 ON にタッチする

ラウドネスを働かせない場合は、OFF を選びます。

3 ＜ または ＞ でLOW/MID/HIGH から設定する

■イコライザー設定

あらかじめ用意された5つの設定（ファクトリーカーブ）とお好みで調節した設定（CUSTOM）からイコライザーカーブを選ぶことができます。
工場出荷時は「FLAT」です。

アドバイス

- 設定した調節値は、ミュージックラックへの録音には反映されません

1 AV 初期設定画面（→P184）で イコライザー設定 にタッチする

2 お好みの設定にタッチする

▼

タッチするごとにイコライザーカーブが切り替わります。

SUPER BASS、POWERFUL、NATURAL、VOCAL、FLAT	各設定のカーブを微調整します。（→ P186）
CUSTOM1、CUSTOM2、	お好みに合わせて調整した内容をそれぞれに記憶できます。

アドバイス

- FLAT は、何の補正もしません。
- CUSTOM1 はソースごとに記憶されますが、同じ設定になるものは以下の通りです。
  - FM、AM
  - CD、ROM、DivX
- CUSTOM2 は、各ソース共通の設定で記憶されます。
- CUSTOM2 以外のカーブを選んでいるときにレベル調節すると、CUSTOM1 に記憶されます。
- CUSTOM2 のカーブを選んでいるときに、レベル調節すると、CUSTOM2 に記憶されます。
- 交通情報を受信しているときは、調節できません。
- 詳細設定 にタッチすると、CUSTOM 用のイコライザーカーブ詳細設定（→P186）に切り替わります。

イコライザーカーブを細かく調節する

お好みに合わせてイコライザーカーブの周波数、レベル、Q調整値をバンドごとに調節することができます。
ここで調節した設定はCUSTOM1に登録されます。

1 イコライザー設定画面（→P185）で調節するカーブにタッチする

2 詳細設定 にタッチする

3 バンドの < または > にタッチして、調整するバンド（音域）を選ぶ

低音域	40Hz、80Hz、100Hz、160Hz
中音域	200Hz、500Hz、1kHz、2kHz
高音域	3.15kHz、8kHz、10kHz、12.5kHz

4 周波数、レベル、Q調整値の < または > にタッチして、それぞれを調節する

「周波数」：
1ステップずつ切り替わります。
「レベル」：
－12dB ～ ＋12dB の間で調節できます。
「Q 調整」：
NARROW2、NARROW1、WIDE1、WIDE2 から選択できます。

■ソースレベルアジャスター設定

ソースを切り替えたときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の差をそろえることができます。
工場出荷時は「0dB」です。

アドバイス

- FMの音量を基準に他のソースとの音量を調節するため、FMを聞いているときは、ソースレベルアジャスターを設定することはできません。
- ソースごとに記憶されますが、同じ設定になるものは以下の通りです。
  - ・CD、ROM、DivX
  - ・AM、交通情報

1 AV 初期設定画面（→P184）で ソースレベルアジャスター設定 にタッチする

2 ＋ または － にタッチする

アドバイス

- －8dB ～＋8dBの範囲で2dBごとに調節できます。

■音場設定（VSC）

お好みの音場をリアルに再現することができます。

1 AV 初期設定画面（→P184）で 音場設定（VSC） にタッチする

2 音場を選ぶ

OFF、MUSIC STUDIO、DYNAMIC THEATER、ACTOR'S STAGE、RELAX LIVINGから設定できます。

アドバイス

- 中音域を強調するRELAX LIVINGは、最大音量付近では効果を得られません。

ポジションを設定する

音場の再現の中心となるポジションを設定することができます。

アドバイス

- 音場設定をOFFに設定すると、リスニングポジションの効果も無効になります。

1 ポジション にタッチする

2 ポジションを選ぶ

LEFT、CENTER、RIGHTから設定できます。

システム設定をする

本機の動作環境の設定を行います。

■ワイドモード

映像系ソースの画面表示のモードを設定します。

詳しくは、*「ワイド画面の拡大方法を切り替える」（→P192）*に記載しています。

工場出荷時は「FULL」です。

■消音タイミング

音声案内、ハンズフリー通話の着信などの場合に、一時的にオーディオの音量を絞ったり、消したりして音声を聞き取りやすくすることができます。

工場出荷時は「電話」です。

1 AV初期設定画面（→P184）で システム設定（タブ）－ 消音タイミング にタッチする

2 消音タイミングを設定する

ガイド・電話	音声案内やハンズフリー通話の着信時にオーディオの音量を下げます。
電話	ハンズフリー通話の着信時にオーディオの音量を下げます。
OFF	オーディオの音量を下げません。

はじめに
オーディオ基本操作
放送受信
音楽ディスク
映像ディスク
ミュージックラック
その他の機器
AV初期設定
その他の機能
付録

■消音レベル

消音タイミングの音量を下げるレベルを設定します。
工場出荷時は「－20dB」です。

1 AV初期設定画面（→P184）で システム設定（タブ）－ 消音レベル にタッチする

2 消音レベルを設定する

－10dB	音量が 1/3 になります。
－20dB	音量が 1/10 になります。
MUTE	音量が 0 になります。

■ナビ画面リアモニター出力

リアモニターと組み合わせた場合にソースがOFFまたは音声系ソース（CD、WMA/MP3/AAC、ミュージックラックなど）のとき、リアモニターにナビゲーション画面を表示するかしないかを設定します。
工場出荷時は「OFF」です。

1 AV初期設定画面（→P184）で システム設定（タブ）－ ナビ画面リアモニター出力 にタッチする

2 ON または OFF にタッチする

アドバイス

• リアモニター出力はコンポジット信号のため、リアモニターに表示されるナビゲーション及びオーディオ画面は、本機のモニターに表示される映像と比べて劣化します。また、その程度は接続されるモニターによっても異なります。

■映像画面時計表示設定

テレビやDVDなどの映像画面に時計を表示するかしないかを設定します。
工場出荷時は「OFF」です。

1 AV初期設定画面（→P184）で システム設定（タブ）－ 映像画面時計表示設定 にタッチする

2 ON または OFF にタッチする

OFF にタッチすると、映像画面に時計を表示しません。

■ガイド/ハンズフリーSP設定

ナビゲーションの音声案内やハンズフリー通話の受話音などを、どのスピーカーから出力するかを設定します。
工場出荷時は「フロントL＋フロントR」です。

1 AV初期設定画面（→P184）で システム設定（タブ）－ ガイド/ハンズフリーSP設定 にタッチする

2 スピーカーにタッチする

フロントL	フロント左側から出力します。
フロントR	フロント右側から出力します。
フロントL＋フロントR	フロント左右から出力します。

■録音設定

ミュージックラックへの録音方法を設定します。詳しくは、*「ミュージックラックに録音する」(→P165)*に記載しています。

■DivX VODコード

DivX VODとは、「DivX Video On Demand(ビデオオンデマンド)」の略です。
DivX VODファイルを再生する場合、そのDivX VODファイルの配信先に対して、本機の登録コードが必要な場合があります。そのような場合に、本機の登録コードを確認できます。

アドバイス

- DivX VODファイルは、DRMコピープロテクションがかかっています。DivX VODファイルは、登録されたプレーヤーでのみ再生ができます。
- 本機の登録コードが承認されていないDivX VODファイルを再生すると、警告メッセージが表示され、再生できません。
- DivX VODファイルには、視聴回数が設定されているものがあります。そのようなDivX VODファイルを本機で再生すると残りの視聴可能回数が表示されます。残りの視聴可能回数が0になったファイルを本機に挿入すると警告メッセージが表示され、再生できません。
- 視聴回数の設定されていないDivX VODファイルは、何度でも再生できます。

1 ソースをDVD/CD/ROM(WMA/MP3/AAC)/DivXにする(→P128)

2 AV初期設定画面(→P184)で システム設定(タブ)− DivX VODコード にタッチする

▼

レジストレーションコードが表示されます。

はじめに
オーディオ基本操作
放送受信
音楽ディスク
映像ディスク
ミュージックラック
その他の機器
AV初期設定
その他の機能
付録

その他の機能

画面を設定する

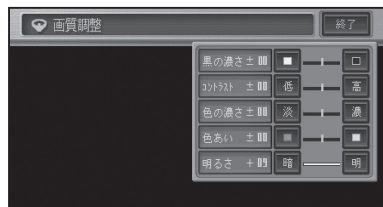
画質を調整する

周囲の明るさや見る角度、映像に合わせて「黒の濃さ」、「コントラスト」、「色の濃さ」、「色合い」、「明るさ」を調整することができます。

アドバイス

- 車のライトに連動して昼と夜の設定を自動的に切り替えます。
- 「黒の濃さ」および「コントラスト」の設定は、昼と夜で別々に設定記憶できます。
- 設定内容は、次の画面および映像ごとに別々に設定記憶できます。
  - CD/WMA/MP3/AACの４画面/AM/FM/交通情報
  - MUSIC RACK
  - DVD-V/DivX映像
  - ワンセグ映像
  - フロント/コーナーカメラ映像
  - リアカメラ映像
  - ナビ画面
  - VTR映像
- コーナーカメラ映像の画質調整を行う場合は、「ガイドのON/OFF」を設定できます。
- リアカメラ映像の画質調整を行う場合は、「ガイドのON/OFFと、コーション（注意文）の上下位置設定」を設定できます。
- 走行中は操作できません。

1 調整したい映像の表示画面で、SOURCEを２秒以上押す

2 調整したい項目の左右のタッチキーにタッチして調整する

黒の濃さ	
□（白）	薄くなる
■（黒）	濃くなる

コントラスト（明暗）	
低	白黒の差が小さくなる
高	白黒の差が大きくなる

色の濃さ	
淡	薄くなる
濃	濃くなる

色合い	
■（赤）	赤が強くなる
■（緑）	緑が強くなる

明るさ	
暗	暗くなる
明	明るくなる

3 終了 にタッチする

ワイド画面の拡大方法を切り替える

DVDやワンセグおよびVTR（ビデオなど）の映像は、通常の映像を、ワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

アドバイス

- 通常映像は縦横比４：３、ワイド映像は縦横比16：９です。
- DVD/DivX、ワンセグ、VTRで設定内容が別々に記憶されます。
- ナビゲーションや音声系ソース（CD、WMA/MP3/AAC、ミュージックラックなど）、リアカメラ、フロント/コーナーカメラの設定画面は、ワイドモードの切り替えはできません。

1 ソースを切り替える（→P128）

2 AV初期設定画面（→P184）で システム設定（タブ）– ワイドモード設定 にタッチする

3 お好みの表示方法を選ぶ

それぞれの表示の説明は、*「ワイドモードの種類」(→後記)*を参照してください。

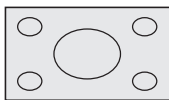
アドバイス

- 通常のテレビ放送の番組でズーム、ノーマル以外の、映像の縦横比が異なるモードを選ぶと、本来の映像と見えかたに差がでます。
- シネマ、ズームで映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り替え機能を利用すると（フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

4 終了 にタッチする

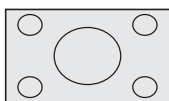
■ワイドモードの種類

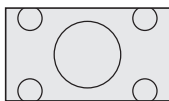
FULL（フル）

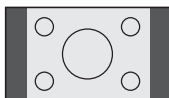
4：3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。

JUST（ジャスト）

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。

CINEMA（シネマ）

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。

ZOOM（ズーム）

4：3の映像を上下、左右とも同じ比率で拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶって表示されるものに適しています。

NORMAL（ノーマル）

4：3の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。

リアモニターを組み合わせる

本機のリアモニター出力端子に後部座席用モニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。

リアモニターに表示される映像について

- リアモニターには、ワンセグ、DVD、DivX、VTR の映像が表示されます。リアカメラ、フロント/コーナーカメラの映像は表示されません。
- リアモニターは、走行中/停車中に関係なく映像が表示されます。

注意

- **リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない場所に設置してください。**

アドバイス

- リアモニター出力はコンポジット信号のため、リアモニターに表示される映像は、本機のモニターに表示される映像と比べて不鮮明になります。また、その程度は接続されるモニターによっても異なります。

タッチパネルのタッチ位置を調整する

画面のタッチキーと実際に反応するタッチ位置にずれを感じたときなどに、調整することができます。（タッチパネルキャリブレーション）
調整には画面四隅で行う４点調整と、画面全体で詳細に行う16点調整があります。

注意

- 必ず付属のタッチパネル用調整ペンを使用して画面に軽く触れてください。タッチパネルを強く押すとタッチパネルが破損することがあります。また、ボールペンやシャープペンなどの先の尖った物は使用しないでください。

アドバイス

- タッチパネル調整を途中で終了する場合は、SOURCEを長く押してください。ナビゲーションの画面に戻ります。

1 SOURCE を２秒以上押す

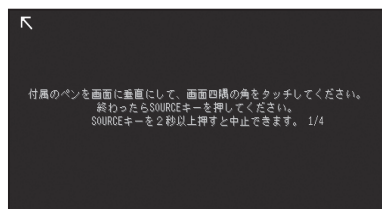
▼

画質調整画面(→P192)が表示されます。

2 SOURCE を５秒以上押す

▼

タッチパネル調整画面が表示されます。

3 画面の四隅にタッチする

4 SOURCE を押す

▼

調整結果が保存されます。

アドバイス

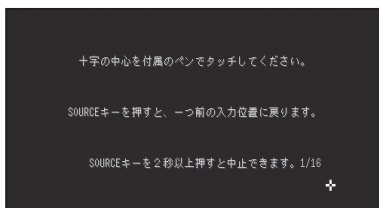
- 保存中はエンジンを切らないでください。
- ４点調整で終了する場合は、SOURCEを長く押すと、ナビゲーションの画面に戻ります。

5 もう一度 SOURCE を押す

▼

16点調整に進みます。

6 画面に表示される+マークの中心にタッチする

▼

全てタッチすると調整結果が保存されます。

アドバイス

- 保存中はエンジンを切らないでください。
- １つ前の調整に戻るには、SOURCEを押してください。
- 調整を取り止めるには、SOURCEを長く押してください。

7 SOURCE を長く押す

▼

調整を終了し、ナビゲーション画面に戻ります。

アドバイス

- タッチパネル調整が正しく実施できない場合は、販売店にご相談ください。

付録

再生できるディスクの種類

下表のマークはディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ / 再生面	最大再生時間
DVDビデオ DVD VIDEO	DVDビデオ 12cm/片面 1層 2層 12cm/両面 1層 2層	(MPEG 2方式) 133分 242分 266分 484分
	DVDビデオ 8cm/片面 1層 2層 8cm/両面 1層 2層	(MPEG 2方式) 41分 75分 82分 150分
CD COMPACT disc DIGITAL AUDIO　COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT	CD 12cm/片面	74分
	CDシングル 8cm/片面	20分

本機で再生できるのは、上記に記載されているマークの付いたディスクのみです。

アドバイス

- DVDオーディオディスクは再生できません。
- DVDビデオディスクでも、リージョン番号が異なるディスクは再生できません。
- DVDビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合や再生できない場合があります。
- ビデオフォーマット（ビデオモード/VRモード）で記録したDVD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機では再生できない場合があります。
- CD-Extraは、音楽CDとして再生することができます。
- コピーガード機能付きCD（Copy Control CDなど）は正式なCD規格に準拠していないため、再生できない場合があります。
- 音楽用CDレコーダーで録音したもの以外のCD-R/RWディスクは、正常に再生できない場合があります。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかる場合があります。
- ファイナライズしていないCD-R/RWディスクは、再生できない場合や再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。
- CD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- DDCD（Double Density CD）形式で録音されたCD-R/RWディスクは再生できません。
- 音楽用CDレコーダーで録音した音楽用CD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- PC（パソコン）で記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。（詳細についてはアプリケーションソフト発売元にお問い合わせください。）

「DualDisc」の再生について

- 「DualDisc」は、片面に DVD 規格準拠の映像やオーディオが、もう片面に CD 再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- 「DualDisc」の DVD の面は再生可能です。
- DVD 面ではないオーディオ面は、一般的な CD の物理的規格に準拠していないために再生できないことがあります。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入をしたり、取り出しをしたりするときに再生面の反対側の面に傷がつく場合があります。傷が付いた面は再生すると不具合がでる場合があります。
- ディスクを取り出せないといった不具合が起こる可能性がありますので「DualDisc」はご使用にならないでください。
- 「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

DVD に表示されているマークの意味

DVDディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
②))	音声の数
2	字幕の数
3	アングルの数
16 : 9 LB	画面サイズ (アスペクト比：横と縦の比率)の種類
2 ALL	再生可能な地域番号(リージョン番号) 本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生することができます。

ディスクの操作について

DVD では、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル/チャプターの構成上リピートなど一部の操作ができないことがあります。
このような場合、本機では画面に「禁止マーク」が表示されます。
ディスクによっては、表示されないこともあります。

禁止マーク

付録

ディスクの構成について

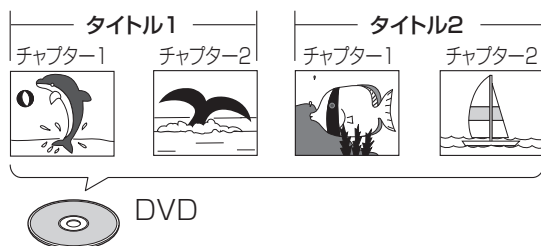
DVDビデオ

DVDビデオでは内容をタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。

■映画など

1つの作品が1つのタイトルとなっており、場面ごとにチャプターで分けられています。

■カラオケディスク

1曲が1タイトルとなっています。

アドバイス

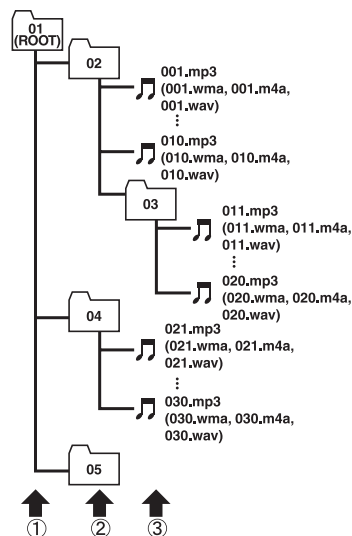
- 上記のような構成（区切りのしかた）になっていないディスクもありますので、サーチ機能を使用する際は、構成の違いにご注意ください。

CD

CDは、ディスクをトラックという単位で分けています。
一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。

WMA/MP3/AAC/DivX ファイルについて

フォルダーとWMA/MP3およびAACファイルについて

- WMA/MP3/AAC ファイルを収録したCD-R/CD-RW/CD-ROM のイメージは下図のようになります。

- 本機はWMA/MP3/AAC ファイルが記録されたDVD-R/DVD-RW/CD-R/CD-RW/CD-ROM（CD-ROM モードはモード1、モード2、FORM1、FORM2 に対応）の再生に対応しています。ディスクは、ISO9660 のレベル1、およびレベル2、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録されたディスクが再生可能です。
- 本機はマルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライトには対応していません。
- m3u のプレイリストには対応していません。
- MP3i(MP3 interactive) フォーマット、およびMP3 PRO フォーマットには対応していません。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子（.wma、.mp3、.m4a）を含め、全角で16 文字、半角で32 文字までです。また、フォルダー名の最大表示文字数は全角で16 文字、半角で32 文字までです。
- 拡張フォーマット（Romeo）に準拠して記録されたファイルの場合、全角では先頭から16 文字、半角では先頭から32 文字までの表示に対応しています。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。

アドバイス

- フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- DVD-R、DVD-RW、CD-R、CD-RW、CD-EXTRA、MIXED-MODE CDディスクにWMA/MP3/AACファイルと、音楽データ（CD-DA）が混在しているときは、WMA/MP3/AACファイルと、音楽データ（CD-DA）を切り替えることができます。WMA/MP3/AACファイルと、音楽データ（CD-DA）を切り替えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。
- WMA/MP3/AACファイルを含まないフォルダーは認識しません（フォルダー番号の表示をせず、スキップします）。
- 多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を2つ以下にすることをおすすめします。
- ディスクに含まれるフォルダーの合計が255個まで再生可能です。

WMA とは？

WMA とは、「Windows Media™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮方式です。
WMA データは､Windows Media Player Ver.7 以降を使用してエンコードすることができます。

アドバイス

- WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

■再生できる WMA ディスクについて

アドバイス

- WMA ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子（.wma）を付けてください。
- 本機は、拡張子（.wma）が付いているファイルを WMA ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMA ファイル以外には拡張子（.wma）を付けないでください。
- 本機では、Windows Media Player Ver7/8/9を使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。

- 再生可能な WMA ファイルのサンプリング周波数は 8kHz ～ 48kHz です。
- 対応ビットレートは 5kbps～320kbps です。VBR に対応しています。
- 下記形式には対応していません。
  - Windows Media Audio 9 Professional（5.1ch）
  - Windows Media Audio 9 Lossless（可逆圧縮）
  - Windows Media Audio 9 Voice

MP3 とは？

MP3 とは、「MPEG Audio Layer 3」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

■再生できる MP3 ディスクについて

アドバイス

- MP3 ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子（.mp3）を付けてください。
- 本機は、拡張子（.mp3）が付いているファイルを MP3 ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3 ファイル以外には拡張子（.mp3）を付けないでください。

- ID3 Tag の Ver1.0 および Ver1.1、Ver2.2、Ver2.3 の album（ディスクタイトルとして表示）、title（トラックタイトルとして表示）、artist（アーティストとして表示）、genre（ジャンルとして表示）、year（発売年として表示）の表示に対応しています。
- 再生可能な MP3 ファイルの対応サンプリング周波数は、8kHz ～ 48kHz です。エンファシスに対応しています。
- 対応ビットレートは 8kbps ～ 320kbps です。VBR に対応しています。

AACとは？

AAC と は、「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

■再生できるAACディスクについて

アドバイス

- AACファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子（.m4a）を付けてください。
- 本機では、Ver. 4.6以前のiTunesを使用してエンコードされたAACファイルの再生に対応しています。
- 本機は、iTunesで作成された拡張子（.m4a）が付いているファイルをAACファイルとして再生します。**雑音や故障の原因となりますので、AACファイル以外には拡張子（.m4a）を付けないでください。**
- 画像データを含むAACファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。

- AAC ファイルをエンコードした iTunes のバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。
- 再生可能な AACファイルのサンプリング周波数は 8kHz ～ 48kHz です。
- 対応ステレオビットレートは8kbps ～ 320kbps です。
- この製品は、下記の形式には対応していません。
  ＊ Apple ロスレス・エンコーダ

DivXとは？

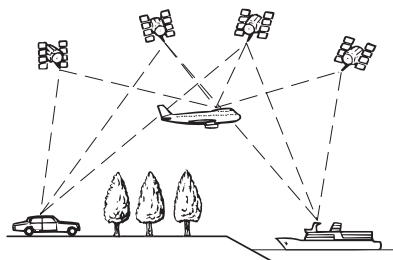
- DivX® は、DivX, Inc. が開発した評価の高いメディア技術です。DivXのメディアファイルは、高画質を維持しながら、高い圧縮率でコンパクトに圧縮できます。DivX で圧縮するファイルには、メニューや、字幕、サブオーディオトラックなども含めることができます。DivX.com では、DivX メディアファイルを多数掲載しています。これらのメディアをダウンロードして、DivX の専用ツールを使えば、オリジナルのコンテンツを作成できます。
- DivX Certified製品は、DivXのクリエータによってテストされ、全てのバージョンの DivX（DivX 6 も含む）でも再生できることが正式にテスト、認定された製品です。DivX Certified の認定ロゴが付いている製品は、DivX Profiles 規格に準拠したポータブルビデオや HD ビデオであることを示しています。
- 本機は、DivX® Certified 製品です。
- 標準の DivX® メディアファイル再生機能が付いた DivX® ビデオ（DivX® 6 も含む全てのバージョンに対応）を本機で再生することができます。
- DivX、DivX Certified、および関連するロゴは、DivX, Inc. の商標です。これらの商標は、DivX, Inc. の使用許諾を得て使用しています。本機では、CD-R/RW/ROM、DVD-R/RW に記録された DivX® ファイルを再生できます。
- DivX Ultra には対応していません。
- この取扱説明書では、それぞれの DivX® ファイルを DVD にあわせて「タイトル」と呼びます。DivX® ファイルはタイトルのアルファベット順に再生されますので、ディスクに記録する際はタイトル名の付けかたにご注意ください。

ナビゲーションのしくみ

現在地がわかるしくみ

本機では、現在地（自車位置）を測位する方法としてGPSに加え、自立航法による測位が可能です。

■GPSによる測位

GPS衛星（人工衛星）から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムがGPS（Global Positioning System：グローバルポジショニングシステム）です。GPS衛星は、地球の周り高度21000kmに打ち上げられています。3つ以上のGPS衛星の電波を受信すると、測位が可能になります。GPSによる測位には、3次元測位と2次元測位の2種類があります。

種類	内容
3次元測位	GPS衛星の電波を良い状態で受信できたときは、緯度・経度・高度の3次元で測位できる。
2次元測位	GPS衛星の電波を受信できても、受信状態があまり良くないときは、緯度・経度の2次元で測位する。高度は測位できないため、3次元測位のときよりも測位の誤差がやや大きくなる。

■自立航法による測位

内蔵の3Dハイブリッドセンサーは、走った距離を車の車速パルスから、曲がった方向を振動ジャイロセンサーで、路面の傾斜を傾斜計（Gセンサー）で、それぞれ検出して、現在地を割り出しています。

GPSと自立航法を組み合わせた測位の特長

- GPSによる現在地のデータと、自立航法による現在地のデータを常に組み合わせているため、より精度の高い測位を行うことができます。
- GPS衛星の電波が受信できなくなっても、自立航法により測位を続けることができます。
- 自立航法による測位だけでは、現在地の表示が徐々にずれてくることがあります。GPSと自立航法を組み合わせると、GPS測位により自立航法のずれを修正することができるため、測位精度が高くなります。

測位の精度を高めるためのしくみ

■3Dハイブリッドセンサーの役割

内蔵の3Dハイブリッドセンサーは、自立航法自体の測位精度を高めるために、高精度3Dハイブリッドシステムで活用されています。

高精度3Dハイブリッドシステム

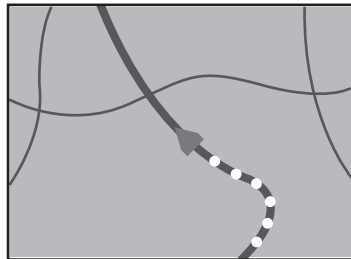
車速パルスが入力されているときは、3Dハイブリッドセンサーによって高度差を検出できるため、高精度な測位が可能になります（高精度3Dハイブリッドシステム）。

簡易ハイブリッドシステム

車速パルスが入力されないときは、簡易ハイブリッドシステムで測位します。簡易ハイブリッドシステムでは、3Dハイブリッドシステムに比べて精度が低くなります。道路の傾斜の影響を受けやすいため、長いトンネルや地下駐車場などでのGPSが長い間受信できない状況では、誤差が大きくなることがあります。

■マップマッチング

GPSや自立航法による測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外になることがあります。このようなとき、「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能がマップマッチングです。

マップマッチングしている場合

本機ではGPSと自立航法で精度の高い測位をした上でマップマッチングが働くため、さらに正確な現在地表示が可能になります。

アドバイス

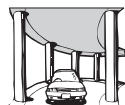
- シティマップで道路が表示されていても、その道路をルート探索またはその道路にマップマッチングできない場合があります。

誤差について

次のような状況のときは、誤差が大きくなることがあります。

GPS測位不可による誤差

- 次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波がさえぎられて受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。

トンネルの中やビルの駐車場

2層構造の高速道路の下

高層ビルの群集地帯

密集した樹木の間

- 次のような場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
  - GPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている。
- GPSアンテナにペンキや車のワックスを塗らないでください。感度が低下したり、電波を受信できなくなることがあります。また、アンテナに雪が積もると感度が低下しますので、除雪してください。

GPS衛星自体による誤差

- GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 捕捉（受信）できている衛星の数が少ないときは、2次元測位となり誤差が大きくなります。

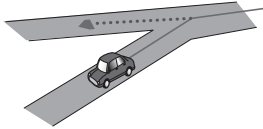
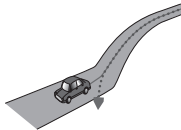
有料・高架道路での誤差について

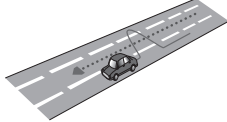
有料道路を乗り降りするときや、高架道路、立体交差の道路を走行するときは、勾配を検知して距離補正を行います。勾配データが収録されていない道路では、補正されないため誤差が大きくなることがあります。

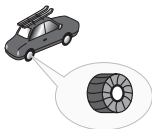
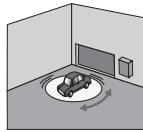
低速時の自車位置精度について

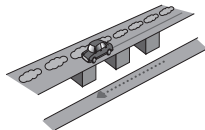
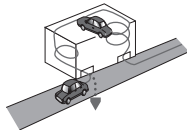
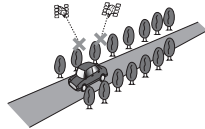
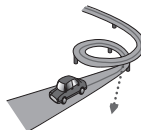
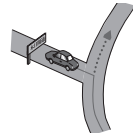
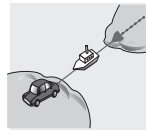
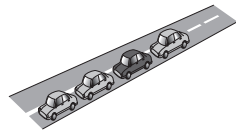
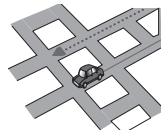
車種によっては時速数km程度の低速時に車速信号が出力されないものがあります。その様な車種では、渋滞中や駐車場（地下駐車場など）で時速数km程度の低速走行が続くと、自車位置が正確に表示されないことがあります。

その他の誤差について

- 角度の小さなY字路を走った場合。

- 直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後。

- 砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合。

- 蛇行運転をした場合。

- 勾配の急な山道など、高低差のある道を走った場合。

- チェーンを装着したときや、サイズの違うタイヤに交換した場合。

- 駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行った場合。

- ヘアピンカーブが続いた場合。

- 道路が近接している場合（有料道路と側道など）。

- 立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返した場合。

- GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合。

- ループ橋などを通った場合。

- 地図情報にはない新設道路を走った場合。

- フェリーや車両運搬車などで移動した場合。

- 渋滞などで、低速で発進や停止を繰り返した場合。

- 碁盤の目状の道路を走った場合。

- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合。
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合。
- 扁平率や径の異なるタイヤに交換して間もない場合。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは、販売店にご相談ください。

ナビゲーション

■自車位置を測位できない、測位誤差が大きい

原因	処置
GPSアンテナの上に電波をさえぎる物を置いている。	GPSアンテナの上には何も置かないでください。
3Dハイブリッドセンサーが正しく学習されていない。	3Dハイブリッドセンサーのメモリーをクリア *(→P215)* して、学習をやり直してください。

■ハンズフリー通話時に、通話相手側で響きが大きく聞こえる

原因	処置
通話相手側の声（スピーカーからの音声）がマイクに入り込んでいる。エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生します。	受話音量を小さくすることで改善できることがあります *(→「音量を調整する」(P90))*。ただし、本機のしくみ上、完全に響き（エコー）をなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で喋るとさらに聞き取りにくくなりますので、普通の大きさの声で通話してください。

■Bluetoothを使って携帯電話と接続できない

原因	処置
Bluetoothユニットが携帯電話と通信できない状態になっている。	携帯電話の電源を入れ直すか、車のエンジンスイッチ(ACC)をOFF/ONしてください。 後から携帯電話の電源を入れたときは、1分ほどお待ちいただくか、*「接続先を切り替える」(→P85)* の操作をして、Bluetooth接続する携帯電話を選択してください。

オーディオ

■共通項目

症状	原因	処置
音が出ない。	音量が0になっている。	音量を上げてください。
映像が出ない。	パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキをかけてください。
	ナビスタンバイ状態になっている。	ナビスタンバイを解除してください。*→『クイックガイド』*
モニターにナビゲーションの画像が映らない。	モニターが、ナビゲーション画面に切り替わっていない。	現在地 で画面を切り替えてください。
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節・設定してください。 *→「フェーダー／バランス設定」(P184)*
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	
画質調節ができない。	パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキをかけてください。

液晶画面の中に、小さな黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	－
映像がギザギザに表示される。	ワイド画面特有の現象で、故障ではありません。	－

FM/AM

症状	原因	処置
ラジオ受信中に"ジージー、ザーザー"という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。→「ラジオの放送を受信する」(P132)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。→「ラジオの放送を受信する」(P132)

DVD

症状	原因	処置
再生できない。	PAL方式のディスクを挿入している。	NTSC方式のディスクに交換してください。
	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。
映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
	ナビゲーションの画面になっている。	AUDIOで画面を切り替えてください。
ディスクを入れても自動的に再生しない。	ディスクによっては、ディスクメニューが表示されて自動的に本編を再生しない場合があります。	ディスクメニューを操作して、再生を開始するか、オートプレイ（→P160）をONに設定してください。
オートプレイが正しく動作しない。	オートプレイが正しく動作できないディスクが入っている。	ご使用されるディスクにより期待どおりの動作ができない場合があります。このような場合はオートプレイをOFFにして再生してください。→「オートプレイ」(P160)
音が出ない。	静止画、スロー、コマ送り再生中である。	静止画、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除、またはレベルの変更をしてください。→「視聴制限」(P159)
音声言語、字幕言語が切り替えられない。	複数の言語が収録されていないDVDを再生している。	複数の言語が収録されていないディスクでは、切り替えられません。
	ディスクのメニューでしか切り替えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り替えてください。
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り替わりません。
アングルを切り替えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り替えられません。
	複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。

ディスク再生中に映像が乱れる。または暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。（ディスクによって入っている場合があります。）	アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものがあります（故障ではありません）。
🚫（禁止マーク）が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。	この操作はできません。
	ディスクの構造上対応できない操作をしている。	
画面が止まり、操作を受け付けない。	ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	□にタッチしてから、もう一度再生してください。

CD、ROM（WMA/MP3/AAC）

症状	原因	処置
CD-RやCD-RWを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。
WMA/MP3/AACファイルを再生できない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。
	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたWMA/MP3/AACファイルにしてください。
WMA/MP3/AACファイル再生中に大きな雑音が出る。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	ディスクを交換してください（WMA形式でないファイルに「.wma」、MP3形式でないファイルに「.mp3」、AAC形式でないファイルに「.m4a」の拡張子を付けたCD-ROMを再生しないでください）。
聞きたいWMA/MP3/AACファイルが見つからない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。
フォルダー名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
WMA/MP3/AACファイル再生が、記録した順と異なる。	WMA/MP3/AACファイルは、記録したときの順番どおりに再生されない場合があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダー名、ファイル名のはじめに数字（01、02など）を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

■ミュージックラック

症状	原因	処置
CDが録音されていない。	CDの録音が中止された。	CDの録音には制限があります。→「CD録音の制限について」（P165）
プレイリストのタイトルに「CD-日付 時刻」が表示されている。	タイトルが複数候補あったかタイトル情報がHDDに収録されていない。	タイトルの取得を行ってください。
プレイリストのタイトル情報が取得できない。	通信機器が接続されていない。	通信機器の接続を確認してください。
	通信接続設定が正しくされていない。	通信接続設定を行ってください。→「通信接続設定」（P81）
	ナビゲーション側で通信機器を使用している。	ナビゲーション側の通信機器の使用が終わってから操作してください。
	本機ハードディスク内のデータベースで複数のタイトル候補があった。	手動でタイトル情報を取得してください。→「タイトル情報を取得する」（P177）

■ワンセグ

症状	原因	処置
映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
	ナビゲーションの画面になっている。	AUDIOで画面を切り替えてください。
映像が出ない。 「受信できません」という画面が表示される。	放送局（チャンネル）が増えたり、旅行などに出かけたりして受信状態が変わっている。	受信状態が変わったときは、チャンネルスキャンをしてください。→（P138）
	受信状態が悪くなり、放送が受信できない。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。
画面が止まっている。画面がカクカクして映る、コマ落ちしている。画面に正方形のノイズが映る。	受信状態が悪くなった場合などは、左記のようになります。これらは地上デジタル放送特有の現象で、故障ではありません。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。
音声や字幕、複数の番組が切り替えられない。	音声や字幕、複数の番組が放送されていない。	切り替えできる音声や字幕、複数の番組が放送されているチャンネルを視聴してください。

付録

エラーメッセージと対処方法

共通項目

メッセージ	原因	処置
Error-5 Error-6	本機の電気系、機構系の故障が考えられる。	販売店にご相談ください。
温度保護回路作動中	本機の内部温度に異常がある。	本機が正常な動作をする温度になるまで、お待ちください。改善されない場合は、販売店にご相談ください。
低温のためハードディスクドライブへのデータの保存ができません。データの保存を中止します。	ナビゲーション本体の内部温度が異常に低い。	車内温度が上昇するまで、しばらくお待ちください。
高温のため動作不可能です。安全な場所に移動して､エンジンを切って､しばらくしてから入れ直してください。	ナビゲーション本体の内部温度が高くなった。	内部温度が下がるまでお待ちください。ヒーター吹き出し口の近くなど、高熱になるところに設置していないことを確認してください。

ナビゲーション

メッセージ	処置
探索できませんでした。	目的地または出発地の位置を変えてください。
行き先が遠すぎるため、探索できませんでした。	途中に立寄地を設定してください。
行き先が近すぎるため、探索できませんでした。	目的地または出発地の位置を変えてください。
通行規制により、通行できない区間があるため、探索できませんでした。	
時間規制により、通行できない区間があるため、探索できませんでした。	
行き先につながる道路が見つからないため探索できませんでした。	
行き先または出発地付近に案内対象道路がないため探索できませんでした。	

オーディオ

■DVD、CD、ROM（WMA/MP3/AAC）、DivX

メッセージ（エラー番号）	原因	処置
Error-2	ディスクの読み取り状態に異常がある。	ディスクの汚れを拭き取ってください。→『クイックガイド』
再生できません。 ディスクを取り出してください。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。→『クイックガイド』
	ディスクにキズやそりがある。	ディスクにキズがあるときは、ディスクを交換してください。
	ディスクの裏表を逆にしてセットしている。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。
	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。→「再生できるディスクの種類」（P198）
ディスクが入っていません。	ディスクが入っていない。	ディスクをセットしてください。
リージョンコードが違います。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	リージョン番号“2”を含むディスクに交換してください。
再生できないディスクです。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。→「再生できるディスクの種類」（P198）
高温、または低温のため、再生できません。 ディスクを取り出してください。	本機の内部温度が高い、または低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。改善されない場合は、販売店にご相談ください。

■ミュージックラック

メッセージ（エラー番号）	原因	処置
このCDは録音できません。	CD-Rなどコピー禁止のディスクから録音しようとしている。	一般のCDなど、コピー可能なディスクに交換してください。
低温のためHDDにデータが書き込めませんでした。	低温のため、データが書き込めない。	温度が上がるまで、しばらくお待ちください。
ハードディスク容量不足のため、録音できません。	ハードディスクの残容量が足りないため、録音できない。	録音済みの曲やプレイリストを消去してください。→「グループからプレイリストを消去する」（P174）、「プレイリストからトラックを消去する」（P175）
このトラックはすでに録音されています。	マニュアル録音モードで、録音済みのトラックを録音しようとしている。	録音済みのトラックは、同じCDから重複して録音できません。

■ワンセグ

メッセージ（エラー番号）	原因	処置
チャンネルが登録されていません。 スキャンを実行してください。	チャンネルが登録されていない。	受信状態が変わったときや、受信地域が変わったときは、チャンネルスキャンをしてください。→*（P138）* ※放送がないチャンネルは登録されません。
映像情報がありません。	音声のみの番組です。	ー
ご覧の番組は有料放送のため受信できません。	本機が対応しない放送を視聴している。	本機が対応している放送に切り替えてください。
ERROR-11	本機の内部に不具合がある。	販売店にご相談ください。
アンテナ接続エラーの可能性があります。 ANTENNA ERROR-20	アンテナに不具合がある。	販売店にご相談ください。
高温を検出しました。 保護のため停止します。 HEAT ERROR-12 ERROR-13	本機の内部温度が高くなった。 本機の内部温度に異常がある。	本機が正常な動作をする温度になるまで、お待ちください。改善されないときは、販売店にご相談ください。

頻繁にシステムエラーが発生する場合は

頻繁にエラーが発生しナビゲーションの電源が切れるときは、ナビゲーション本体のメモリーやハードディスクに不適切な内容が記録された恐れがあります。このようなときは、ナビゲーション本体の記憶内容をクリアしてください。*→「設定内容の初期化とユーザーデータの消去」（P121）*（本機が自動で行う場合があります。）

センサーメモリーのリセットについて

古くなったタイヤを新しいタイヤと交換したり、夏用のタイヤと冬用のタイヤを交換した場合でも、自動的にセンサー学習を再学習するシステムを装備していますので、センサーメモリーをリセットする必要はありません。（走行状態によっては時間がかかる場合があります。）

アドバイス

- 車速パルス発生機接続時にご使用の際、タイヤを交換した場合は、自動的にセンサー学習の補正ができませんので、手動で［距離学習リセット］*(→P102)*を行ってください。
- 悪路（雪道など）を走行し、スリップした場合、自動でセンサー学習を再学習し直すことがあります。その結果、学習結果の進捗表示が減る場合もあります。

センサー学習状態のリセットが必要な場合

［オールリセット］が必要な場合

- 本体の取り付け位置や角度を変更した場合または別の車両へ載せ替えた場合
- 測位の誤差が大きくなった場合

［距離学習リセット］が必要な場合

- タイヤを交換した後、しばらく経っても距離誤差が補正されない場合
- 車速パルス発生機接続時にご使用の際、タイヤを交換した場合

センサー学習状態のリセットのしかた

学習メモリのリセットは「センサー学習状況」画面で行います。*→「ハードウェア情報を見る」(P102)*

■センサー学習とは

本機の3Dハイブリッドセンサーは、走行状況（距離／方位／傾斜（3D））を検知して、その結果を学習しています。したがって、走行を重ねるごとに測位の精度が高くなります。
センサーが学習した結果は、本機に内蔵されているセンサーメモリーに蓄積されます。

アドバイス

- センサー学習状況は確認することができます。
→「［センサー学習状況］選択時」(P102)

付録

Gracenote® について gracenote

概要

音楽認識技術と関連情報は Gracenote® 社によって提供されています。Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote® 社のホームページ www.gracenote.com をご覧ください。

特許及び商標

音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote® により提供されます。Gracenote は、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。詳細については、次の Web サイトをご覧ください: www.gracenote.com Gracenote からの CD および音楽関連データ :Copyright(c)2000-2007 Gracenote. Gracenote Software:Copyright 2000-2007 Gracenote. この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の 1 つまたは複数を実践している可能性があります :#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許 (#6,304,523) 用に Open Globe,Inc. から提供されました。「Gracenote」および「CDDB」は、Gracenote の登録商標です。Gracenote のロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴは、Gracenote の商標です。Gracenote サービスの使用については、次の Web ページをご覧ください : www.gracenote.com/corporate

Gracenote® エンドユーザー使用許諾契約書

バージョン 20061005

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote,Inc.（以下「Gracenote」）のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソフトウェア（以下「Gracenote ソフトウェア」）を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報（以下「Gracenote データ」）などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenote サーバー」）から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーをお客様個人の非営利的目的にのみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第 3 者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。

お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote,Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利を Gracenote として行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシーポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。Gracenote は、Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

Gracenote データについて

- 本機内蔵の Gracenote データ、専用サーバーの Gracenote データともに、データの内容を 100% 保証するものではありません。
- 専用サーバーの Gracenote データは、メンテナンス等により予告なく停止することがあります。
- 専用サーバーによる Gracenote データの通信サービスは、提供するコンテンツが収集できない場合やその他サービスの提供に支障をきたす事由が生じた場合、お客様の承諾なくその提供を中止することがあります。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第１章　総則

（約款の適用）

第１条　財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第52条の4の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

第２条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

第３条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

（1）VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

（2）VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

（3）加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者

（4）VICSデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第２章　サービスの種類等

（VICSサービスの種類）

第４条　VICSサービスには、次の種類があります。

（1）文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

（2）簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

（3）地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICSサービスの提供時間）

第５条　当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第３章　契約

（契約の単位）

第６条　当センターは、VICSデスクランブラー１台毎に１のVICSサービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）

第７条　VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）

第８条　VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICSサービスの種類の変更）

第９条　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第４条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）

第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）

第11条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

（1）加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

（2）加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）

第12条　1　当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

2　第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第４章　料金

（料金の支払い義務）

第 13 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第５章　保守

（当センターの保守管理責任）

第 14 条 当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）

第 15 条 1 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。

2 当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第６章　雑則

（利用に係る加入者の義務）

第 16 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）

第 17 条 1 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは当該変更においても変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2 VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

別表　視聴料金

視聴料金：315 円（うち消費税 15 円）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

その他の情報

検索におけるデータベースについて

場所を探すベースとなっているデータによっては、表示されるポイント（位置）が実際のポイントと離れている場合があります。

タウンページデータについて

- NTT タウンページをもとに位置データを整備していますが、もとのデータそのものが間違っている場合もあります。また、住所番地が広大な場所やもとのデータからは該当施設を特定できない場所では、指定した地区の代表地点が表示されます。
- 正確な位置に表示されない場所を目的地としてルートを設定したときは、その施設から離れた場所が最終の案内地になる場合があります。

自然物に関するデータについて

- 施設を表す検索ポイントではなく、場所そのものや、山や川などの自然物を表す検索データについては、その代表地点が表示されます。

季節の味覚スポット検索のデータについて

- 実際の農園と離れた場所が表示されることがあります。そのような場合は、その農園を管理している施設が表示されます。

電話番号検索のデータについて

- 電話番号検索のデータとして、「タウンページ」約 950 万件のデータが収録されています。

ロゴマーク表示について

- ロゴマークの表示されるポイントは、実際の場所とは異なっている場合があります。

営業時間考慮周辺検索について

- 営業時間を考慮するのは ATM・駐車場・コンビニ・ファミリーレストラン・ファストフード・ガソリンスタンドのみで、隔週休日、不定期休日には対応していません。また、一部の店舗は対応していない場合があります。
- 営業時間データは、日をまたがないようにデータ収録されているため、閉店が 0 時をすぎる場合であっても、0 時として収録されています。
- 24 時間営業は 24 時間の営業で収録されています。

ルートに関する注意事項

注意

- **ルート探索をすると、自動的にルート / 音声案内が設定されます。曜日、時刻規制については、交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると設定されたルートを通れないなどの交通規制に反する場合があります。**
- **運転するときは必ず実際の交通標識に従ってください。**
- **なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。**

- 探索されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本機が求めた目的地に至る道順の一例です。必ずしも最適になるとは限りません。
- ルート探索は 100m スケールの地図に表示される道路を対象としています。シティマップにだけ表示される道路は対象となりません。
- 本州〜北海道、本州〜四国、本州〜九州のルートも設定できます（本州〜北海道などのフェリーが運行されている場合には、航路を使うルートが探索されます）。
- フェリー航路に関してはルート探索の補助手段であるため、長距離航路は対象となりません。
- フェリー航路については、全てのフェリー航路が収録されているわけではありません。また、フェリー航路を優先しても必ずフェリー航路が使われるわけではありません。

- 冬期通行止めなどにより通行できない道路を探索すると、エラーメッセージが表示されます。
- 設定されているルートで使用されている入口／出口によっては、乗り降り IC（インターチェンジ）指定の操作ができない場合があります。

ルート探索のしかた

- 現在の進行方向と逆向きのルートが設定されることがあります。
- 河川や駅の反対側を案内するルートになることがあります。そのようなときは、目的地を使用したい道路の近くに移動してみてください。
- 渋滞考慮ルート、有料道路回避、フェリー航路回避などでは、他の適切なルートがない場合は回避されないことがあります。
- 推奨できるルートが 6 本に満たない場合、何本かが同じルートになることがあります。
- 場所によってはルート探索できないことがあります。そのようなときは、目的地および出発地付近の「大きな交差点※」付近に立寄地を設定してみてください。

※「大きな交差点」とは、細街路（100m スケールでグレー表示の細い道）以外の道どうしの交差点です。

ルートの道塗りについて

- 道路形状によっては、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。
- 出発地、目的地、立寄地の前後では道塗りされない場合があります。このため、立寄地付近でルートが途切れたように見えることがあります。

音声案内について

- オートリルートの場合、元のルートに復帰する案内地点は案内されません。ただし、その地点が右折などで案内が必要な場合は、通常の案内を行います。
- 有料道路のインターチェンジ出口を目的地として設定すると、「高速出口」と「料金」は音声案内されないことがあります。
- ランドマーク音声案内は、交差点によっては行われない場合があります。

交差点拡大図について

- ２Ｄ交差点拡大図は、交差点とその約 150m 手前の地点を結んだ線が上になるように表示されます。道路形状によっては、ヘディングアップにならない場合があります。
- 第 1 案内地点の案内地点での交差点拡大図は、表示されないことがあります。

ルート候補選択画面での有料料金について

- 特殊な料金体系の有料道路では、正しい料金が表示されない場合があります。
- 料金非対応路線を含むルートの場合は、「○○円以上」と表示されます。
- 料金計算ができないルートの場合は、「不明」と表示されます。
- 一般有料道路に関しては、一部路線のみ対応しています。
- 有料道路上およびランプ上からルートを探索したときや、有料道路上に目的地や出発地を設定したときは、有料道路を使う区間を判断できないため、料金が正しく計算されません。
- 一部実際と異なる料金が表示されたり、案内されたりすることがあります。このような場合は、実際の料金に従ってください。
- 有料料金は改定される場合がありますので、あくまで目安としてお使いください。

オートリルートについて

目的地､立寄地付近の時間規制がある場合は、規制を無視するルートを引く場合があります。

VICS情報に関する注意事項

FM多重放送について

- VICSセンターからのFM多重放送を使用したVICS情報は、NHK-FMのFM多重放送の電波によって提供されます。
- 一定周期で情報が更新されるため、情報が集まるまで時間がかかります。
- 放送時間は、放送局によって異なります。VICSセンター情報などで確認してください。

ビーコンについて

- 有料道路の高架下の一般道を走行中に、有料道路のビーコンを受信することがあります。
- ビーコンアンテナの前に金属などの遮蔽物を置かないでください。
- 大型車と並走しているときなどに、ビーコンを受信できないことがあります。

VICSセンターのお問い合わせ先

VICSの概念、計画、またはFM多重放送・ビーコンにより提供されるVICS情報に関することは、（財）VICSセンターへお問い合わせください。

電話受付時間：9:30～17:45
（土曜、日曜、祝祭日、年末年始のセンター休日を除く）
電話番号：0570-00-8831
（ナビダイヤルでは全国から市内通話料金でご利用になれます）
PHSからは（東京）03-3592-2033
（大阪）06-6209-2033
FAX受付時間：24時間
FAX番号：03-3592-5494（全国）

また、VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数の情報などは下記のホームページでご覧いただけます。
URL：http://www.vics.or.jp/

シティマップ（詳細市街地図）収録エリア

本機には、以下の都市の詳細市街地図が収録されています。

整備面積95%以上（459都市）

多賀城市、亘理町、七ヶ浜町、水戸市、土浦市、古河市、石岡市、結城市、龍ケ崎市、下妻市、常総市、取手市、牛久市、つくば市、ひたちなか市、鹿嶋市、潮来市、守谷市、那珂市、筑西市、坂東市、稲敷市、かすみがうら市、神栖市、行方市、鉾田市、つくばみらい市、小美玉市、茨城町、大洗町、東海村、美浦村、阿見町、河内町、八千代町、五霞町、境町、利根町、小山市、下野市、二宮町、野木町、大平町、藤岡町、岩舟町、伊勢崎市、太田市、館林市、玉村町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町、さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、所沢市、加須市、東松山市、春日部市、狭山市、羽生市、鴻巣市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、鳩ケ谷市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、ふじみ野市、伊奈町、三芳町、毛呂山町、滑川町、嵐山町、川島町、吉見町、鳩山町、美里町、上里町、騎西町、北川辺町、大利根町、宮代町、白岡町、菖蒲町、栗橋町、鷲宮町、杉戸町、松伏町、千葉市、銚子市、市川市、船橋市、館山市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、成田市、佐倉市、東金市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鴨川市、鎌ケ谷市、富津市、浦安市、四街道市、袖ケ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、香取市、山武市、酒々井町、印旛村、本埜村、栄町、神崎町、多古町、東庄町、大網白里町、九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町、千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、

西東京市、瑞穂町、日の出町、横浜市、川崎市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、相模原市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、射水市、舟橋村、川北町、野々市町、内灘町、昭和町、多治見市、羽島市、各務原市、瑞穂市、岐南町、笠松町、神戸町、輪之内町、安八町、大野町、北方町、坂祝町、熱海市、三島市、焼津市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、函南町、清水町、大井川町、吉田町、新居町、名古屋市、豊橋市、一宮市、半田市、春日井市、津島市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、東郷町、長久手町、豊山町、春日町、大口町、扶桑町、七宝町、美和町、甚目寺町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、一色町、吉良町、幡豆町、幸田町、三好町、小坂井町、御津町、四日市市、木曽岬町、東員町、朝日町、川越町、明和町、彦根市、近江八幡市、草津市、守山市、野洲市、安土町、竜王町、豊郷町、甲良町、虎姫町、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、大山崎町、久御山町、精華町、大阪市、堺市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、守口市、枚方市、八尾市、富田林市、寝屋川市、松原市、大東市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、加古川市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、稲美町、播磨町、太子町、大和高田市、大和郡山市、橿原市、生駒市、香芝市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、和歌山市、太地町、境港市、日吉津村、倉敷市、玉野市、浅口市、早島町、里庄町、府中町、海田町、熊野町、坂町、松茂町、北島町、宇多津町、春野町、北九州市、福岡市、直方市、中間市、小郡市、春日市、福津市、志免町、粕屋町、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、大木町、糸田町、菊陽町、嘉島町、那覇市、宜野湾市、浦添市、糸満市、豊見城市、北谷町、中城村、西原町、与那原町、南風原町

整備面積80%以上（56都市）

室蘭市、塩竈市、名取市、東松島市、利府町、桜川市、上三川町、吉岡町、吉井町、本庄市、小川町、長瀞町、寄居町、南房総市、中央市、岐阜市、可児市、養老町、富加町、伊東市、磐田市、豊川市、桑名市、鈴鹿市、玉城町、愛荘町、湖北町、高月町、岸和田市、泉佐野市、島本町、加西市、福崎町、御所市、葛城市、高取町、大淀町、有田市、岩出市、米子市、笠岡市、広島市、小松島市、琴平町、行橋市、大野城市、宗像市、太宰府市、須惠町、新宮町、大刀洗町、苅田町、上峰町、みやき町、沖縄市、八重瀬町

整備面積50%以上（124都市）

北広島市、矢巾町、仙台市、岩沼市、大河原町、富谷町、天童市、中山町、河北町、笠間市、宇都宮市、足利市、栃木市、壬生町、都賀町、前橋市、渋川市、富岡市、榛東村、越生町、神川町、君津市、匝瑳市、いすみ市、秦野市、松田町、高岡市、滑川市、入善町、羽咋市、かほく市、能美市、鯖江市、市川三郷町、西桂町、忍野村、山中湖村、岡谷市、山形村、美濃加茂市、土岐市、海津市、関ケ原町、池田町、沼津市、富士市、掛川市、御殿場市、裾野市、長泉町、小山町、富士川町、由比町、岡崎市、瀬戸市、音羽町、伊勢市、志摩市、菰野町、大津市、長浜市、栗東市、湖南市、京都市、宇治市、木津川市、高槻市、貝塚市、茨木市、和泉市、箕面市、泉南市、豊能町、河南町、姫路市、西脇市、三田市、南あわじ市、淡路市、加東市、たつの市、猪名川町、桜井市、明日香村、海南市、御坊市、湯浅町、美浜町、東出雲町、岡山市、呉市、福山市、和木町、徳島市、藍住町、善通寺市、松前町、南国市、大牟田市、久留米市、飯塚市、田川市、柳川市、筑後市、大川市、筑紫野市、古賀市、那珂川町、宇美町、桂川町、筑前町、広川町、福智町、鳥栖市、熊本市、荒尾市、合志市、城南町、富合町、長洲町、うるま市、南城市、嘉手納町、北中城村

整備面積50%未満（606都市）

札幌市、函館市、小樽市、旭川市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、岩見沢市、網走市、留萌市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、恵庭市、伊達市、石狩市、北斗市、当別町、七飯町、八雲町、岩内町、余市町、奈井江町、鷹栖町、東神楽

町、美瑛町、白老町、洞爺湖町、新ひだか町、音更町、清水町、芽室町、幕別町、池田町、釧路町、青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市、藤崎町、田舎館村、野辺地町、盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、雫石町、岩手町、滝沢村、紫波町、金ケ崎町、平泉町、大槌町、山田町、石巻市、気仙沼市、白石市、角田市、登米市、栗原市、大崎市、蔵王町、村田町、柴田町、山元町、松島町、大和町、大衡村、美里町、本吉町、秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、由利本荘市、大仙市、北秋田市、仙北市、八郎潟町、山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、高畠町、川西町、庄内町、福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、本宮市、国見町、川俣町、鏡石町、会津美里町、矢吹町、石川町、三春町、広野町、楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、城里町、大子町、佐野市、鹿沼市、日光市、真岡市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、益子町、茂木町、芳賀町、那須町、高崎市、桐生市、沼田市、藤岡市、安中市、みどり市、富士見村、下仁田町、甘楽町、中之条町、草津町、東吾妻町、昭和村、みなかみ町、秩父市、飯能市、ときがわ町、横瀬町、皆野町、小鹿野町、東秩父村、檜原村、奥多摩町、山北町、清川村、新潟市、長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、燕市、糸魚川市、妙高市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、南魚沼市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町、荒川町、富山市、魚津市、氷見市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、上市町、立山町、朝日町、金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、白山市、津幡町、宝達志水町、中能登町、福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、美浜町、高浜町、おおい町、甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、笛吹市、上野原市、甲州市、増穂町、鰍沢町、身延町、鳴沢村、富士河口湖町、長野市、松本市、上田市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、安曇野市、軽井沢町、御代田町、下諏訪町、富士見町、原村、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村、松川町、高森町、喬木村、豊丘村、波田町、池田町、松川村、小布施町、大垣市、高山市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、恵那市、山県市、飛騨市、本巣市、郡上市、下呂市、垂井町、揖斐川町、川辺町、八百津町、御嵩町、静岡市、浜松市、富士宮市、島田市、藤枝市、下田市、伊豆市、東伊豆町、芝川町、岡部町、森町、豊田市、新城市、津市、松阪市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、いなべ市、伊賀市、多気町、度会町、南伊勢町、御浜町、紀宝町、甲賀市、高島市、東近江市、米原市、日野町、多賀町、木之本町、福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、京丹後市、南丹市、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、南山城村、伊根町、与謝野町、河内長野市、能勢町、千早赤阪村、洲本市、相生市、豊岡市、赤穂市、篠山市、養父市、丹波市、宍粟市、多可町、市川町、神河町、上郡町、奈良市、天理市、五條市、宇陀市、吉野町、下市町、黒滝村、橋本市、田辺市、新宮市、紀の川市、紀美野町、かつらぎ町、九度山町、広川町、有田川町、日高町、由良町、印南町、みなべ町、日高川町、白浜町、上富田町、那智勝浦町、鳥取市、倉吉市、伯耆町、松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、雲南市、津山市、井原市、総社市、高梁市、新見市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、矢掛町、竹原市、三原市、尾道市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、光市、長門市、柳井市、美祢市、周南市、山陽小野田市、平生町、鳴門市、阿南市、吉野川市、美馬市、三好市、石井町、板野町、上板町、高松市、丸亀市、坂出市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、三豊市、土庄町、小豆島町、三木町、綾川町、多度津町、まんのう町、松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、東温市、砥部町、高知市、室戸市、安芸市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、香南市、香美市、いの町、八女市、豊前市、前原市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、みやま市、篠栗町、久山町、二丈町、志摩町、香春町、川崎町、大任町、みやこ町、吉富町、築上町、佐賀市、唐津市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、嬉野市、神埼市、吉野ヶ里町、基山町、長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、

大村市、平戸市、松浦市、壱岐市、五島市、雲仙市、南島原市、長与町、時津町、佐々町、八代市、人吉市、水俣市、玉名市、山鹿市、菊池市、宇土市、宇城市、天草市、植木町、大津町、御船町、益城町、甲佐町、芦北町、大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、日出町、宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、清武町、三股町、高鍋町、門川町、鹿児島市、鹿屋市、枕崎市、阿久根市、出水市、大口市、指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、日置市、霧島市、いちき串木野市、南さつま市、志布志市、奄美市、さつま町、加治木町、石垣市、名護市、宮古島市、読谷村

阪神高速道路株式会社からのご連絡

阪神高速道路にはネットワークの未整備区間を補完するため、乗継券を受け取り、一般道路を経由した後にその乗継券で再度、通行料金を支払わずに阪神高速道路を利用できる「乗り継ぎ区間」があります。(乗り継ぎ区間ではETCが利用可能)。また、「乗り継ぎ区間」の詳細につきましては、以下をご覧ください。

3号神戸線（京橋・摩耶出入口）⇔5号湾岸線（住吉浜出入口）

4号湾岸線（大浜出入口）⇔15号堺線（堺出入口）

3号神戸線（中之島西出口）→1号環状線（堂島入口）

16号大阪港線（波除出口）→1号環状線（堂島入口）

3号神戸線（中之島西出入口）⇔16号大阪港線（波除出入口）

3号神戸線（生田川出入口）⇔7号北神戸線（箕谷出入口）

31号神戸山手線（神戸長田出入口）⇔3号神戸線（柳原 東行入口、柳原 西行出口）

収録データベースについて

地図データについて

- 日本測地系に対応しています。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図の作成に当たっては、国土交通省国土地理院長の承認を得て、同院発行の2.5万分の1地形図および20万分の1地勢図を使用しました。(測量法第30条に基づく成果使用承認 平18企指公第1号、平8総使第31号)
- この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベース（©2007財団法人日本デジタル道路地図協会2006年3月発行）を使用しました。(測量法44条に基づく成果使用承認90－063)
- この地図の作成に当たっては、小田原市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1国土基本図を使用しました。(承認番号平成10年小田原市指令第52号)
- この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1都市計画基本図を使用しました。(測量法第44条に基づく成果使用承認平成12年度　知都発第170号)
- この地図の作成に当たっては、養老町長の承認を得て、同町所管の2,500分の1都市計画図を使用しました。(平成12年　養建第1902号)
- この地図の作成に当たっては、貴志川町長の承認を得て、同町発行の2,500分の1全図を使用し、調整しました。(承認番号平10．近公．第34号)
- この地図の作成に当たっては、大木町長の承認を得て同町発行の5,000分の1の地形図を使用し調整しました。(15大木建第734号)
- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なる場合がありますのでご了承ください。

交通規制データについて

- 本製品に使用している交通規制データは、道路交通法に基づき全国交通安全活動推進センターが作成した交通規制番号図を用いて、(財)日本交通管理技術協会（TMT）が作成したものを使用しています。
  TMT 承認番号 06-289
- 本製品に使用している交通規制データは、2006 年 4 月現在のものです。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従ってください。
- 本製品に使用している交通規制データの著作権は、(財)日本交通管理技術協会が有し、二次的著作物作成の使用実施権をインクリメント P(株)が取得しています。本品に使用している交通規制データを無断で複写複製・加工または改変することはできません。© 2006.TMT
- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。

有料道路料金データについて

- 本製品に使用している有料道路の料金データは、2007 年 4 月 1 日現在(2006 年 10 月調査時点)のものです。

VICS サービスエリアについて

- 本製品に収録されている VICS エリアは下記の都道府県が対象となります。
  北海道(北見)(旭川)(札幌)(釧路)(函館)、青森県、秋田県、岩手県、山形県、宮城県、福島県、栃木県、群馬県、茨城県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県、静岡県、愛知県、三重県、岐阜県、石川県、福井県、富山県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
- VICS サービスエリアが拡大されても、本製品では新しく拡大されたサービスエリアでのレベル 3（地図表示型）表示はできません。

放送局リストのデータについて

- テレビ放送局リスト、VICS 放送局リスト、AM・FM 放送局リスト、FM 文字放送局リストのデータは 2006 年 11 月調査現在のものです。放送局の周波数（チャンネル）変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

抜け道データについて

- 抜け道データは株式会社昭文社提供の、2005 年 4 月 4 版 9 刷（東京 23 区及び周辺)、2006 年 3 版 4 刷（名古屋)、2006 年 3 版 4 刷（大阪)、2002 年 5 月 3 版 3 刷（関東圏（繁華街・観光地))、2003 年 4 月 3 版 1 刷（中部圏（繁華街･観光地))のデータを使用しています。

渋滞予測データについて

- 渋滞予測機能の情報は、インクリメント P 株式会社からの提供です。

ボトルネック踏切データについて

- ボトルネック踏切は、国土交通省鉄道局が 2004 年に行ったアンケート調査の結果をもとに、2006 年 9 月に独自調査を行ったものを使用し、2007 年 3 月末までに廃止される踏切の情報を反映しています。

その他情報提供元

- NTT 情報開発株式会社（2006年7月現在のタウンページデータ）
- 財団法人交通事故総合分析センター（1999 年度統計による危険地帯データ）
- (株)IMJ モバイル（2006 年 10 月現在の駐車場データ）
- 監修：夜景愛好家　縄手真人（夜景コメント・夜景写真）
- 小黒俊雄（写真撮影､百名山･高原植物）
- 加藤庸二（写真撮影、名滝百選）
- 関係各市区町村観光課・観光協会（写真協力、さくら名所・名水百選）

- 観光エリア検索データは、社団法人日本観光協会提供のデータ（2005 年 8 月調査時点）および、株式会社昭文社提供のデータ（2006 年 10 月時点）を使用しています。
- おすすめグルメデータは、株式会社昭文社提供のデータ（2006 年 10 月時点）を使用しています。

アドバイス

- 収録データベースに誤字、脱字、位置ずれなどの表記上または内容上の誤りがあったとしても弊社は保障するものではありません。

索引

メニュー索引

目的地メニュー

AV 初期設定メニュー
SOURCE 画面
初期設定
P184
オーディオ設定メニュー
オーディオ設定（タブ）
フェーダー／バランス設定
P184
ラウドネス設定
P184
イコライザー設定
P185
ソースレベルアジャスター設定
P186
音場設定（VSC）
P186
システム設定メニュー
システム設定（タブ）
ワイドモード設定
P192
消音タイミング
P187
消音レベル
P188
ナビ画面リアモニター出力
P188
映像画面時計表示設定
P188
DVD ビデオ機能設定
P158
ガイド／ハンズフリー SP 設定
P188
録音設定
P189
DivX VOD コード
P189
DVD ビデオ機能設定メニュー
基本字幕言語
P158
基本音声言語
P158
メニュー言語
P158
アシスト字幕
P159
マルチアングル
P159
テレビアスペクト
P159
視聴制限
P159
オートプレイ
P160

用語索引

■五十音順

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

■数字・アルファベット順

記号・マーク一覧

地図関連

記号	名称	記号	名称	記号	名称
（青）	高速道路・有料道路		消防署		山岳
（赤）	一般国道		病院・保健所		指示点
（緑）	主要地方道		公民館・公共図書館		教会
（橙）	一般都道府県道		郵便局		キャンプ場
（淡灰）	一般道		ＮＴＴ		テニスコート
（灰）	細街路		小学校		乗馬クラブ
（灰/白）	鉄道		中学校		ボウリング場
（白）	県境		高校・その他教育施設		観光船乗り場
（水色）	海・川・湖沼		高専		マンション（シティマップのみ）
			大学		
（緑）	緑地（ゴルフ場・公園など）		デパート・スーパー		
			ＤＩＹショップ		
（灰ピンク）	施設		ホテル		
			ホール・劇場・文化会館		
（茶）	駅・駅舎・駅ビル		公園		
			遊園地・テーマパークなど		
（青）	インターチェンジ名（紺）ランプ名（紺）		動物園		
			植物園		
（橙）	交差点名（黒）		水族館		
			美術館・博物館		
	一方通行（シティマップのみ）		野球場・スタジアム		
	ランプ出入口（紺：入口　赤：出口）		体育館		
IC	インターチェンジ（5kmスケールのみ）		競馬場		
			ゴルフ場・ゴルフ練習場		
SA	サービスエリア		スキー場		
PA	パーキングエリア		モータースポーツ		
P	駐車場		スポーツ施設		
	ボトルネック踏切		その他スポーツ施設		
	開かずの踏切		海水浴場・プール		
	道の駅		ヨットハーバー		
	料金所		自動車学校		
	トンネル出入口		牧場		
	空港・飛行場		城・城跡		
	ヘリポート		神社		
	フェリー乗り場		寺		
	灯台		墓地		
	工場など		タワー		
	警察署		温泉		

渋滞情報関連

記号	名称
50	速度規制
	進入禁止
	通行止め·閉鎖
	大型通行止め
	対面通行
	片側交互通行
	徐行
	車線規制
	チェーン規制
	凍結
	故障車
	工事
	作業
	事故
	障害物·路上障害
	入口制限
	入口閉鎖
P	駐車場（空車）
P	駐車場（混雑）
P	駐車場（満車）
P	駐車場（閉鎖）
P	駐車場（不明）
	気象
	区間旅行時間
	行事
	災害
	火災
	原因/事象なし

※記号やマークは、ビューやスケールによって表示されない場合があります。
※実際の色と異なる場合があります。

■ 商品についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店または
株式会社ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル　0120-663521

（受付時間：**9時～12時　13時～17時**／但し、土日・祝祭日は除く）

販売元　株式会社ホンダアクセス　〒352-8589　埼玉県新座市野火止8丁目18番地4号
製造元　パイオニア株式会社　〒153-8654　東京都目黒区目黒1丁目4番地1号

PART NO.08A40-3K0-4000-8A
PART NO.CRA4008-A